

君の膜を破るのは
ボクだと思ってた...

再生編

NT
R
WARNING



コミック
61
ページ
オールフルカラー

君の膜を破るのは
ボクだと思ってた..

3



えっ！
自分を正社員に
ですか？



ああ
君さえよければ
なんだけどね

もちろん
社保も完備だし
ボーナスもだすよ

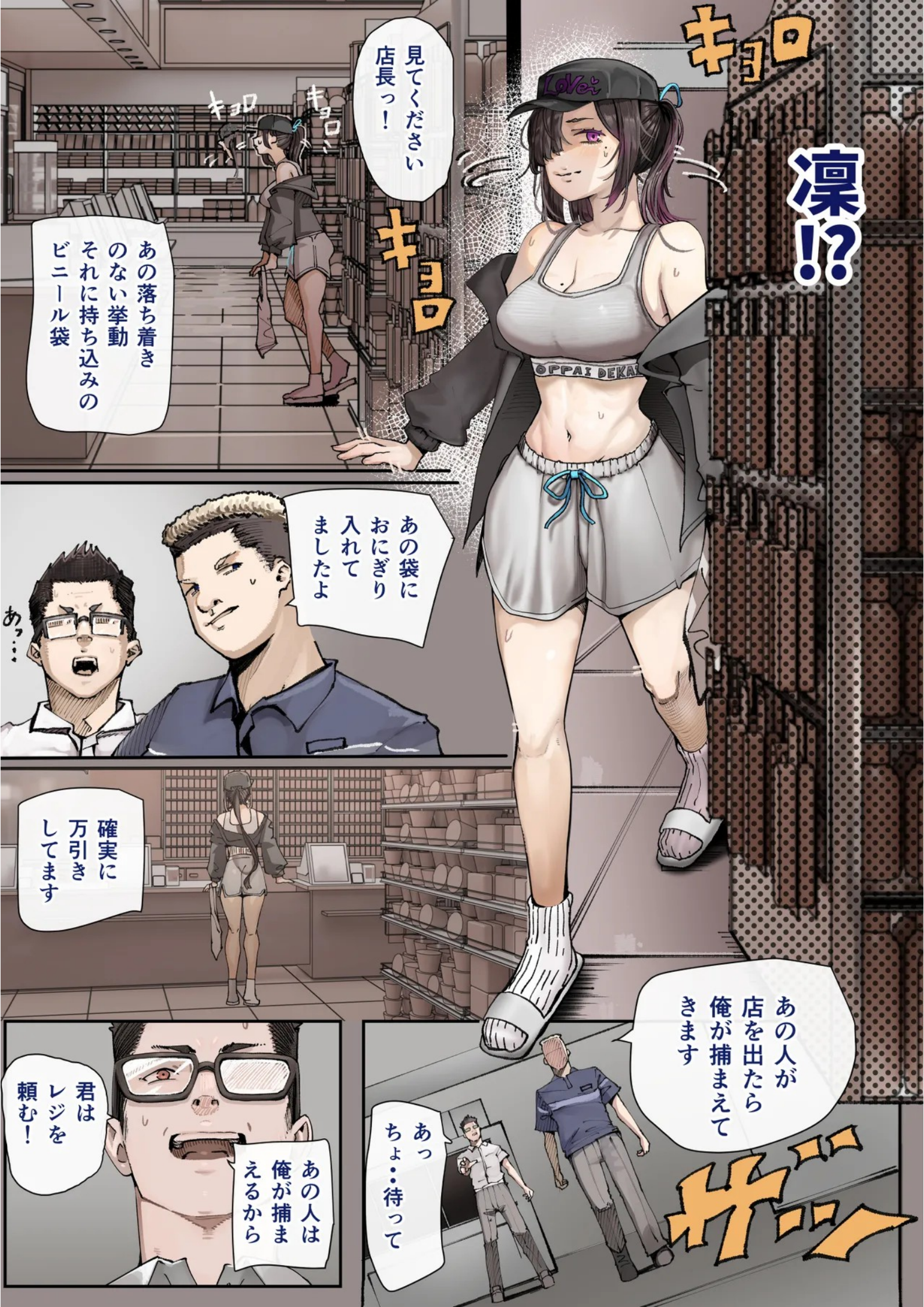


あ：
ありがとうございます
ございます



僕はね
人間誰にでも
やり直せる
チャンスが
与えられるべき
だと思うんだ





キョロ

凍!?

キョロ

見てください
店長っ!

キョロ

キョロ

あの落ち着き
のない挙動
それに持ち込みの
ビニール袋

あの袋に
おにぎり
入れて
ましたよ

確実に
万引き
してます

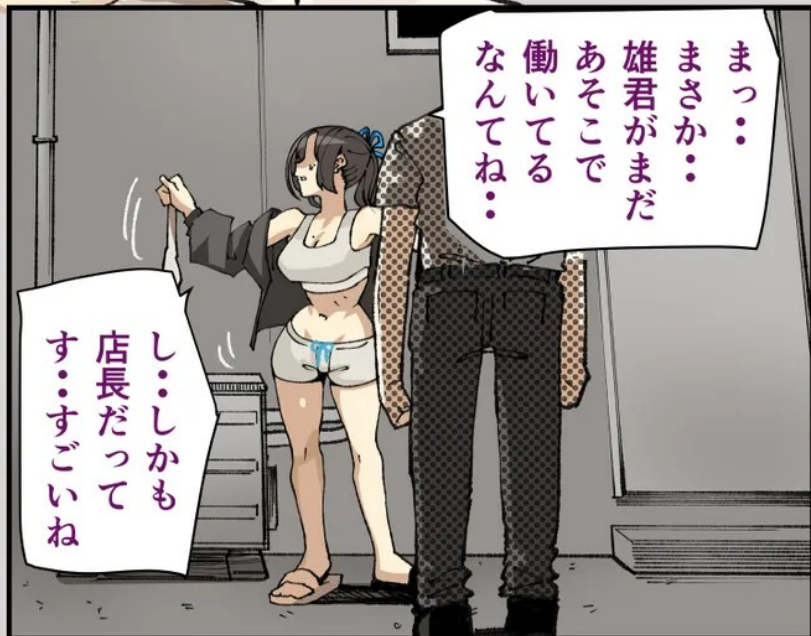
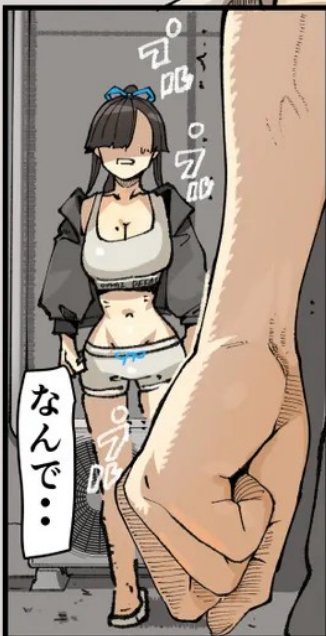
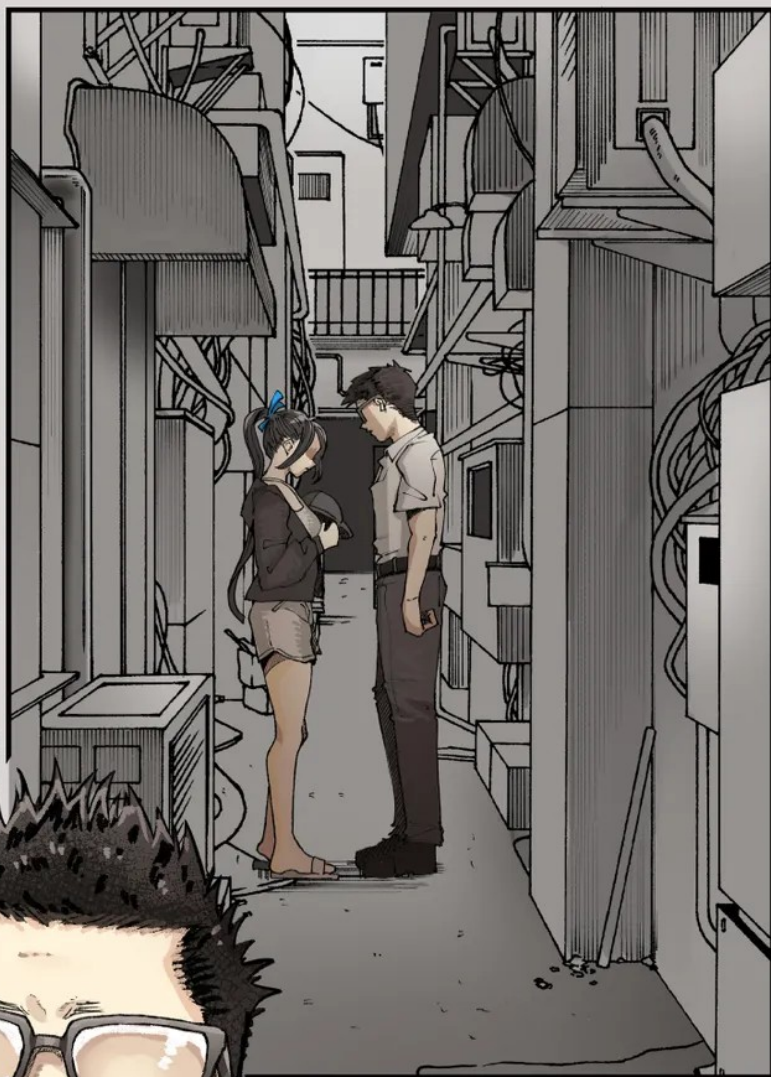
君は
レジを
頼む!

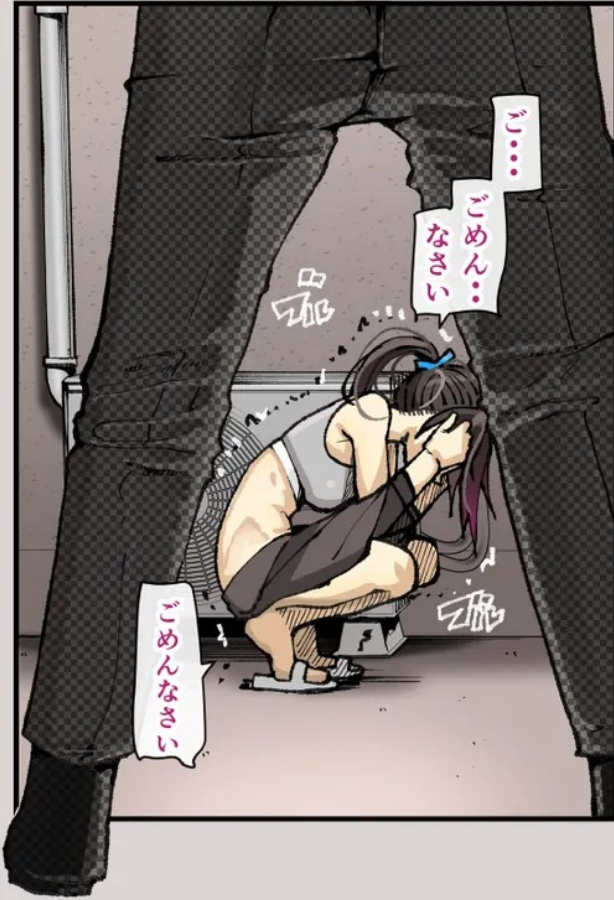
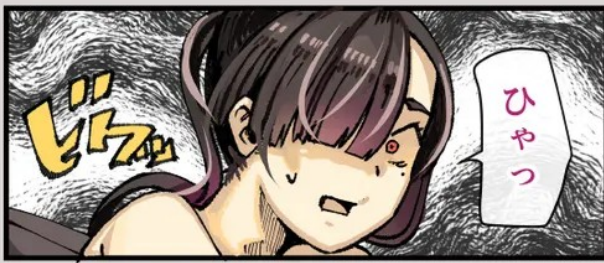
あの人は
俺が捕ま
えるから

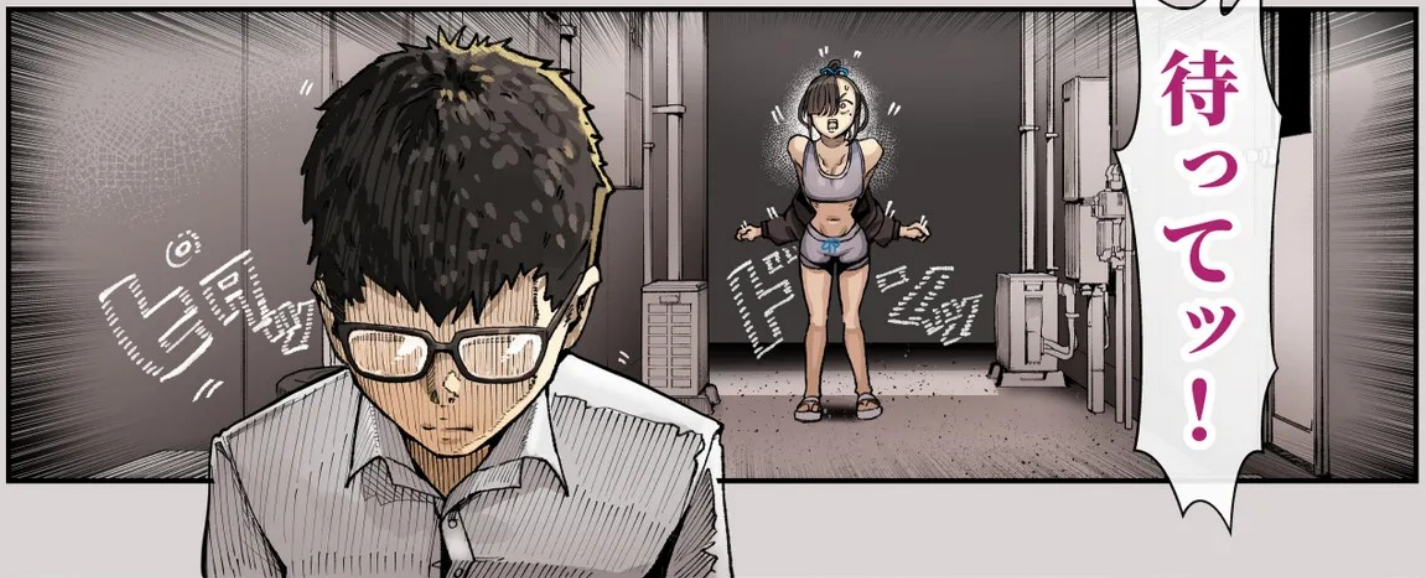
あっ
ちょ・待つて

あの人が
店を出たら
俺が捕まえて
きます

キョロ





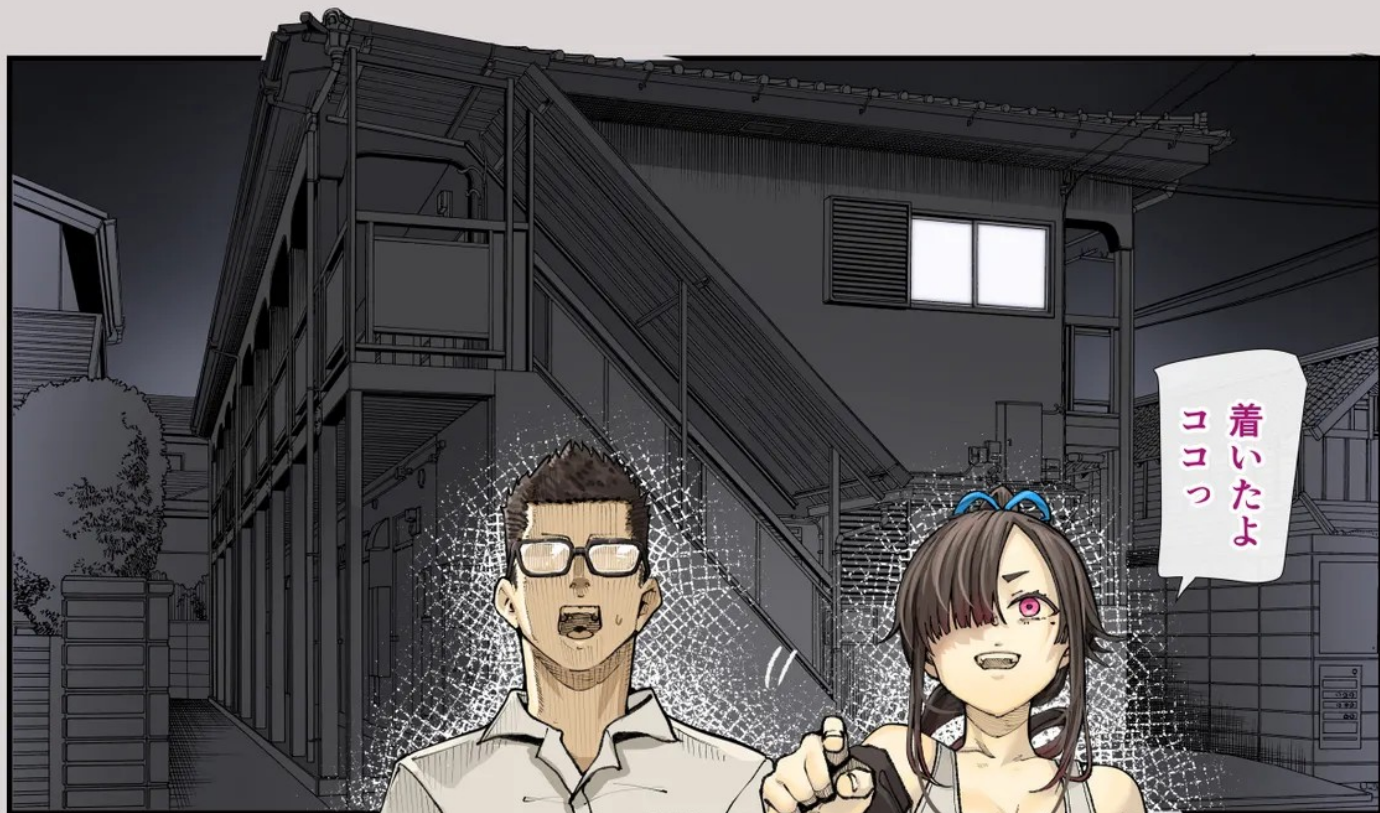




行こっ

ううん
大丈夫

すまん
待ったか？



着いたよ
ココっ



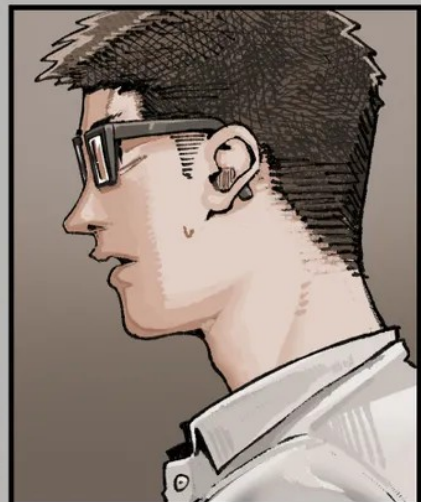
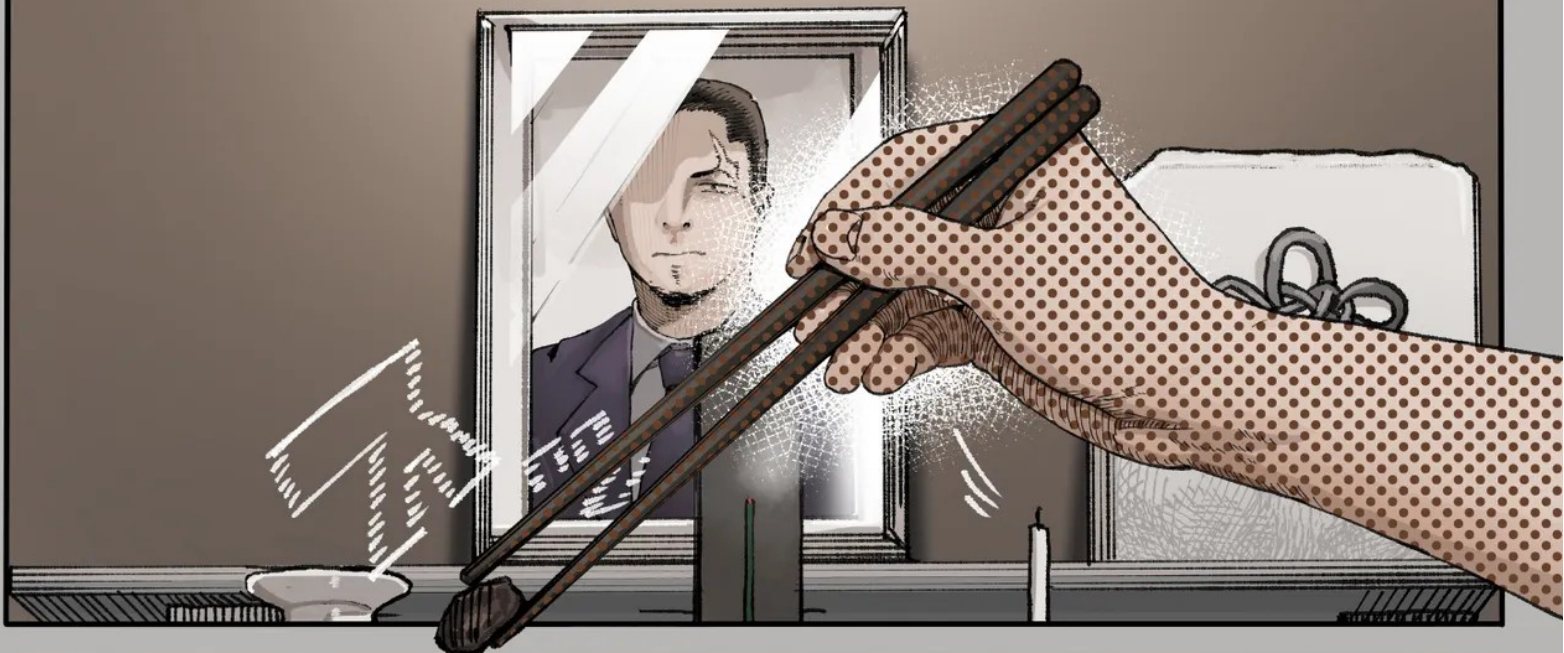
お：
お邪魔します

ただいまあ
帰ったよお



さあ
あがつて：





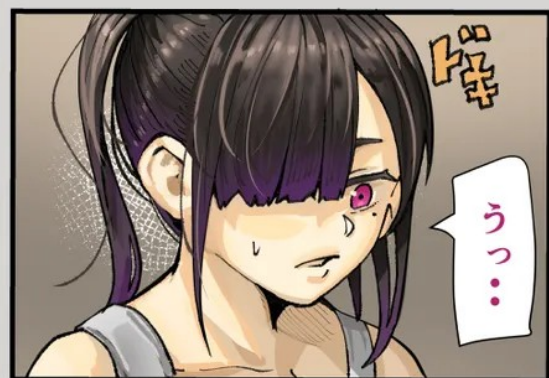
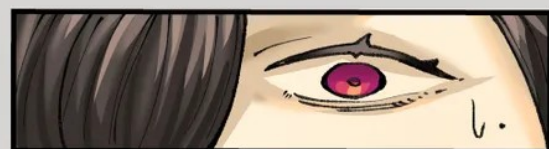


もしかして
先輩……
いや旦那さん
って……



何でだったのかな……？
前日は元気だったのに

うん……
急性硬膜化
血腫でね……



うっ……



あっ……

でもね……

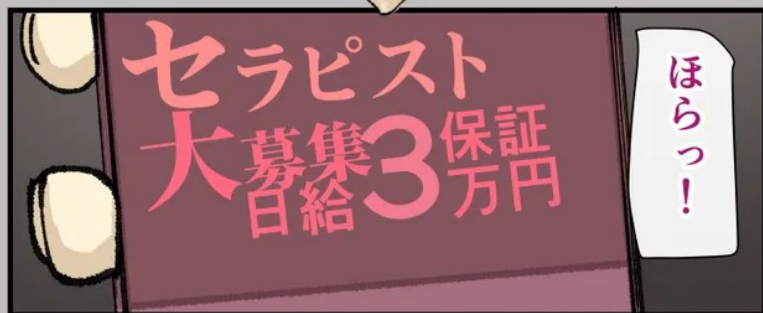
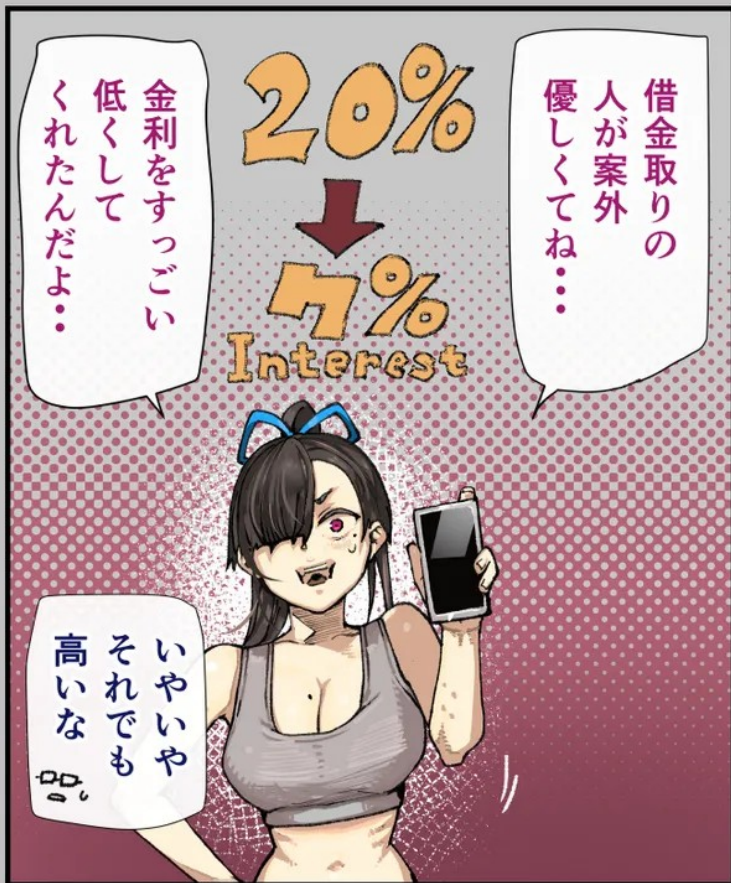


先輩……
会社経営してたん
だけど
借金が3億円ほど
あったらしく
てね……

情けないけど……まだ
納骨もできてないの

亡くなって
からは私が
毎月
その返済
しなく
ちゃで……









ありがとうございます
ございましたー

うちの店で
働くことになった
凜はー：

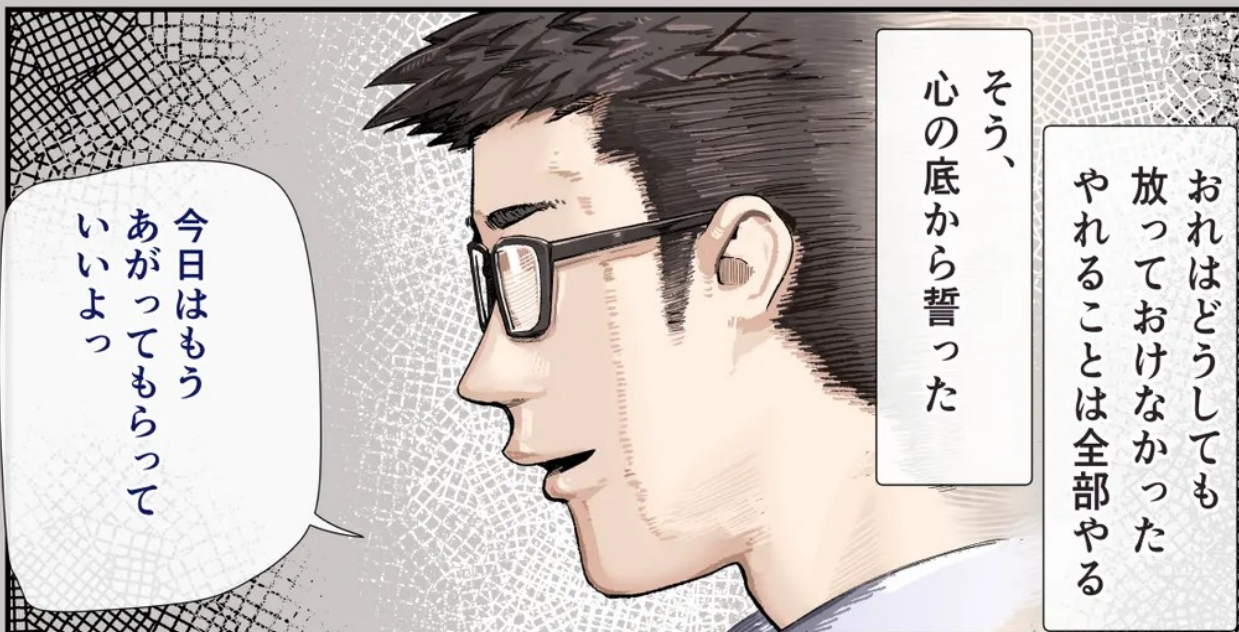


息子のため、
借金返済のため
朝も夜も

いやな顔もせずに
黙々とレジに
立ち続けていた



いらっしやいませッ!!

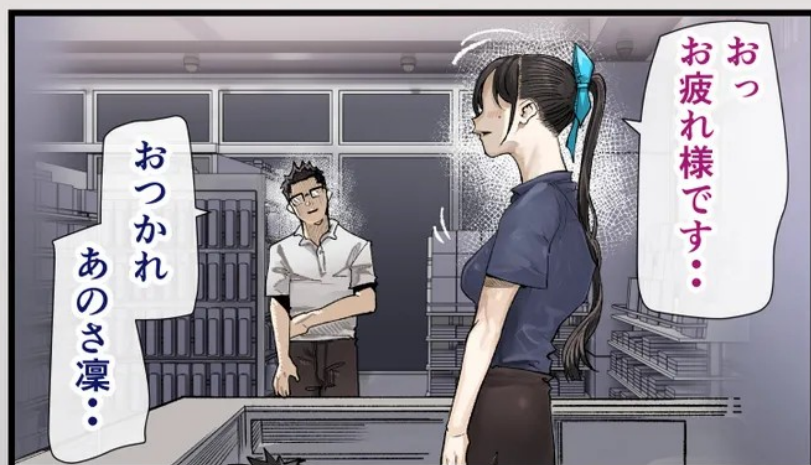


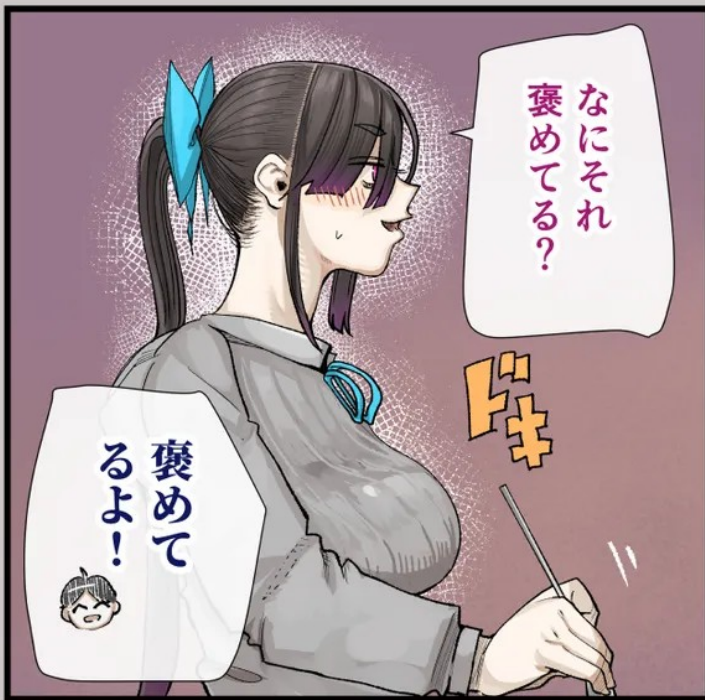
今日はもう
あがってもらって
いいよっ

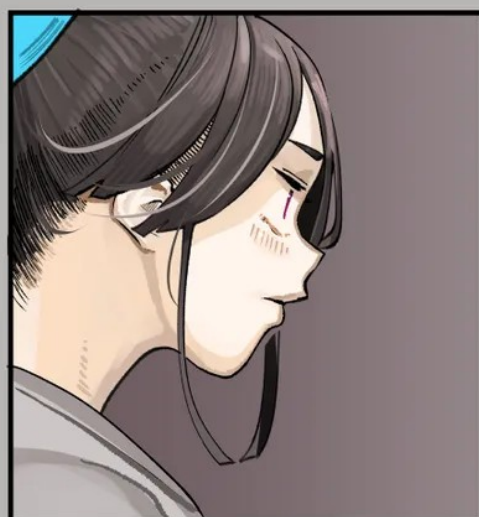
そう、
心の底から誓った

おれはどうしても
放っておけなかった
やれることは全部やる

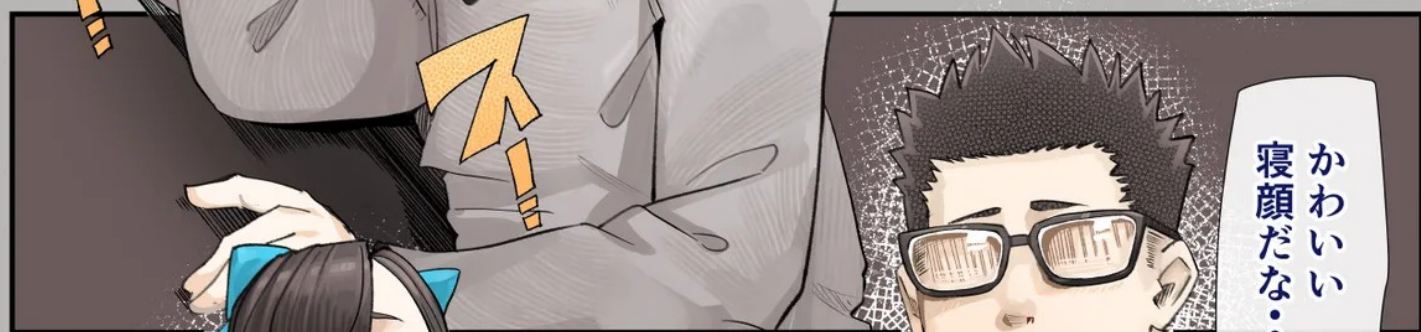
借金で首が
回らなくなった
昔の自分と重なる凜をー

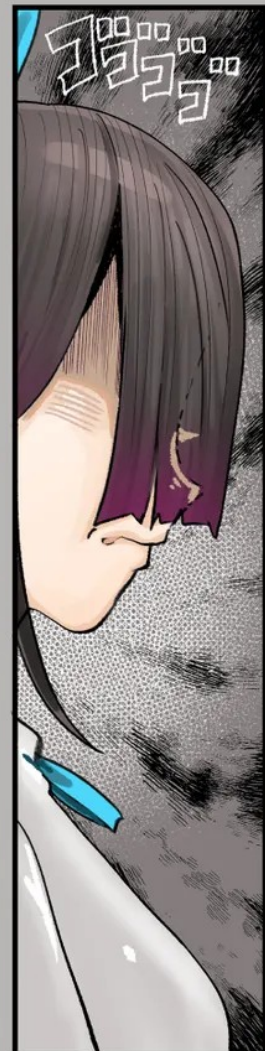
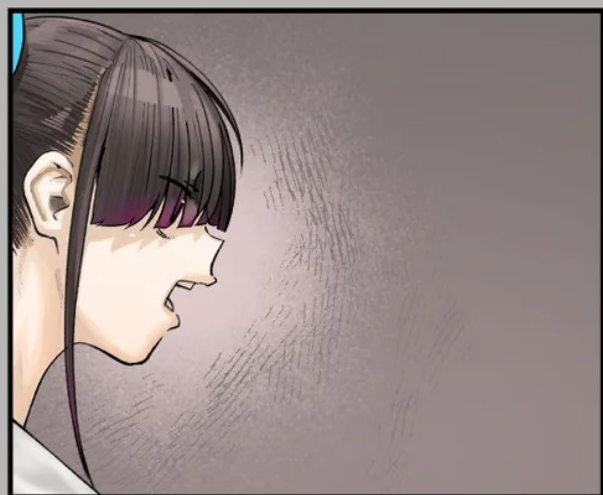
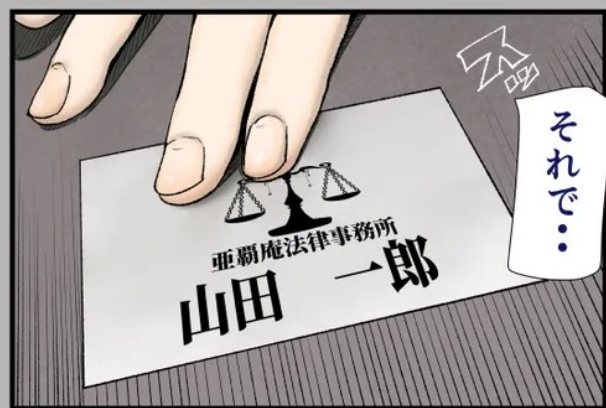


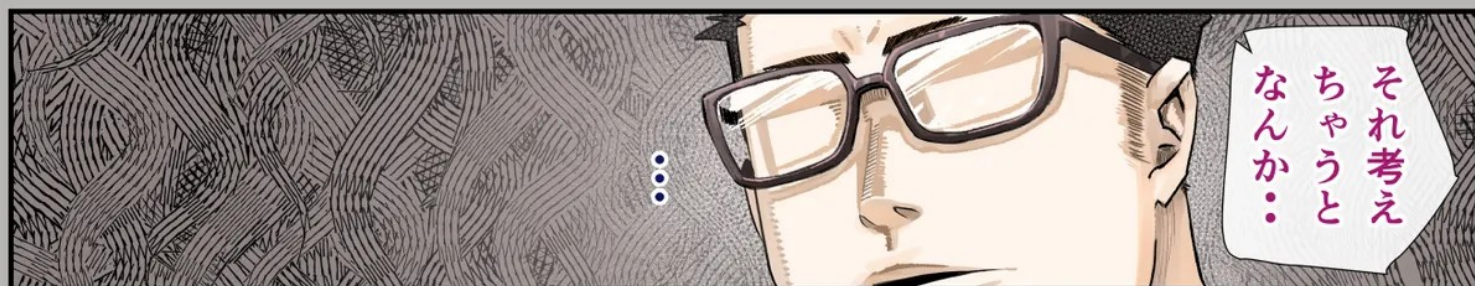












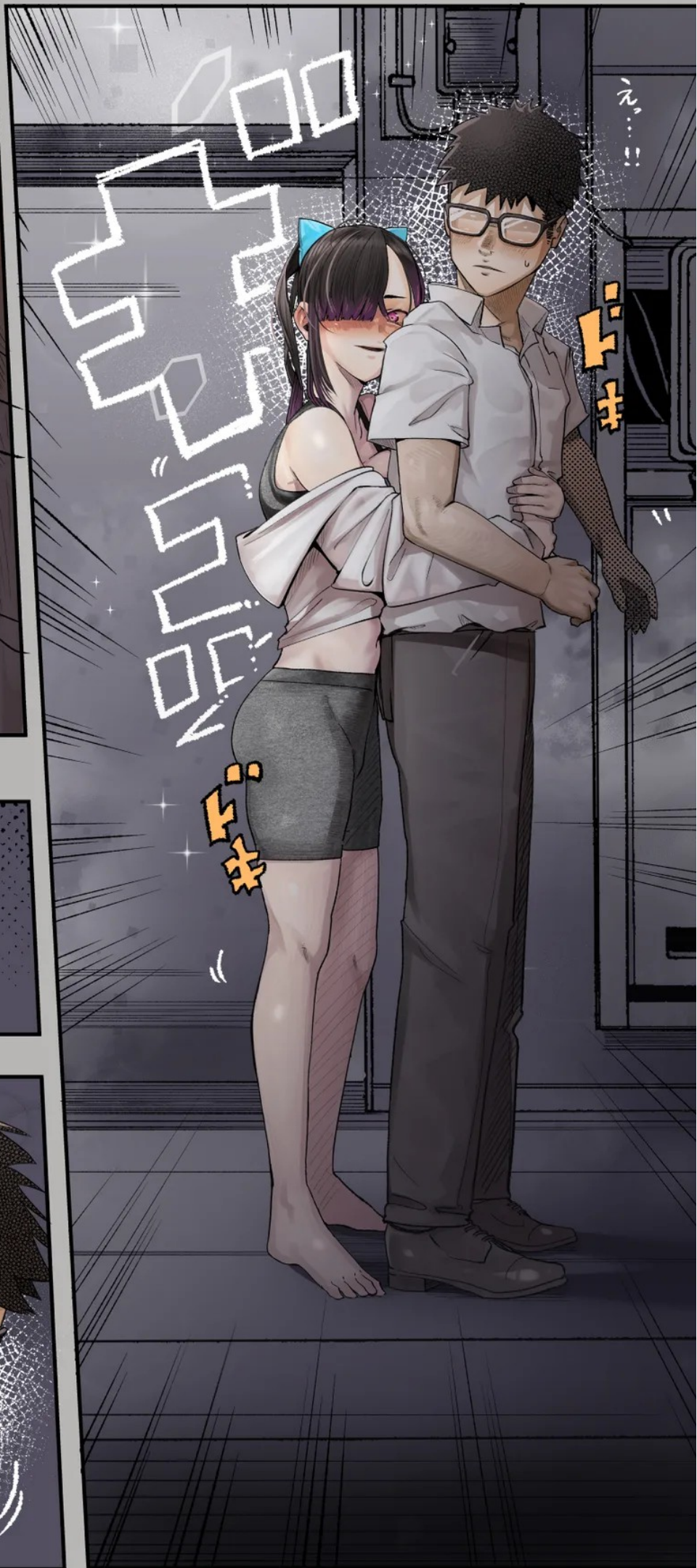
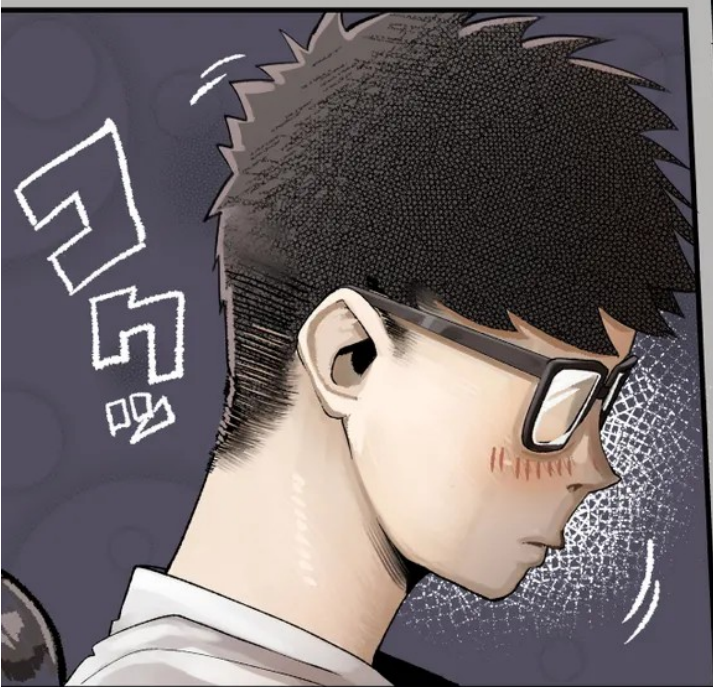
本当に
帰るの？

ああ：明日
早朝勤務
なんだ：
すまん：

おやすみ

それじゃあ
凛太郎に
よろしくな

そっか……





あつ
そうですか

凜太郎君は
登校はしてる…と
あつわかりました
ありがとうございます



新人さん
遅いっすね



すまん：
凜の代わりに
シフトに入って
くれるか？

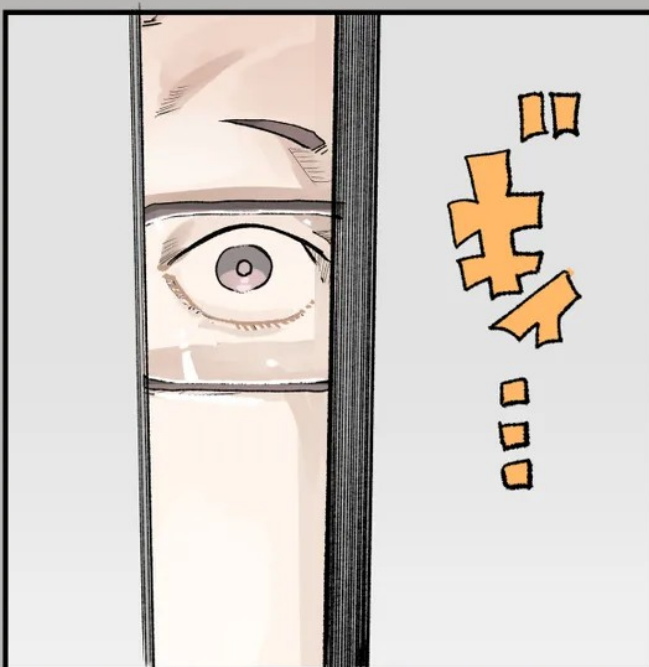
いいっすよ

今日の
午後講義は
楽単ばっか
ですから



ああ…
電話にもでないし
もしかして
なんかあったか？





はいっ
ポーズして

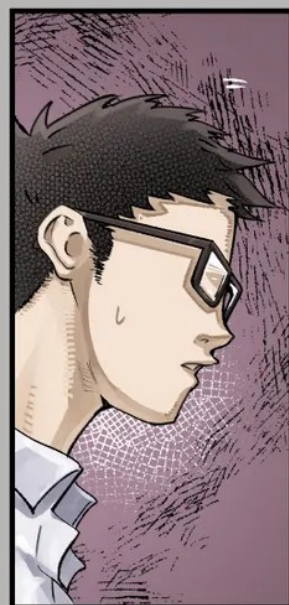
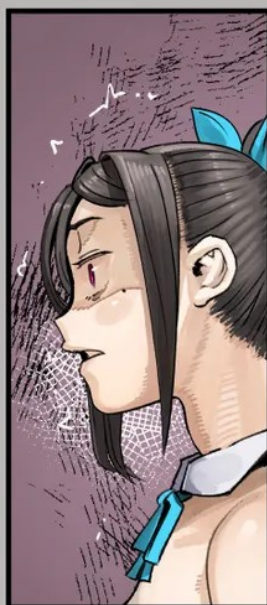
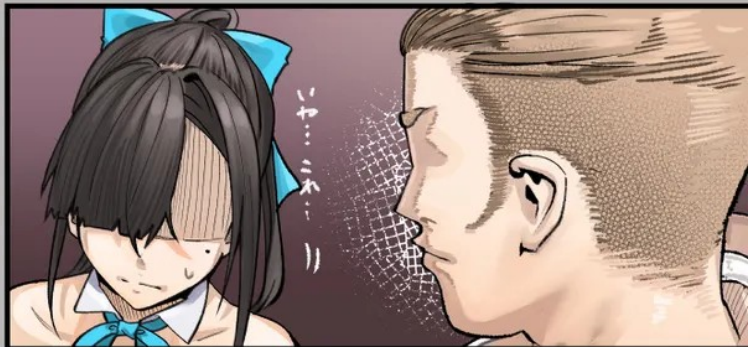
いいよ
次は膝立ち
してみて

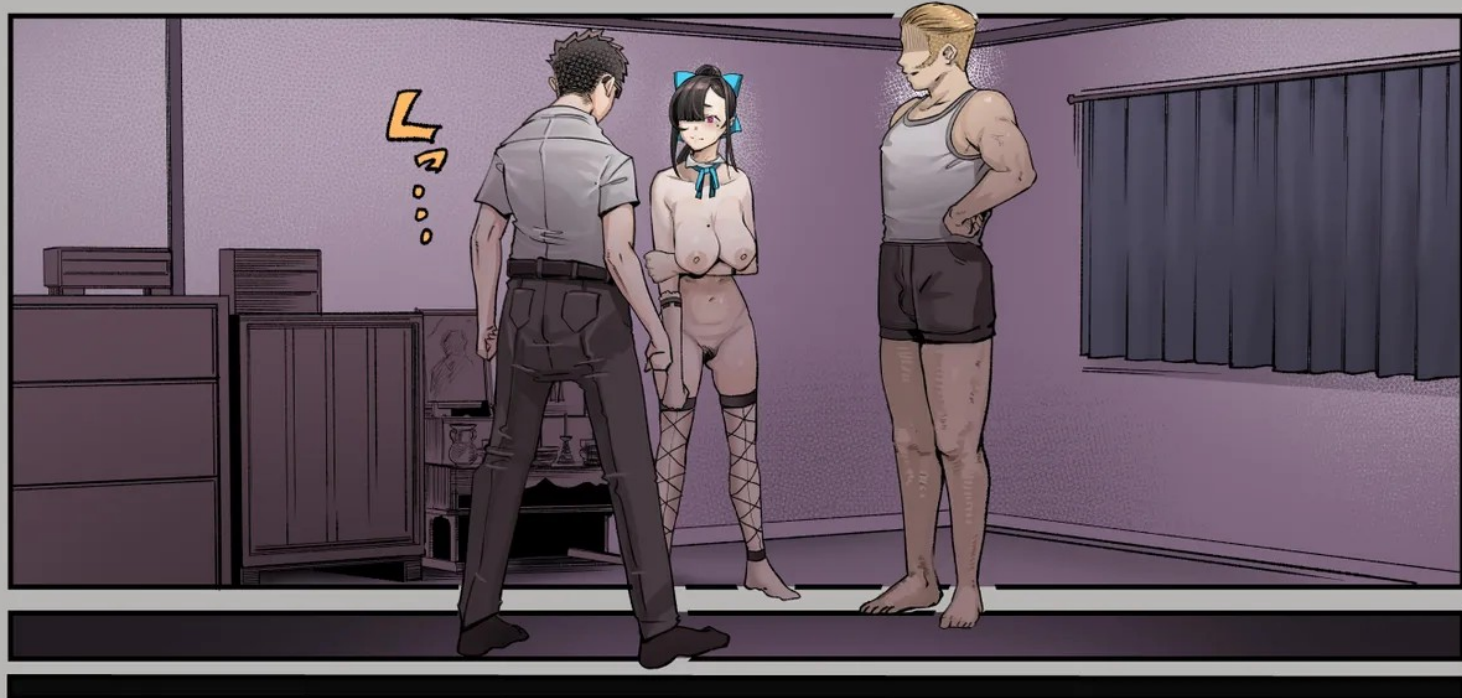
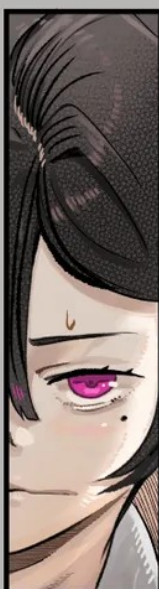
こ...
こうですか？

凜ッ

おま...

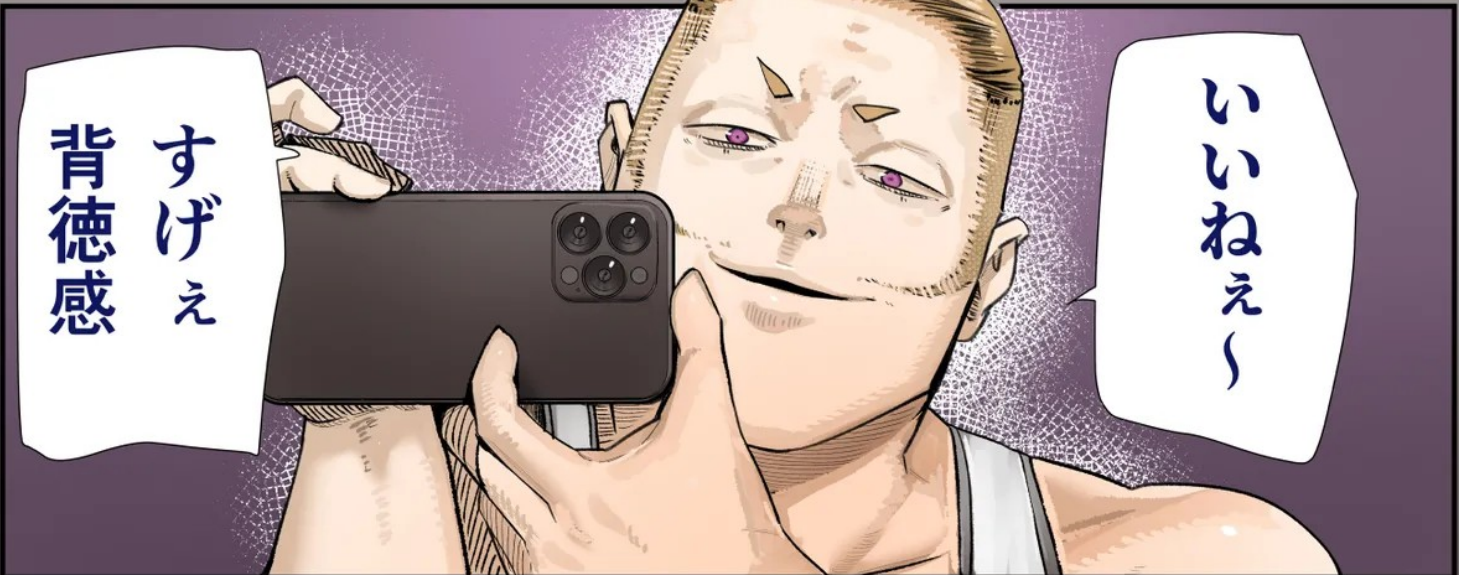
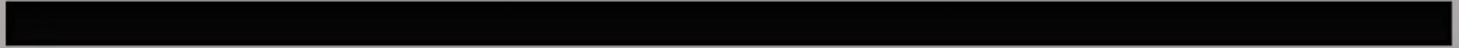
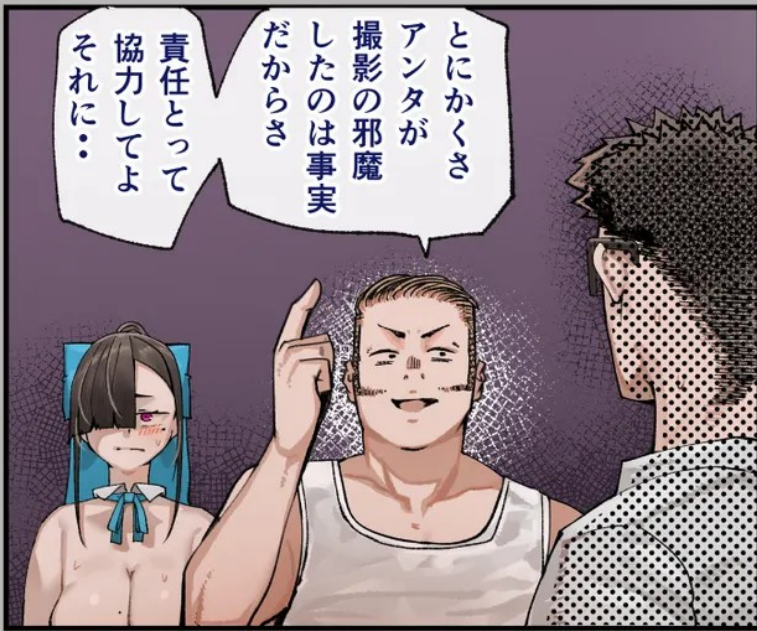
な：
何してんの？



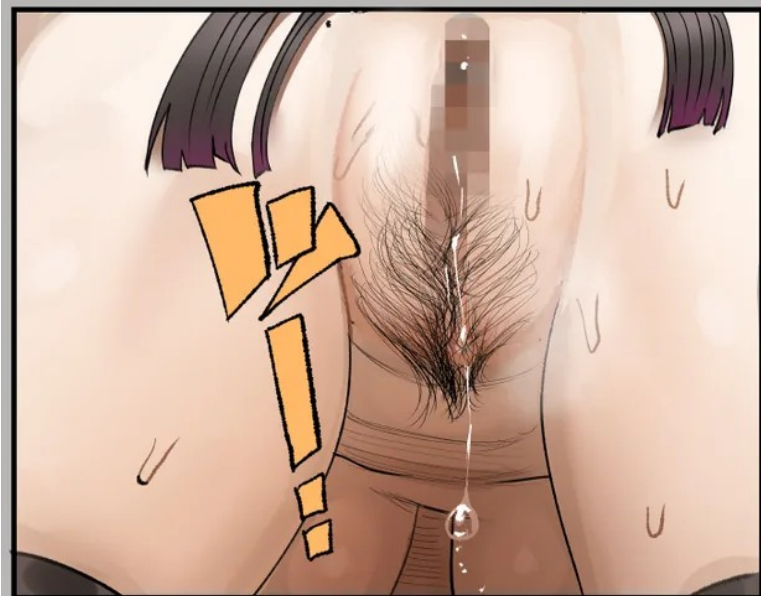
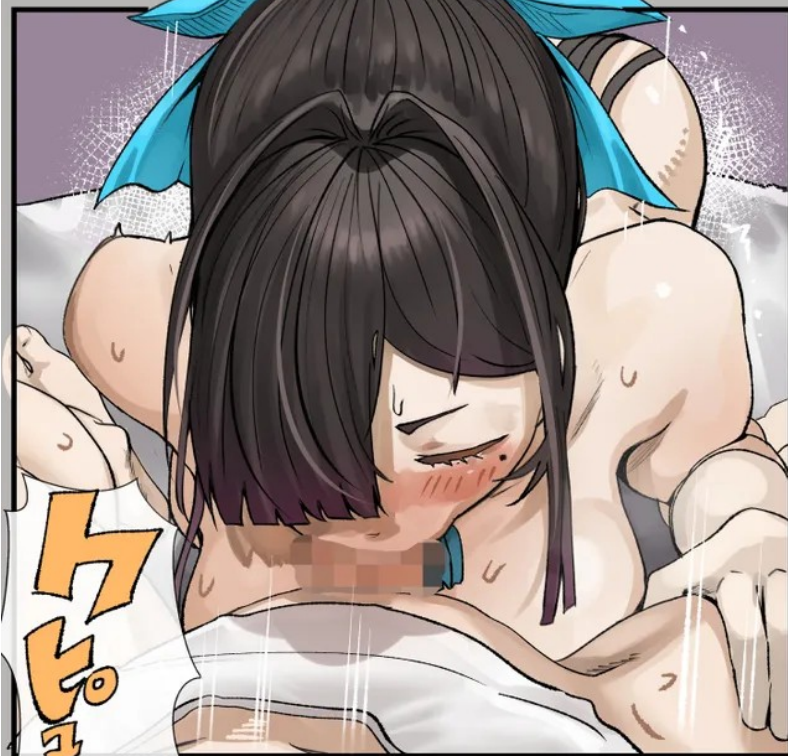


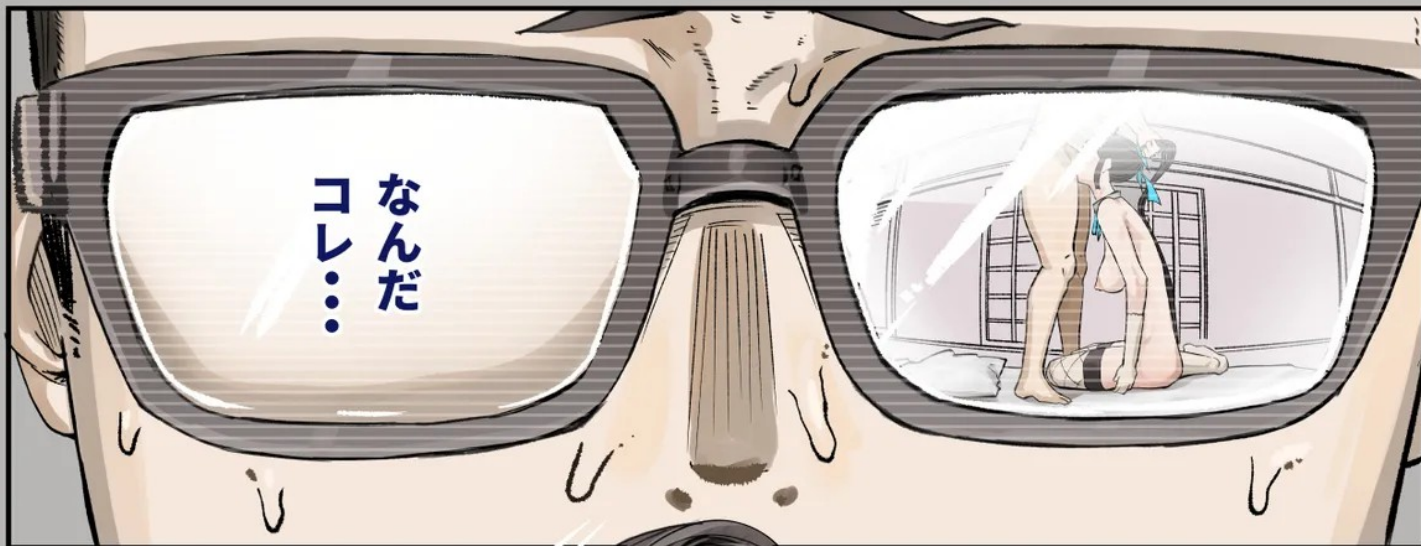


まあ
まあ

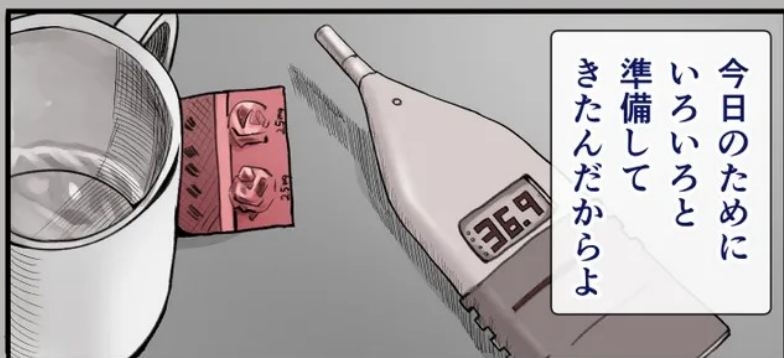
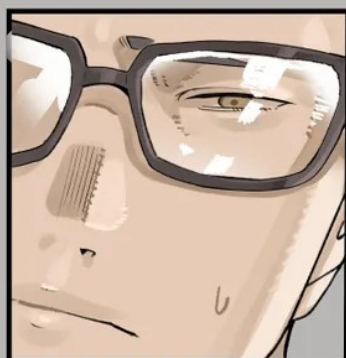


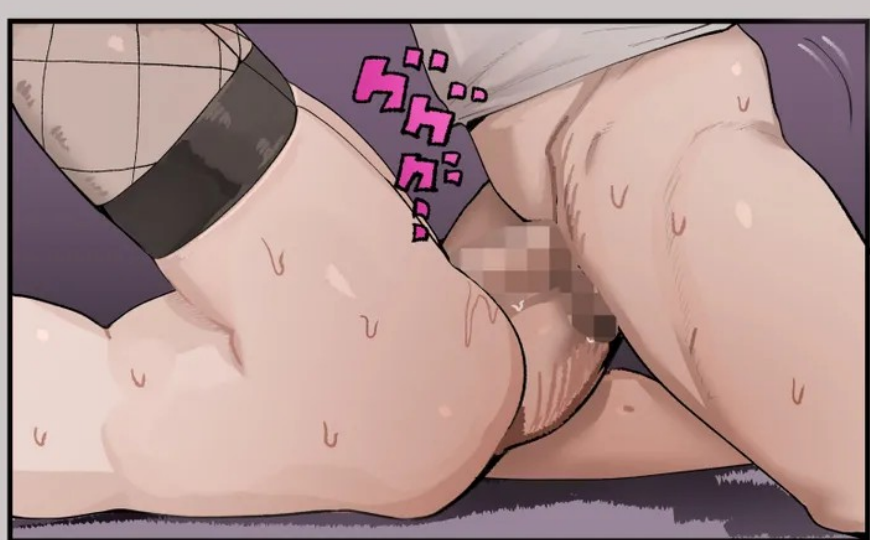
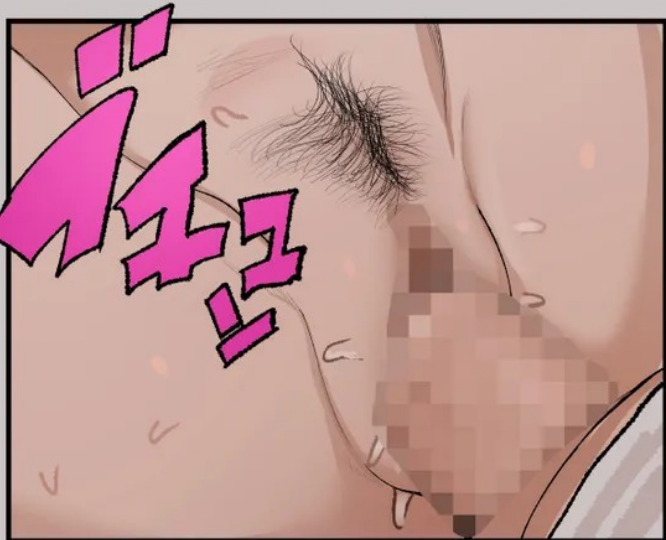
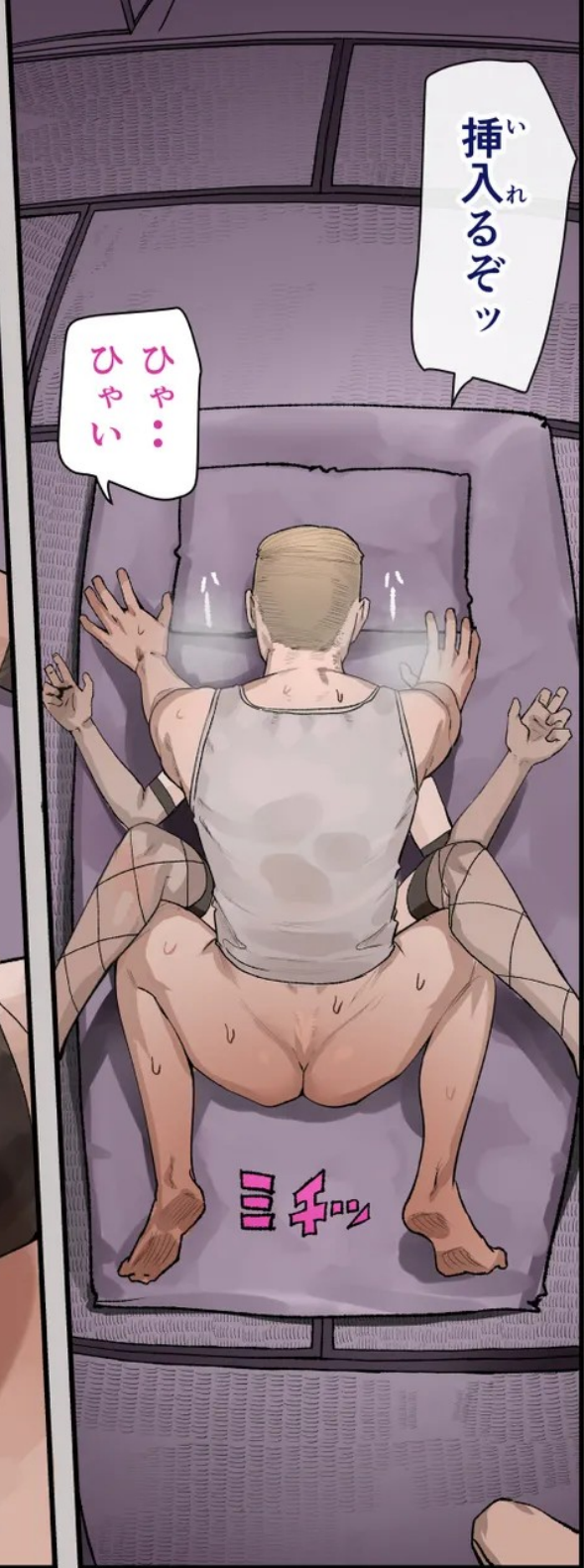


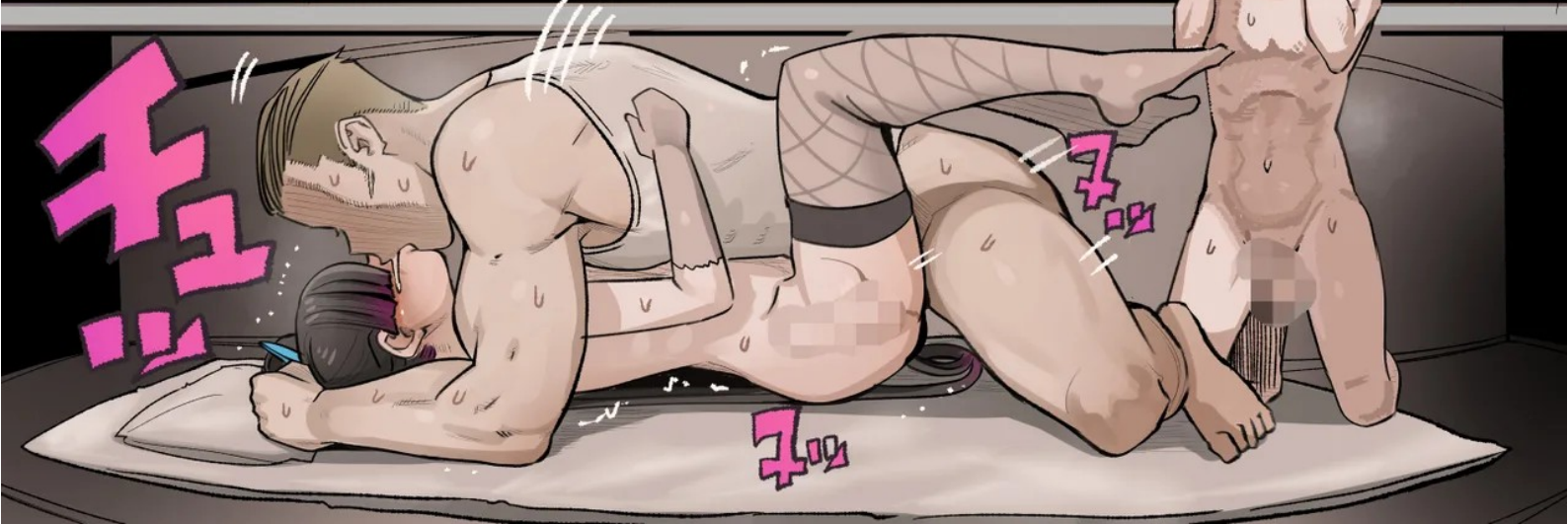
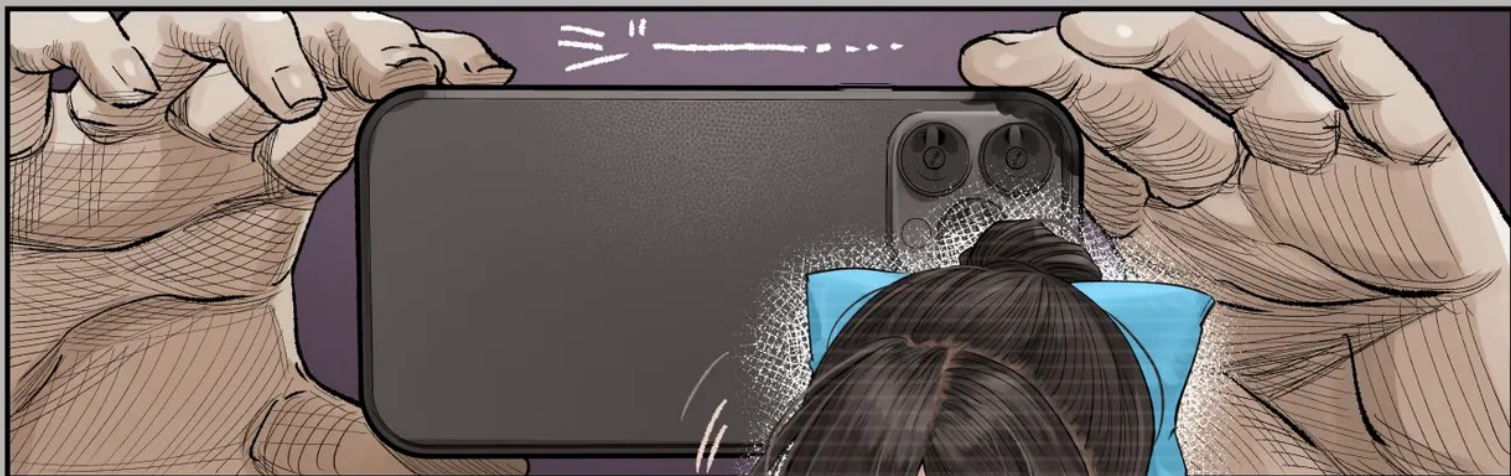


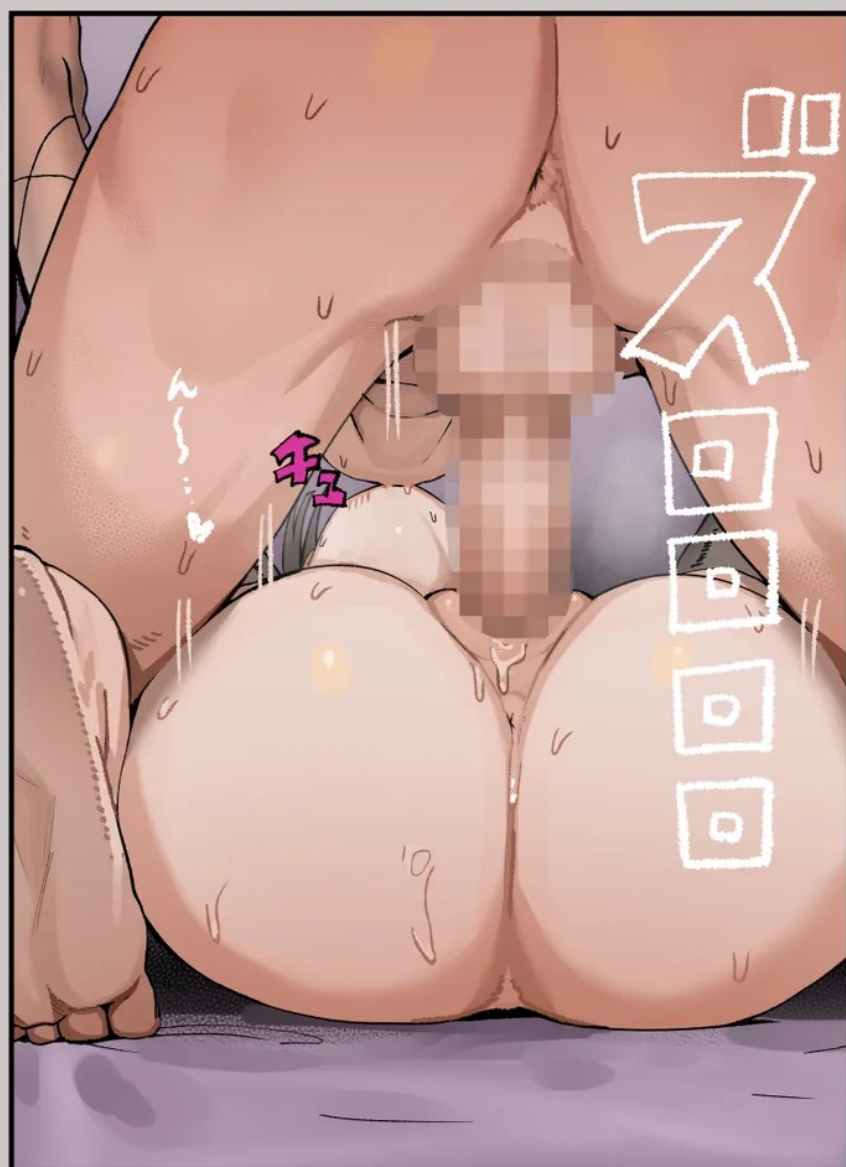
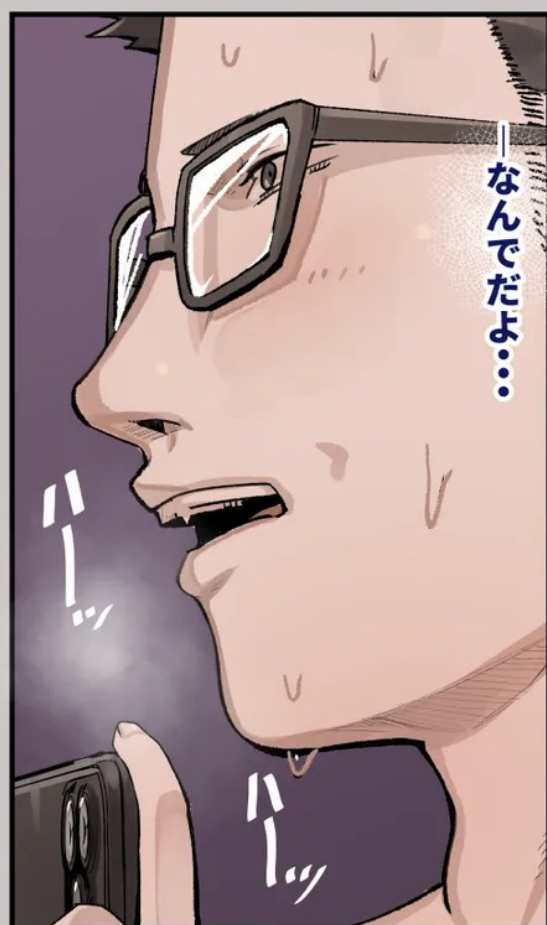


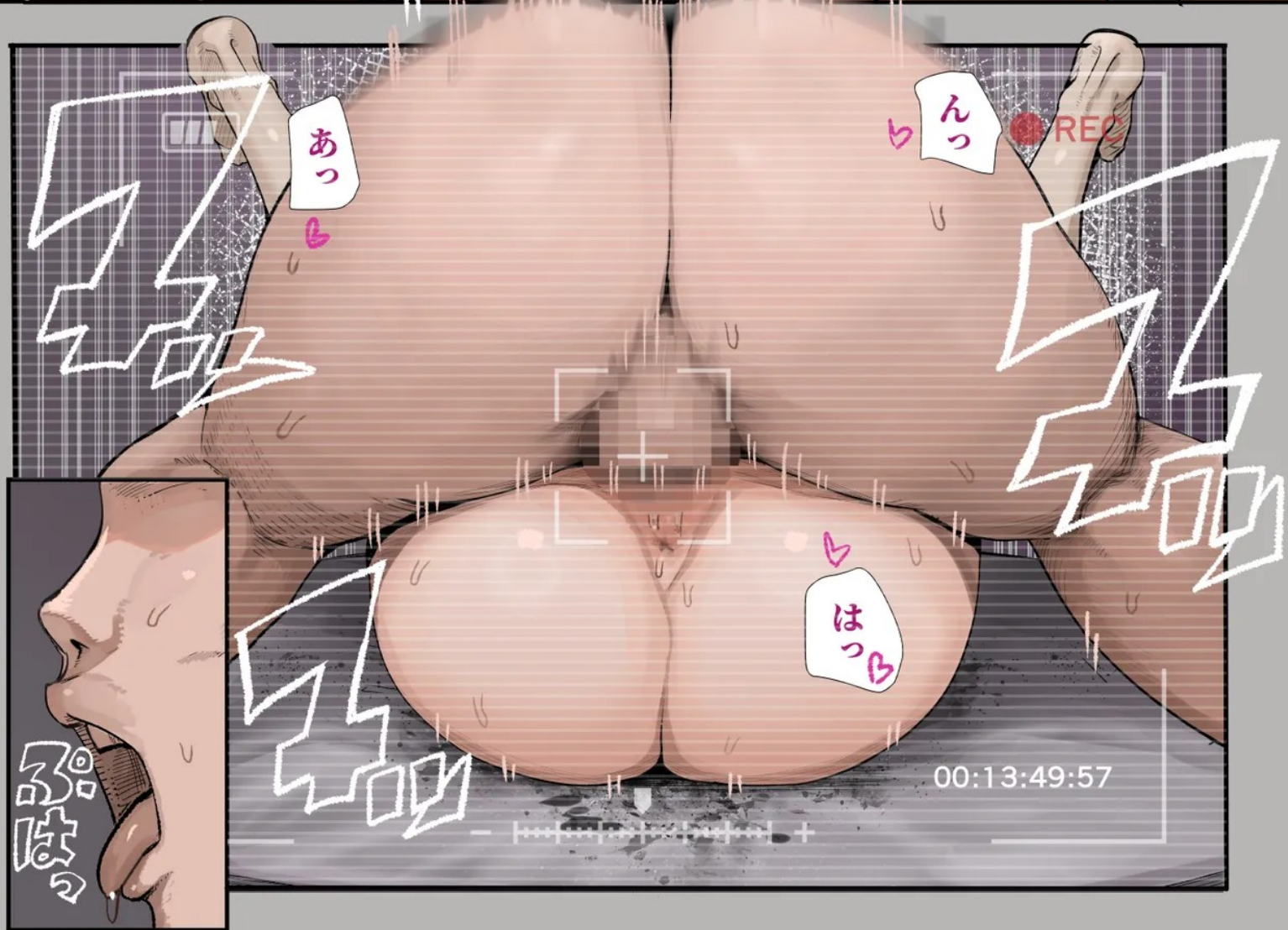


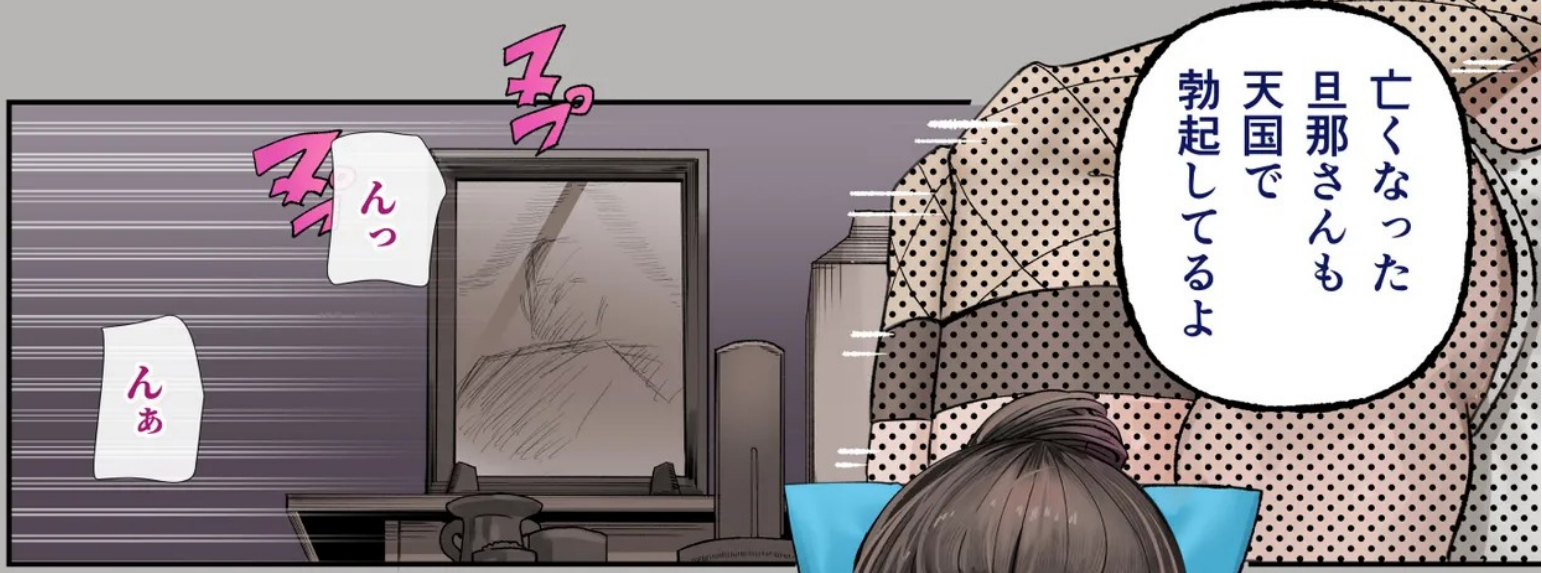


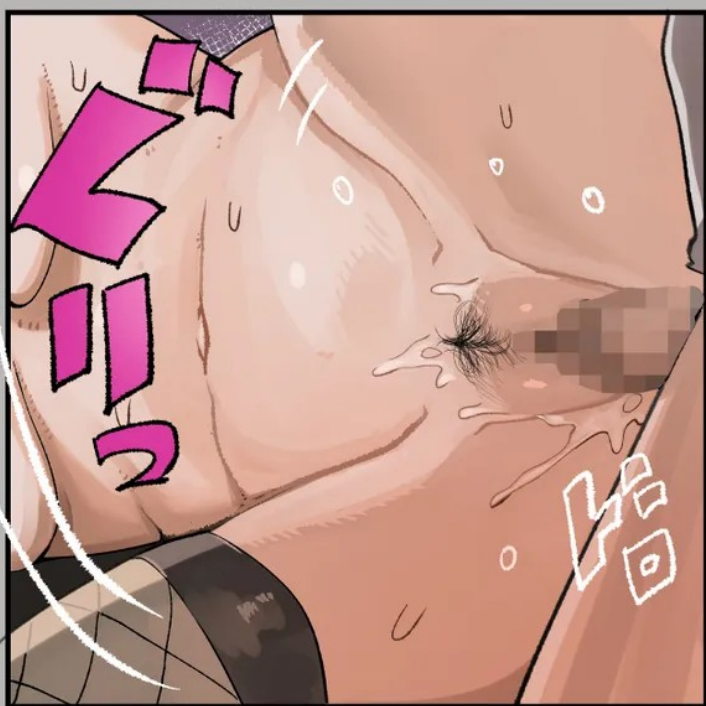
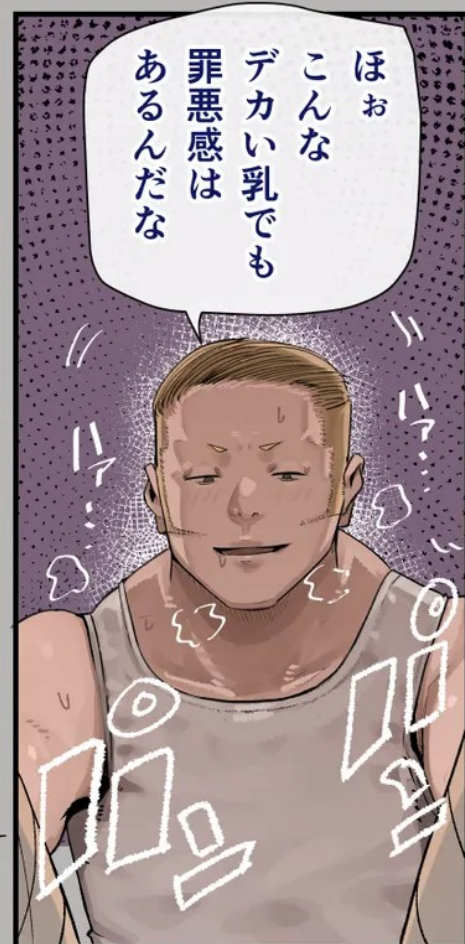




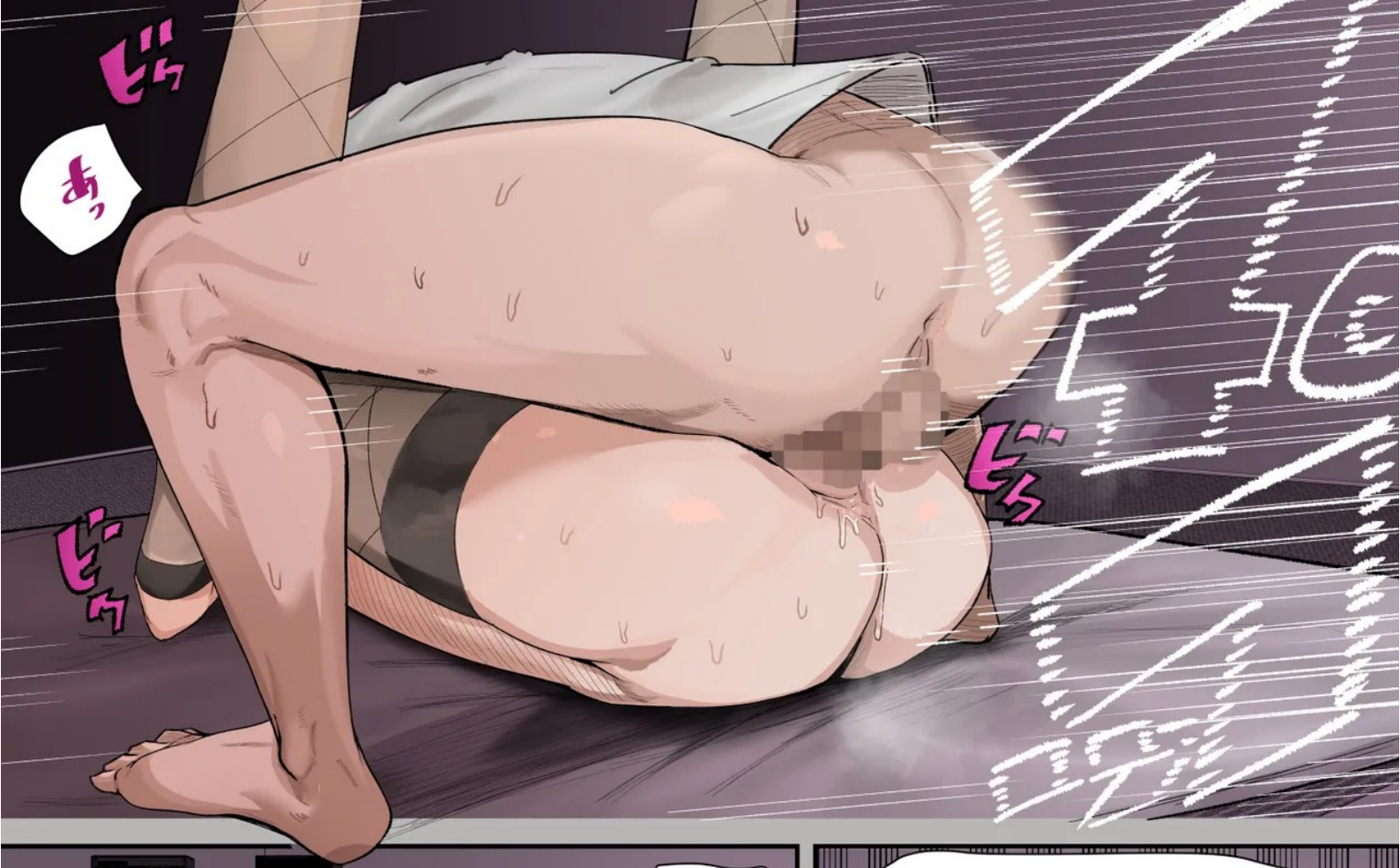








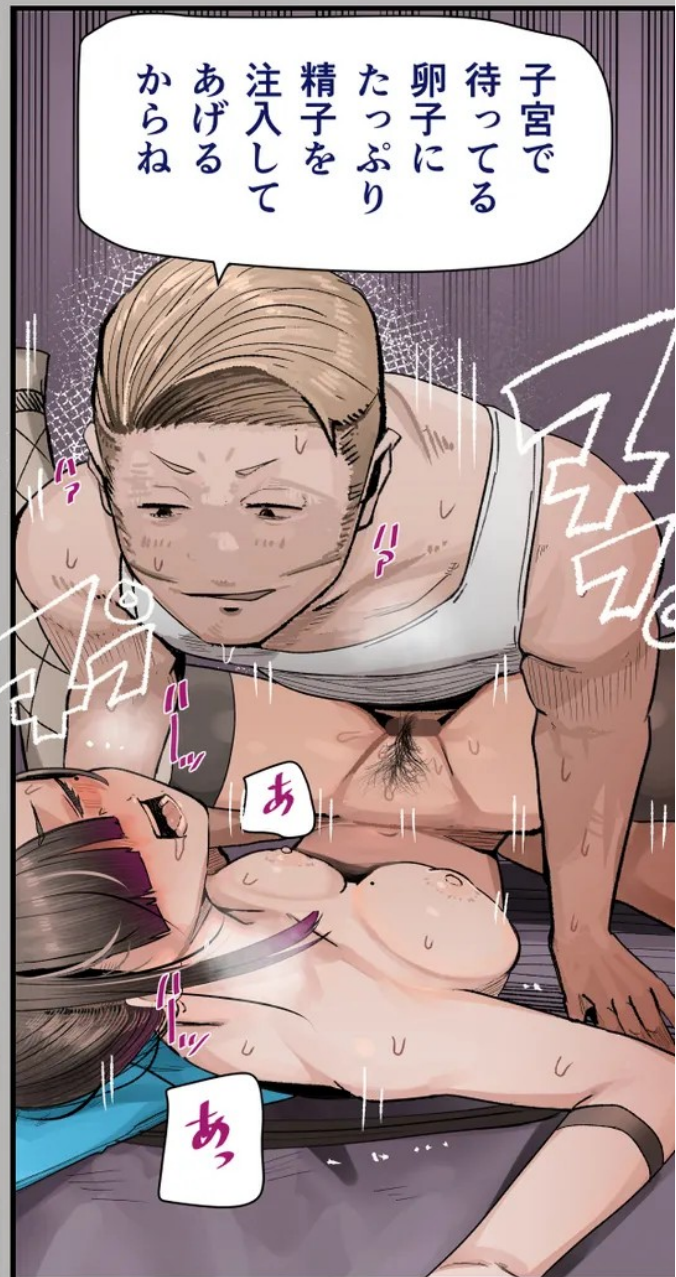
いいねえ
その表情
リアル感
でてるじゃん



おいっ
カレシさんよ

ズロロロ

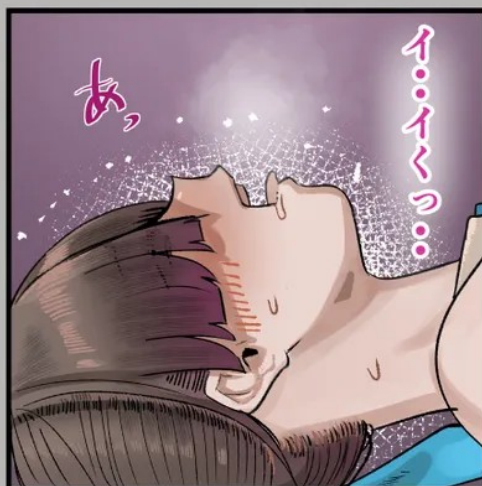
ちゃんと撮れよ
貴重な受精の
瞬間だぞ



子宮で
待ってる
卵子に
たっぷり
精子を
注入して
あげる
からね



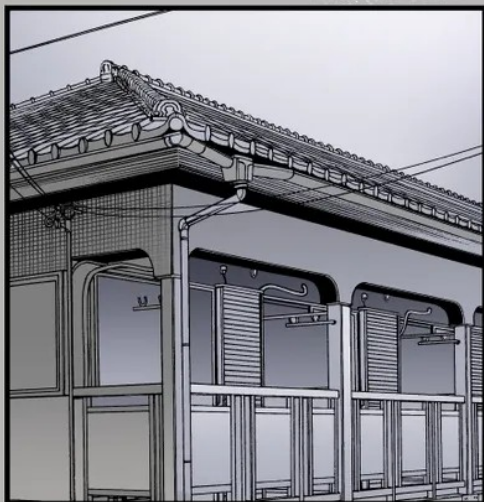
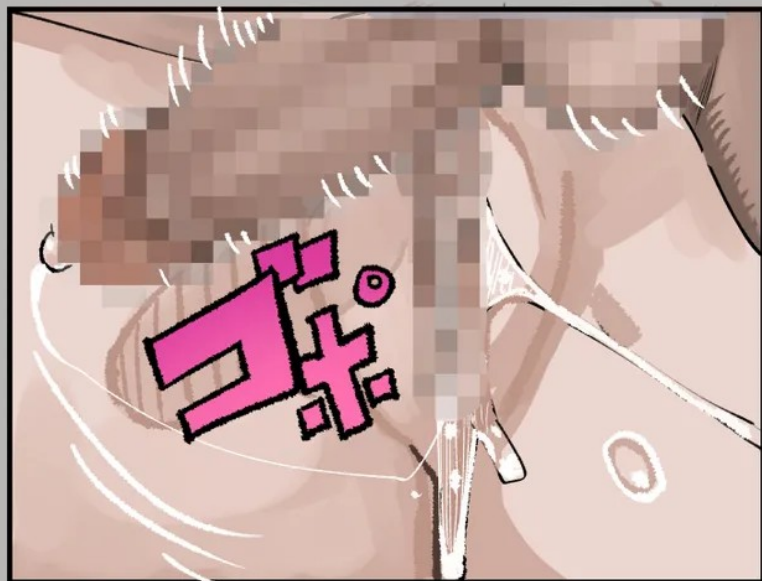
おい！
聞いているか

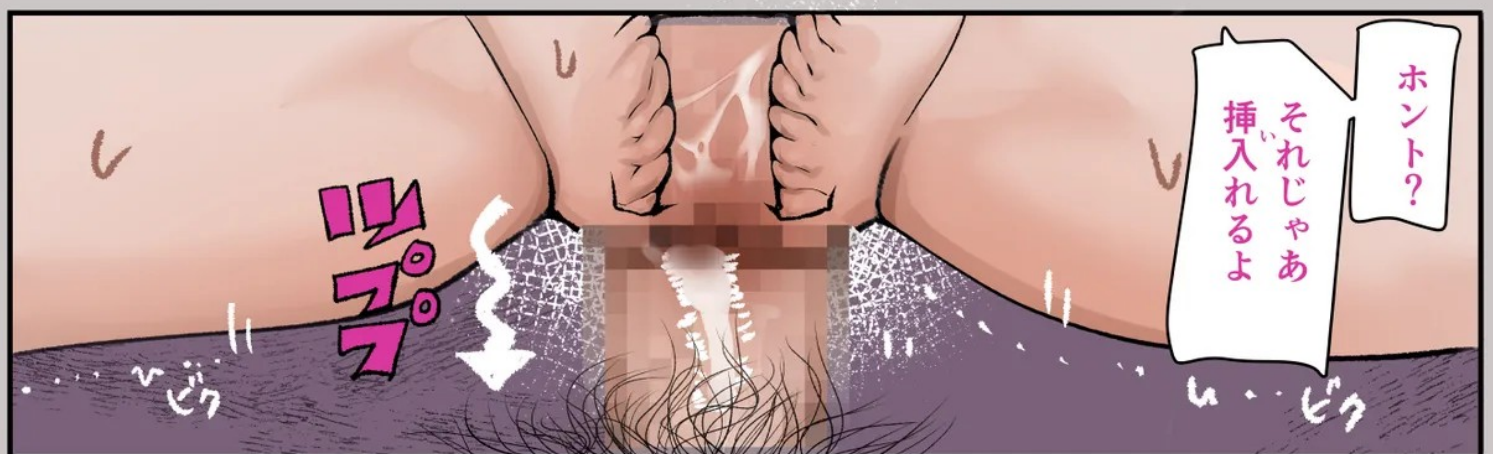
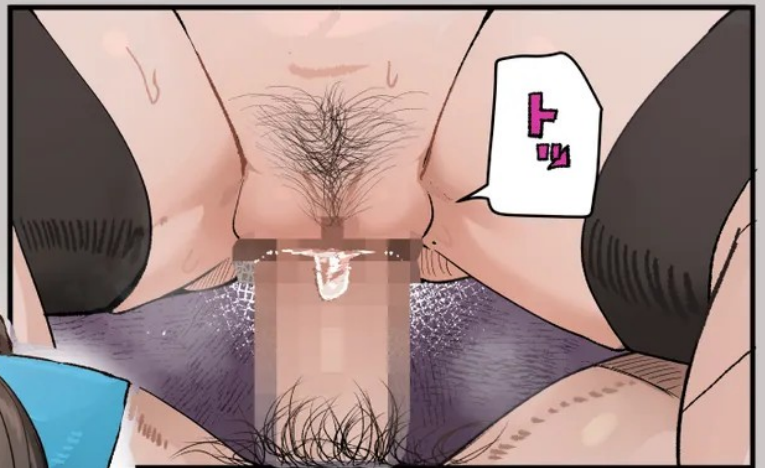


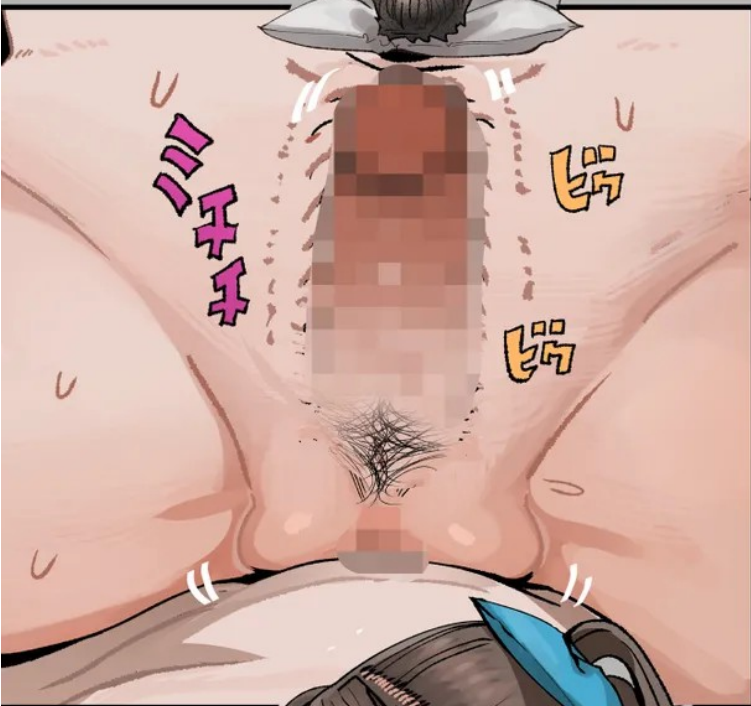
イ・イ・くっ...

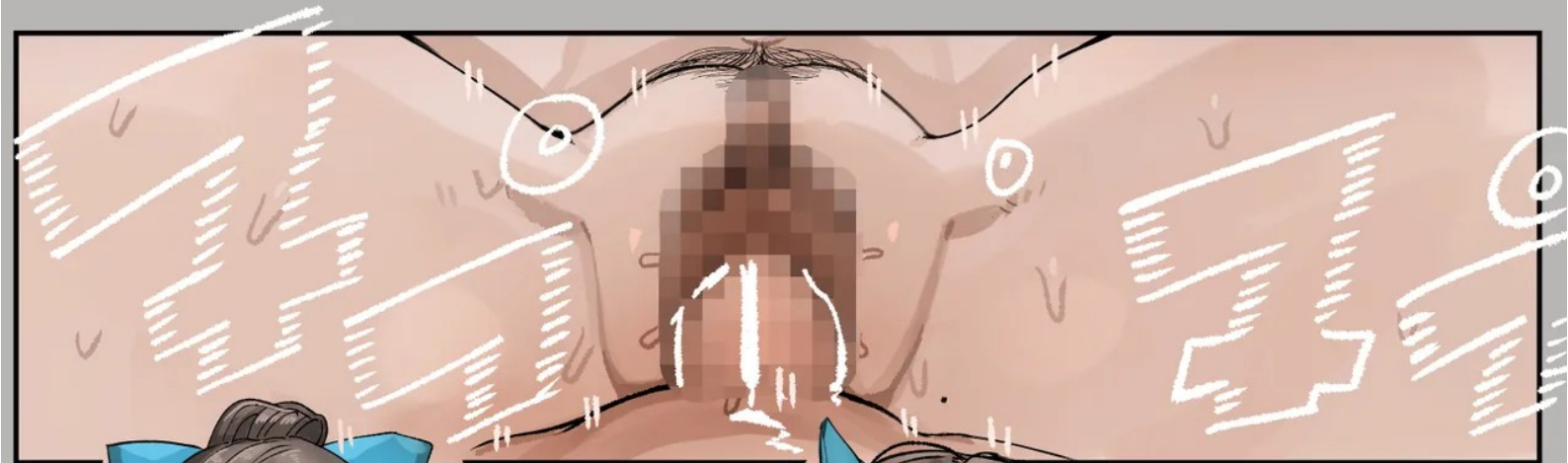
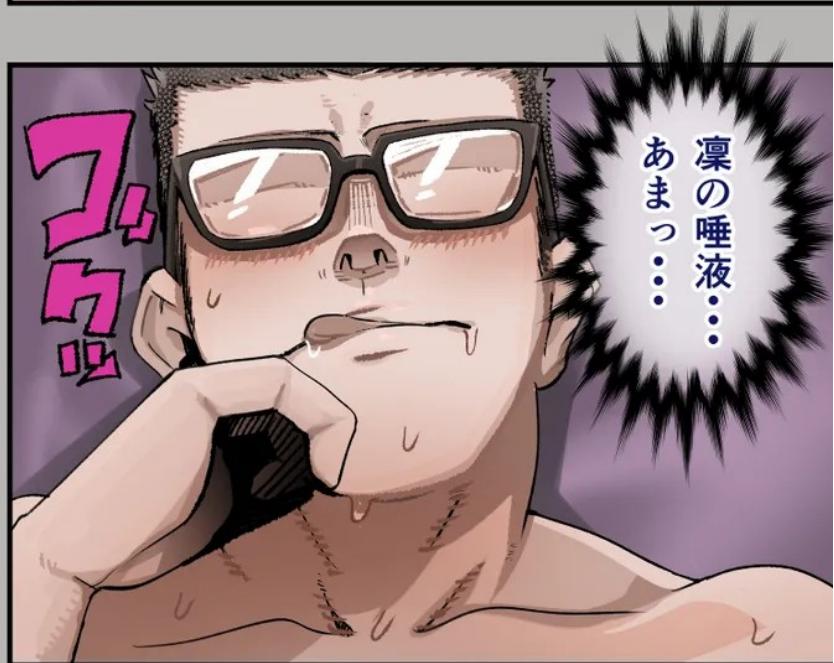
あ、

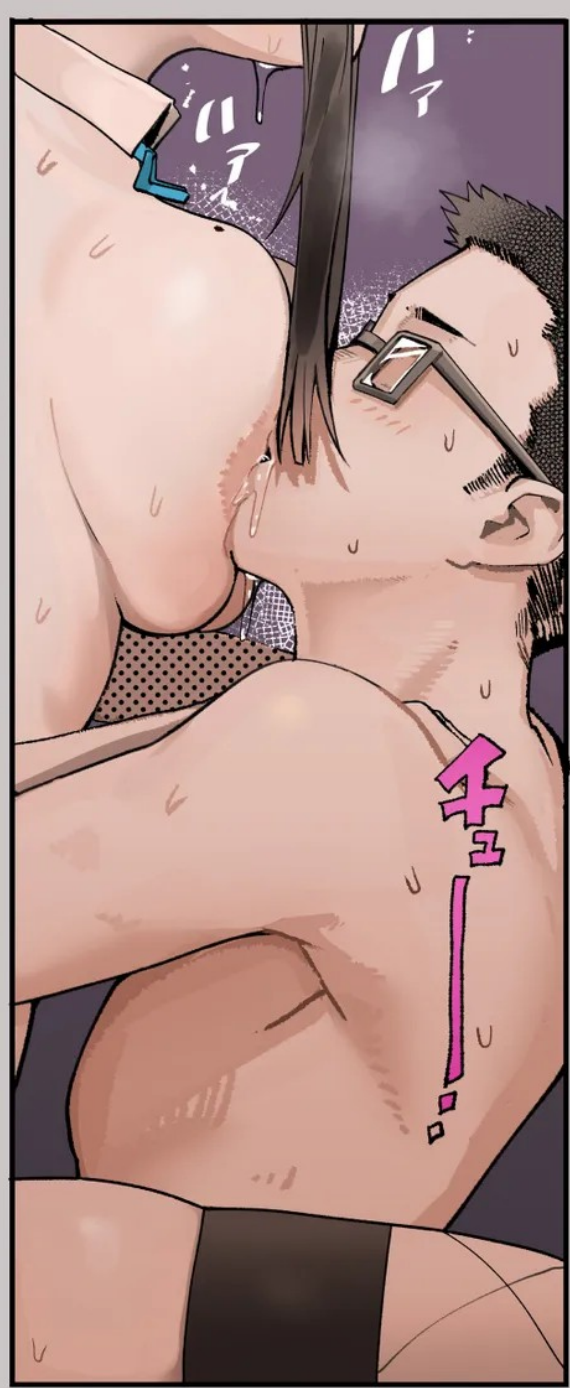


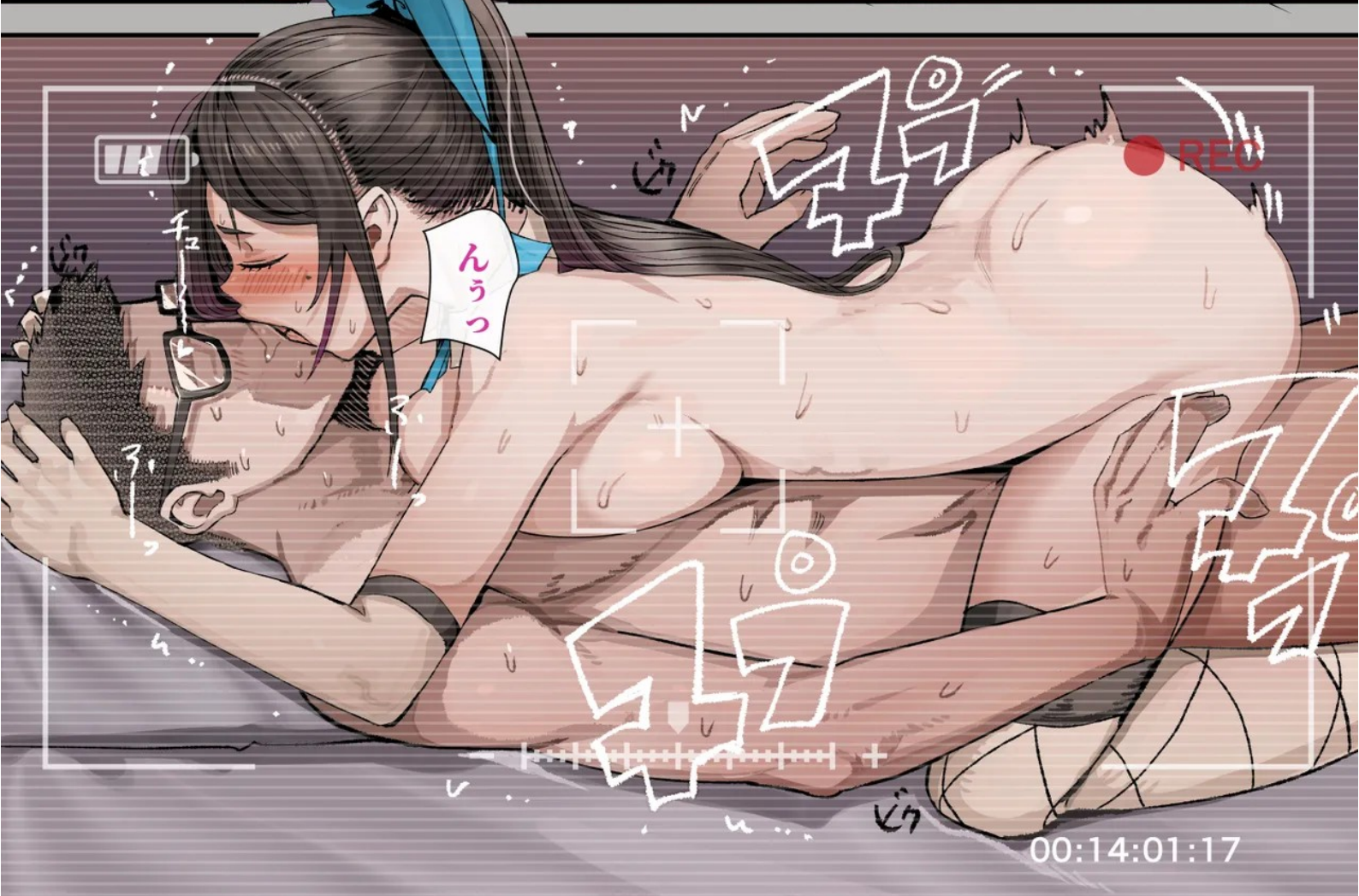
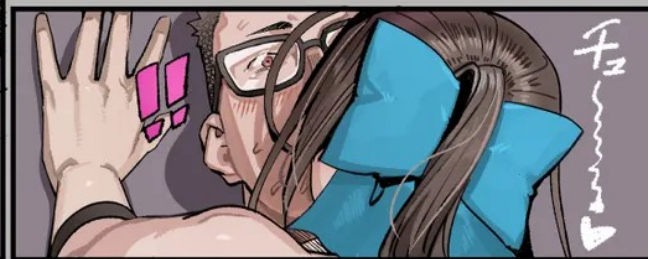




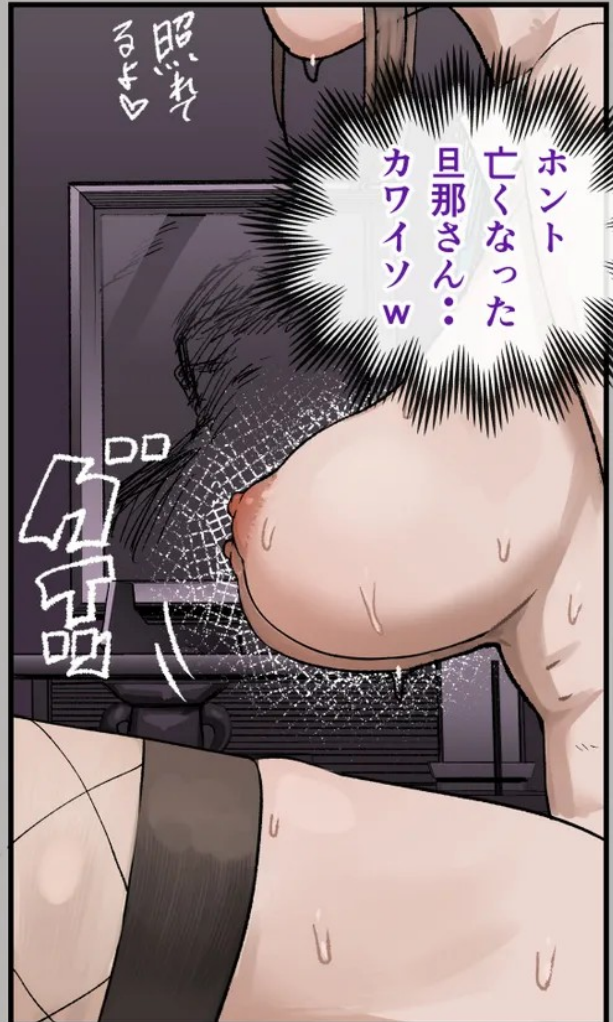
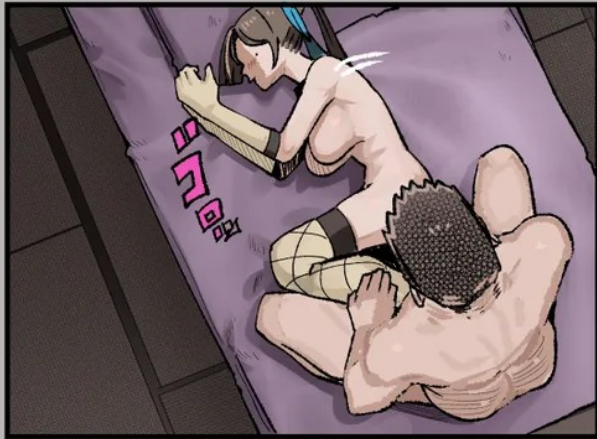
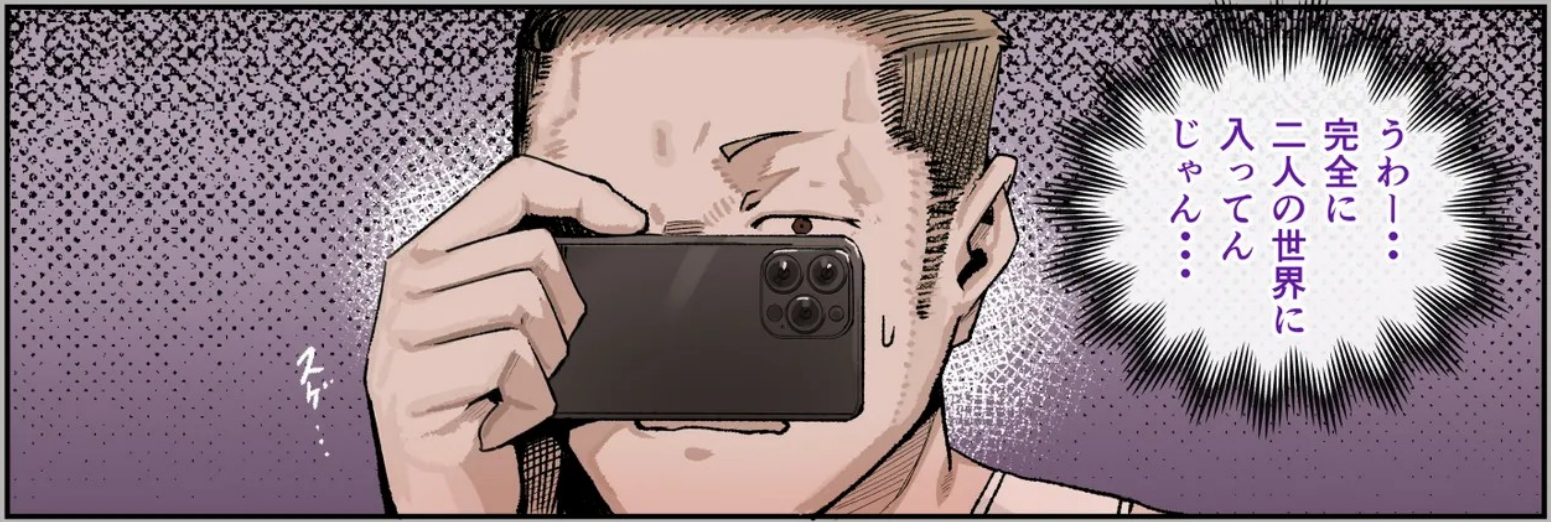


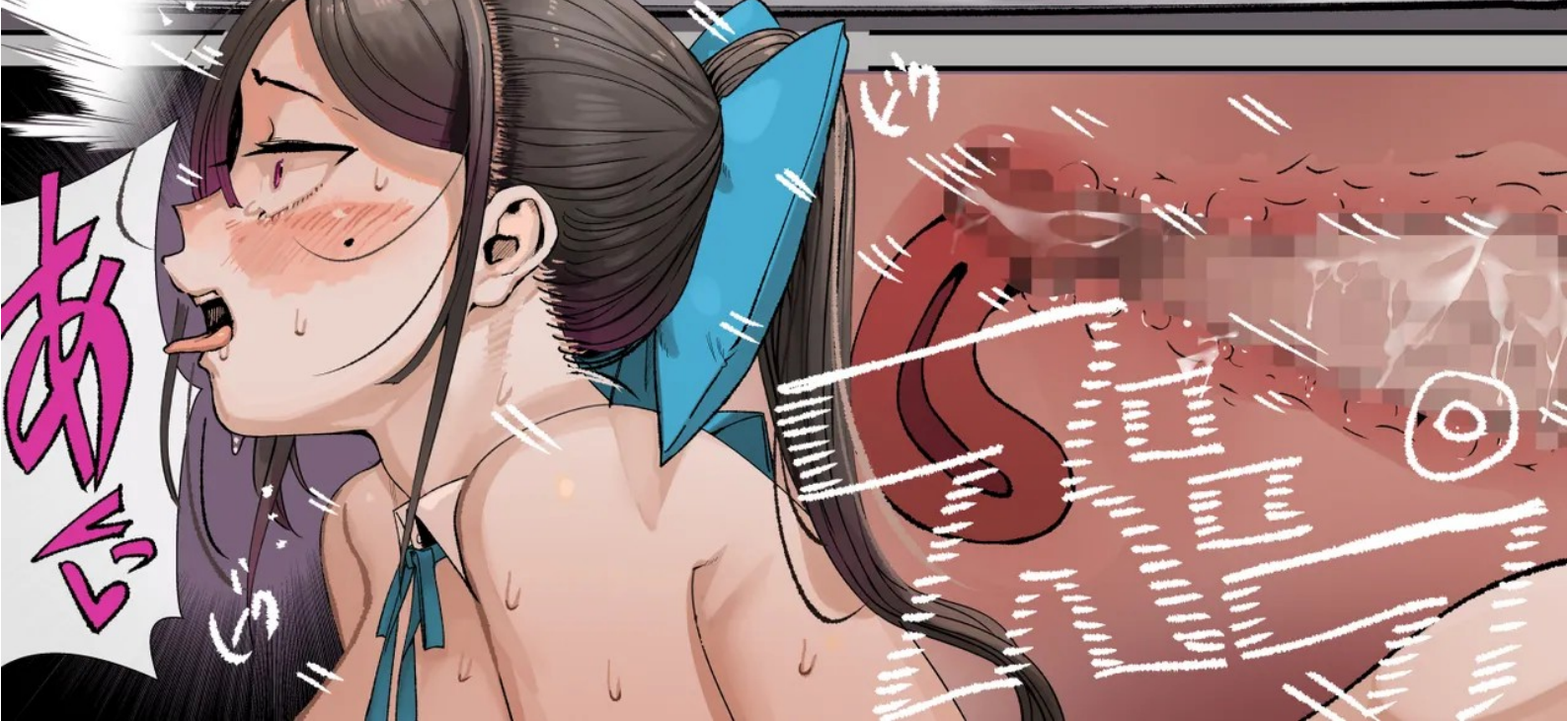
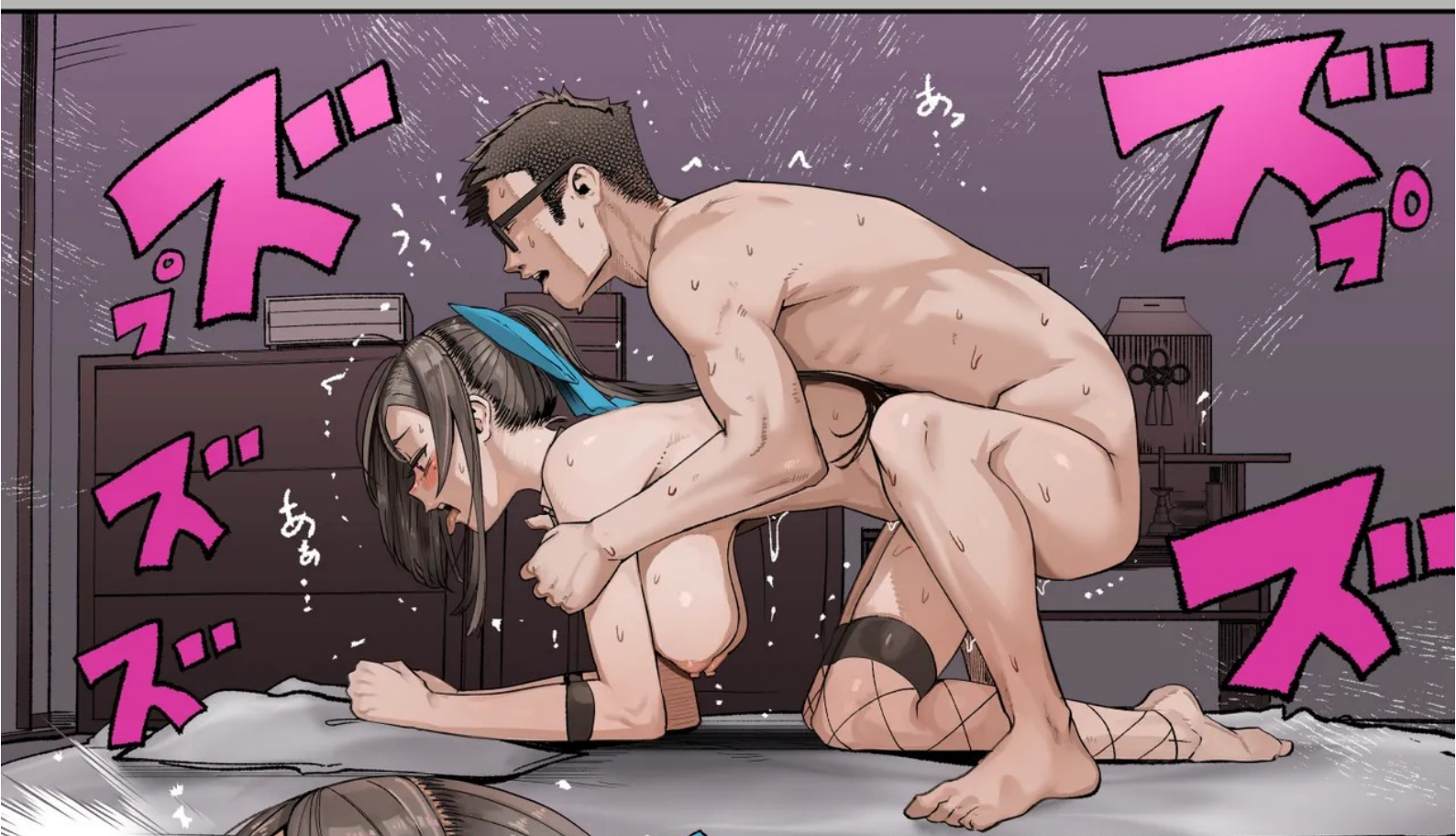














あいつじゃなく
俺の精子で:

孕んでくれっ



凜:
あいつより
濃厚な精子:

中に出すから:



絶対に
俺が凜のこと
孕ませるから

あいつの
精子に
負けないから



おお
言うねえ

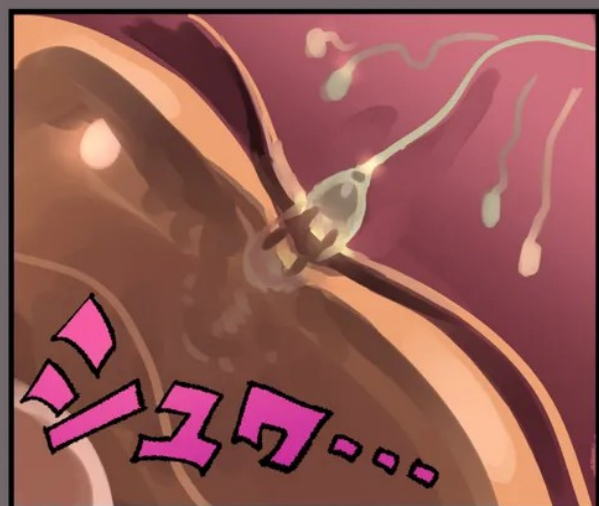
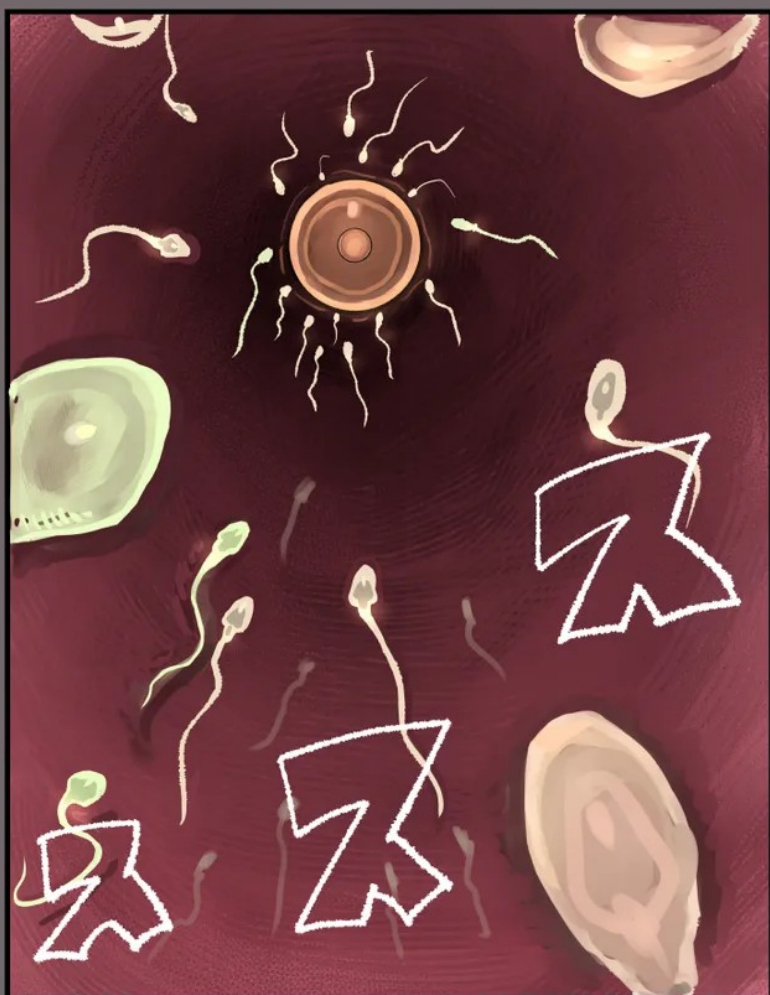
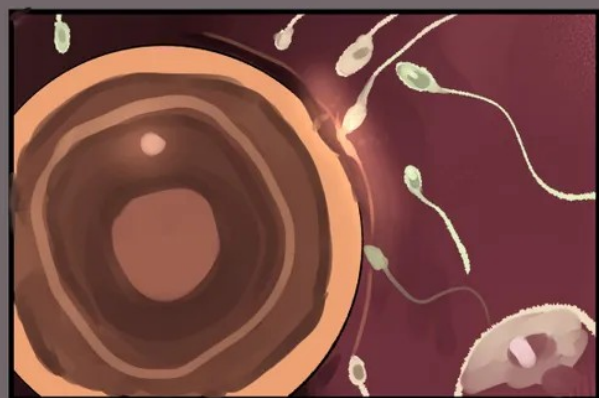
あ

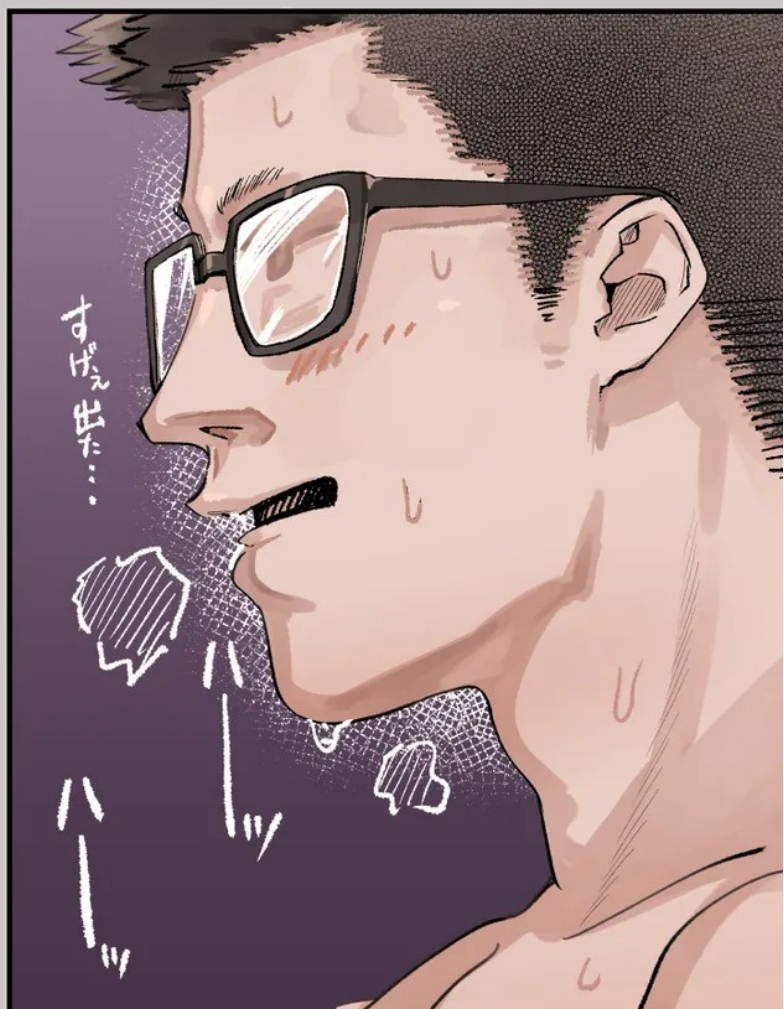
ハア

あ

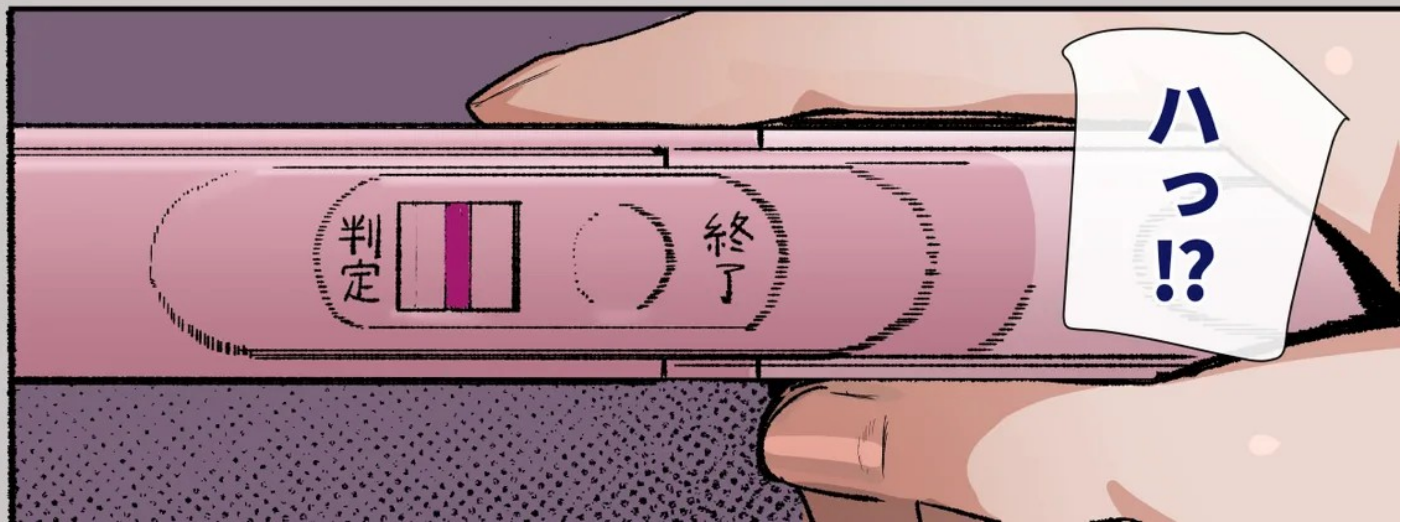
ハア





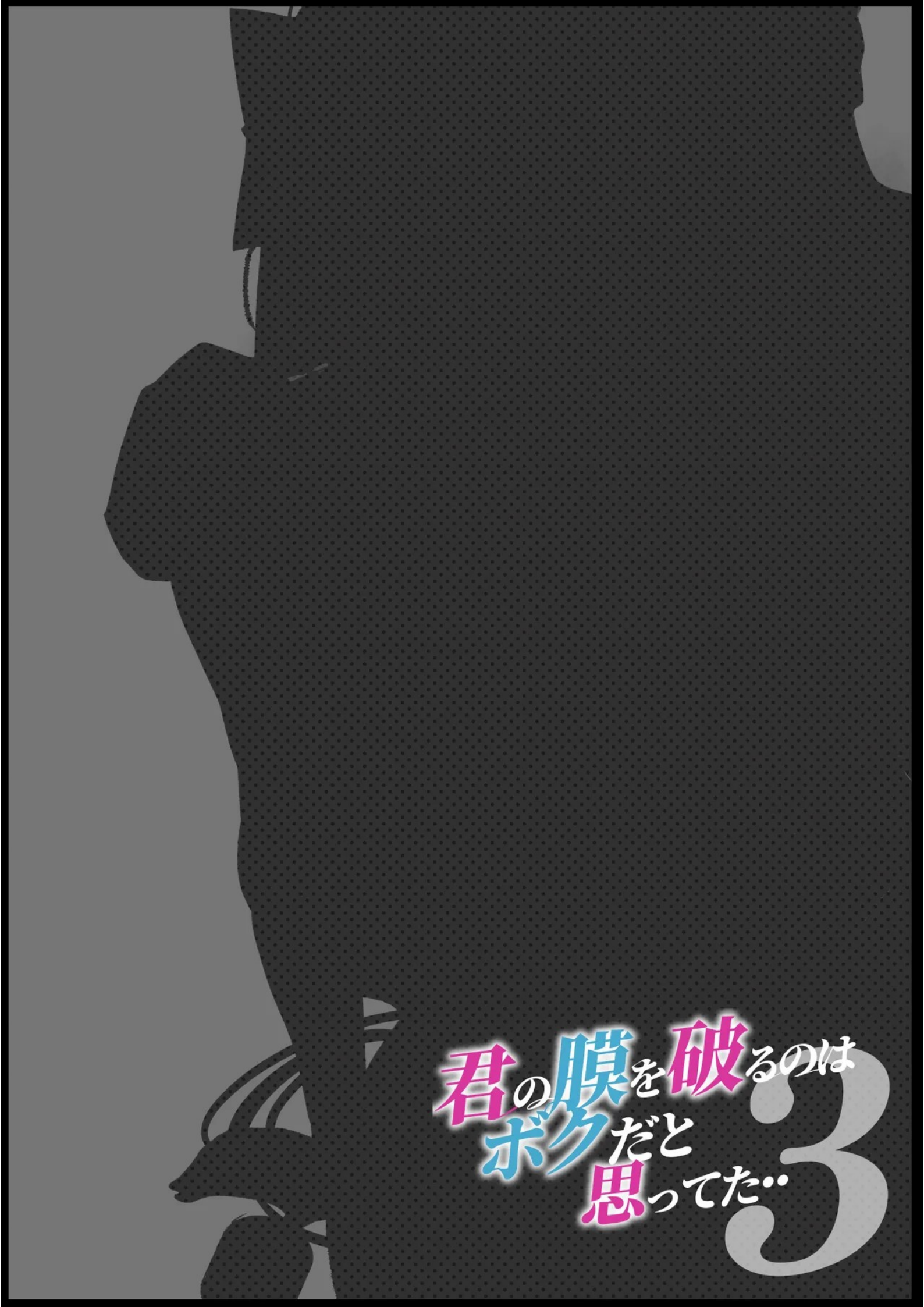






君の膜を破るのは
ボクだと思ってた…
再生編



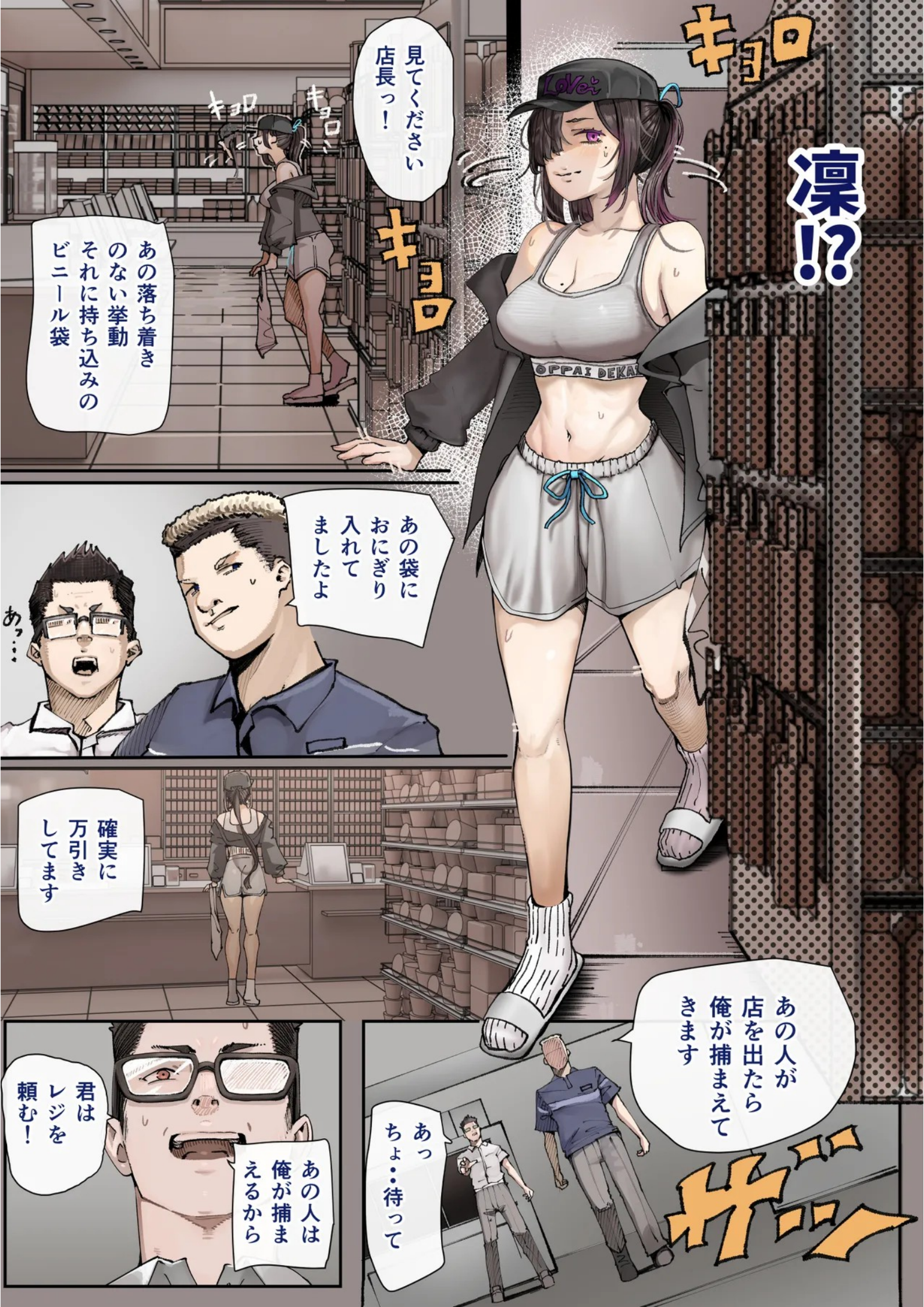


君の膜を破るのは
ボクだと思ってた..

3







キョロ

凍!?

見てください
店長っ!

キョロ

あの落ち着き
のない挙動
それに持ち込みの
ビニール袋

あの袋に
おにぎり
入れて
ましたよ

確実に
万引き
してます

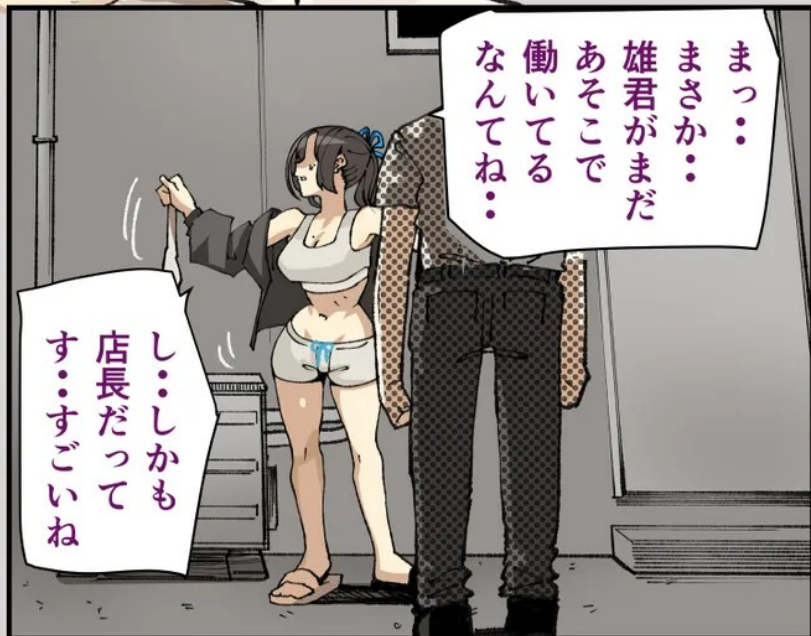
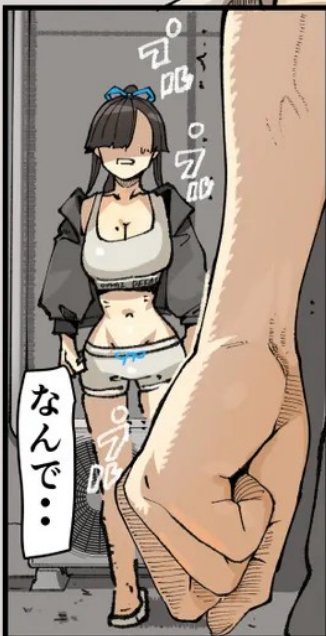
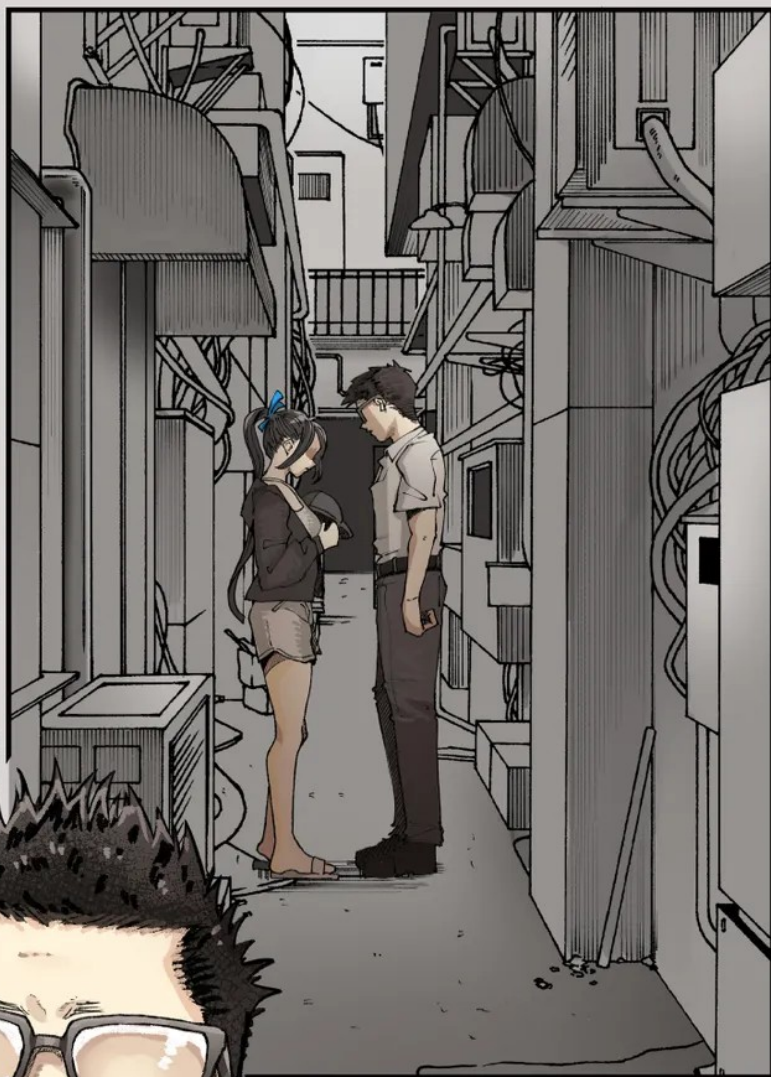
あの人が
店を出たら
俺が捕まえて
きます

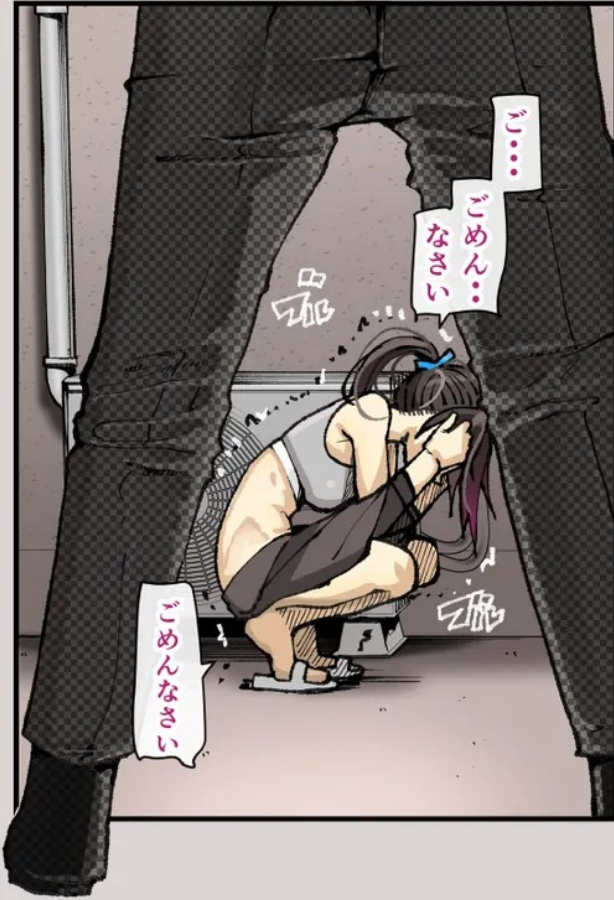
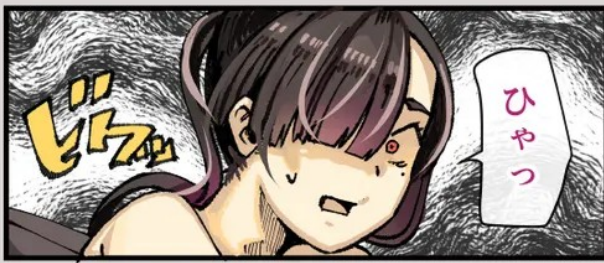
君は
レジを
頼む!

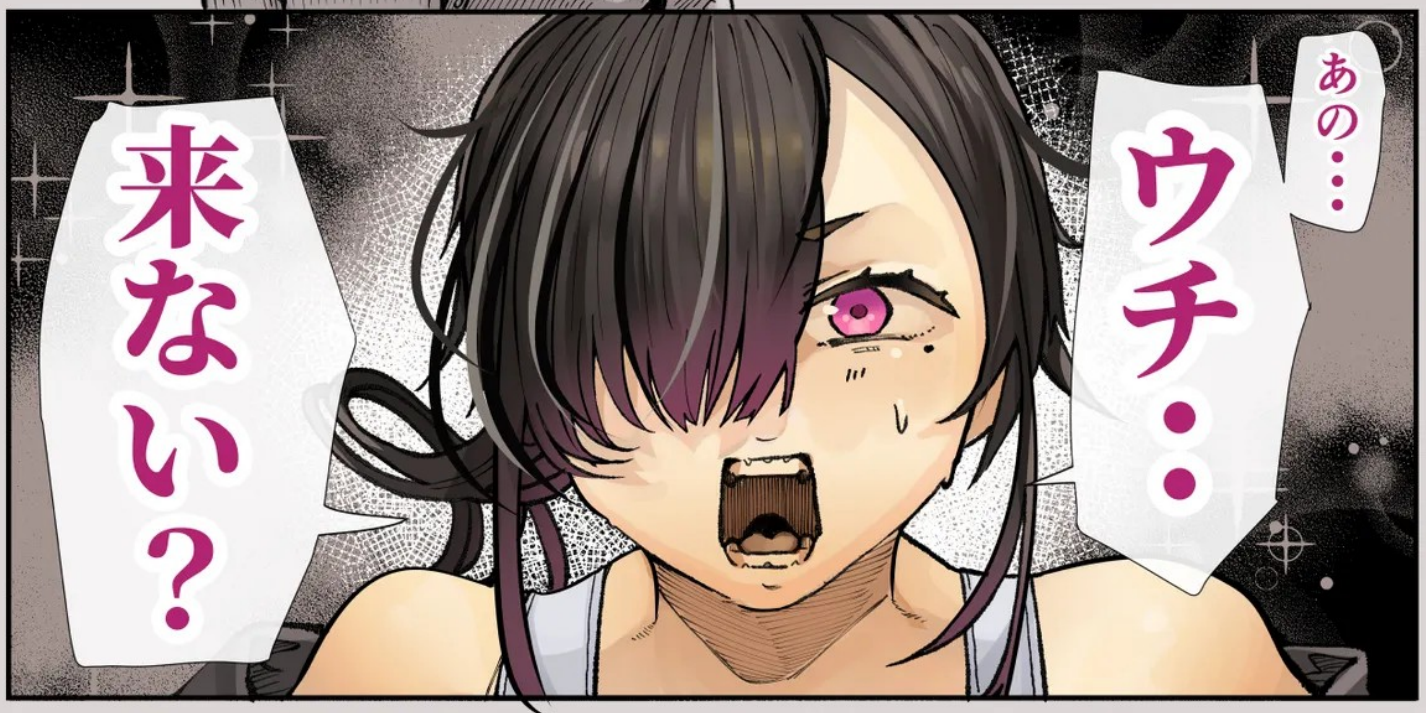
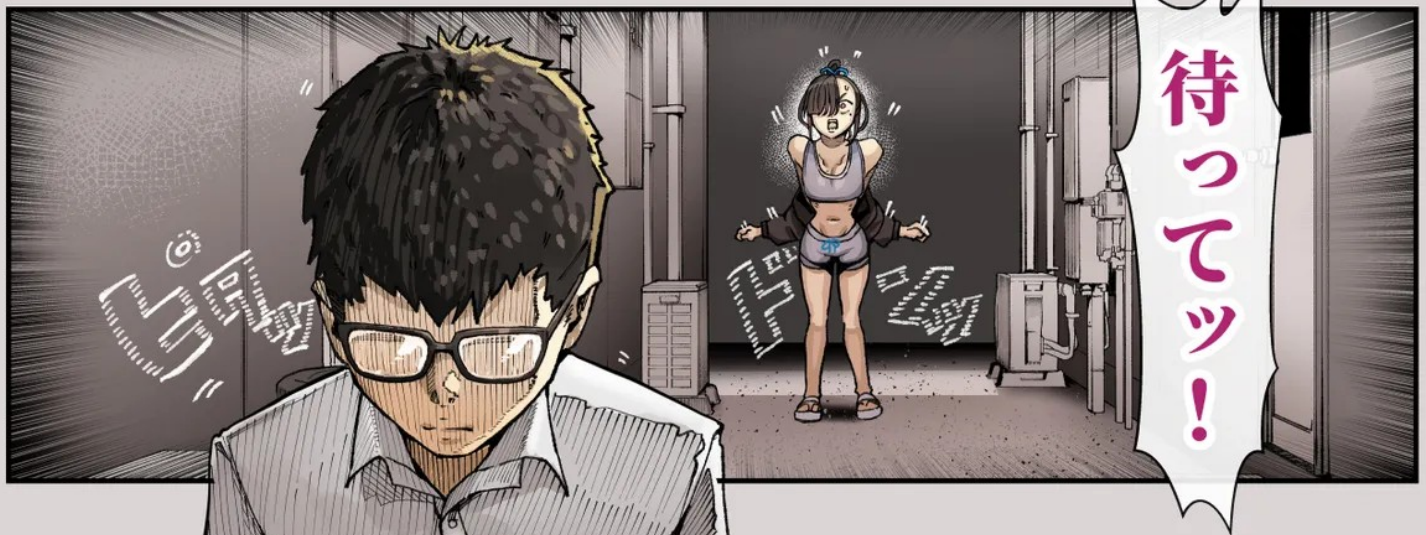
あの人は
俺が捕ま
えるから

あっ
ちょ・待つて

キョロ





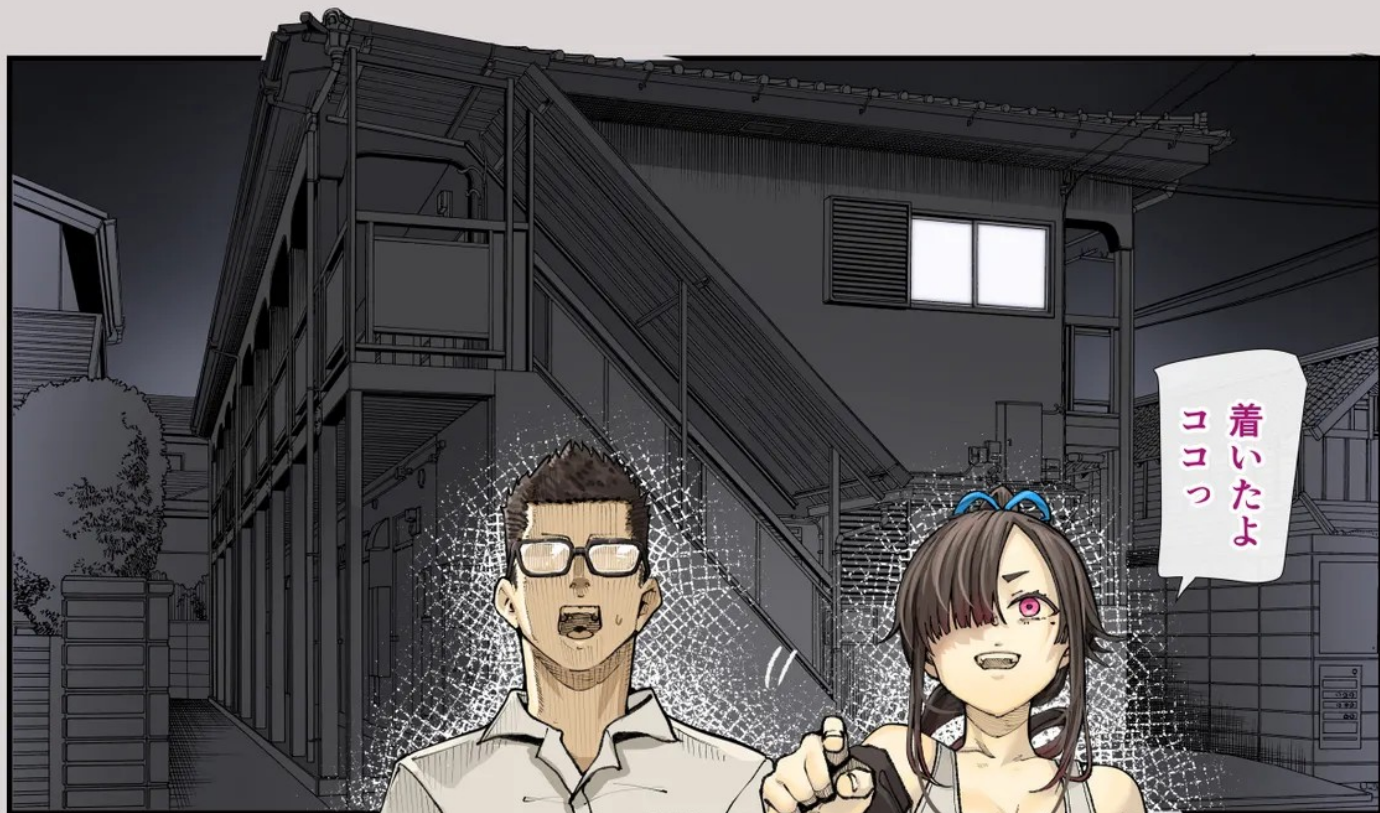




行こっ

ううん
大丈夫

すまん
待ったか？



着いたよ
ココっ



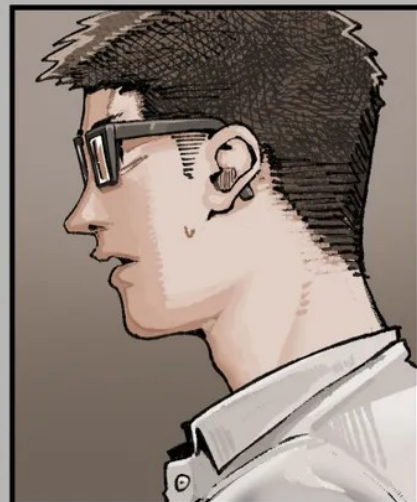
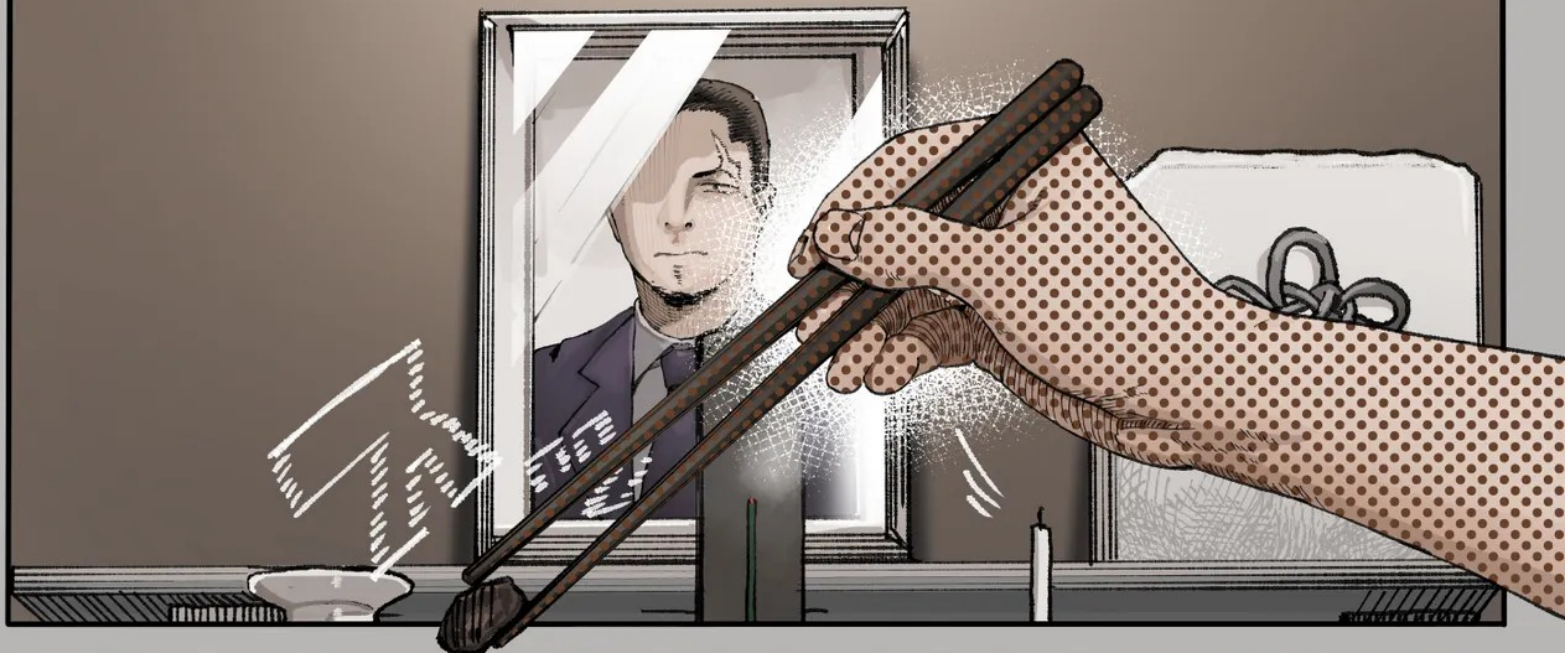
お：
お邪魔します

ただいまあ
帰ったよお



さあ
あがって：





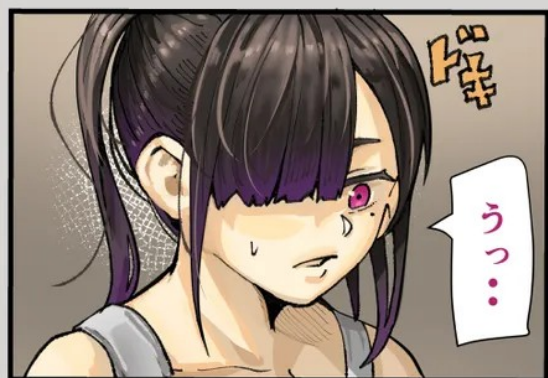
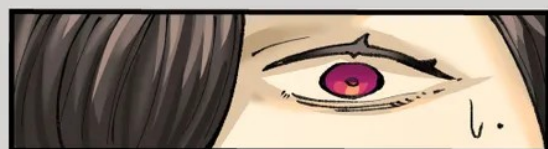


もしかして
先輩……
いや旦那さん
って……



何でだったのかな……？
前日は元気だったのに

うん……
急性硬膜化
血腫でね……



うっ……



あっ……

でもね……

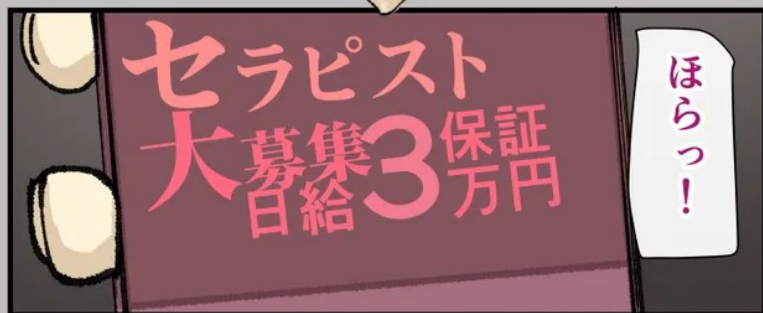
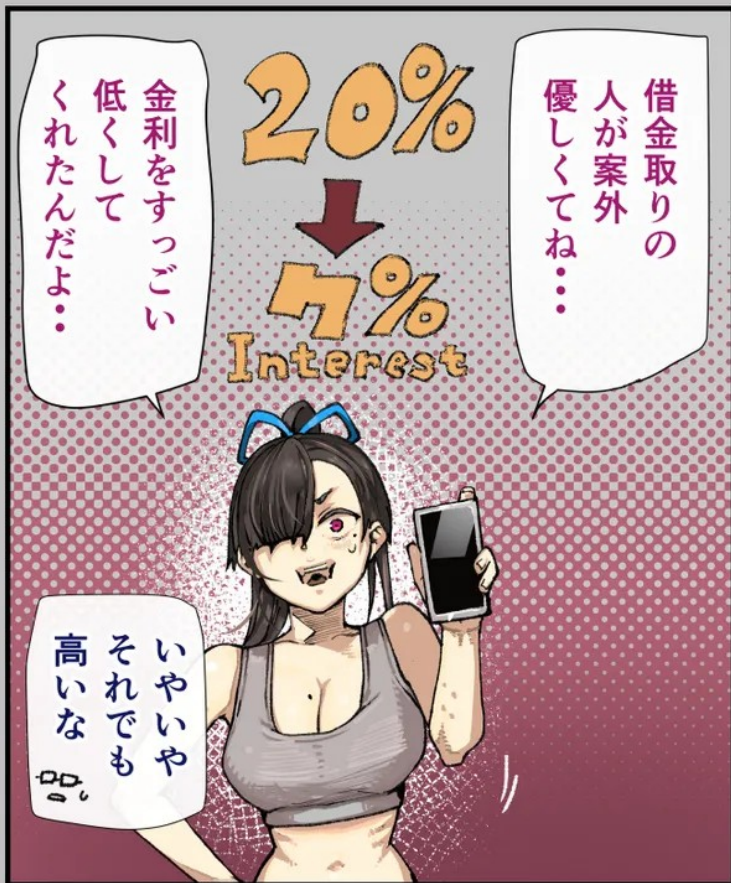


先輩……
会社経営してたん
だけど
借金が3億円ほど
あったらしく
てね……

情けないけど……まだ
納骨もできてないの

亡くなって
からは私が
毎月
その返済
しなく
ちゃで……









ありがとうございます
ございましたー

うちの店で
働くことになった
凜はー：



息子のため、
借金返済のため
朝も夜も

いやな顔もせずに
黙々とレジに
立ち続けていた



いらっしやいませッ!!

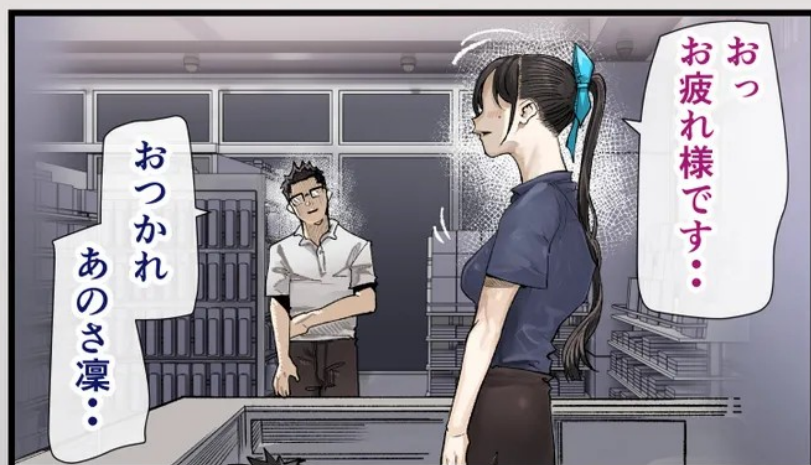


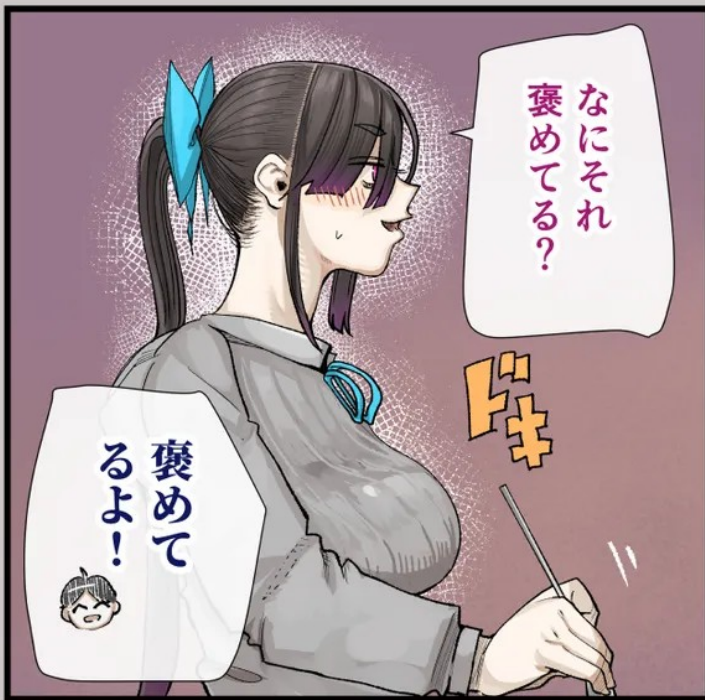
今日はもう
あがってもらって
いいよっ

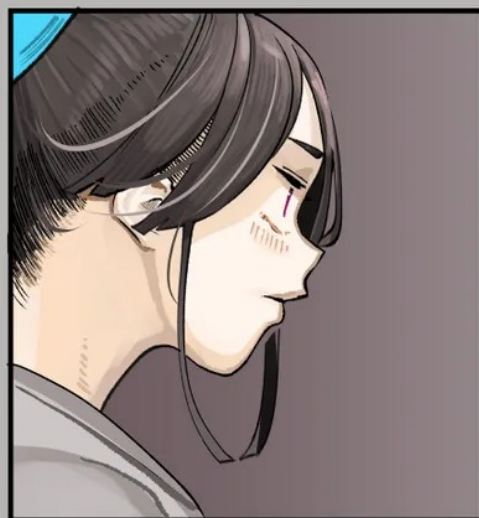
そう、
心の底から誓った

おれはどうしても
放っておけなかった
やれることは全部やる

借金で首が
回らなくなった
昔の自分と重なる凜をー

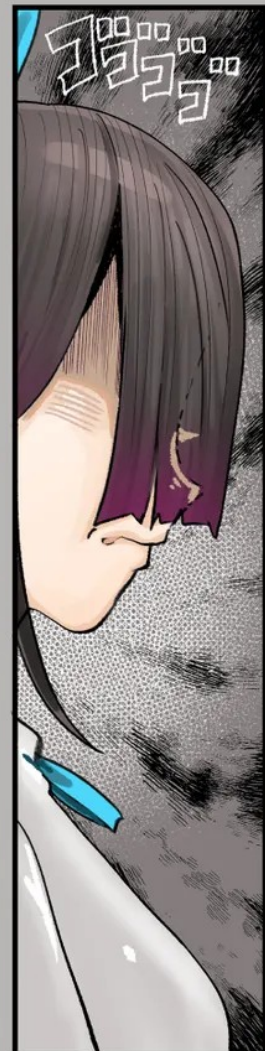
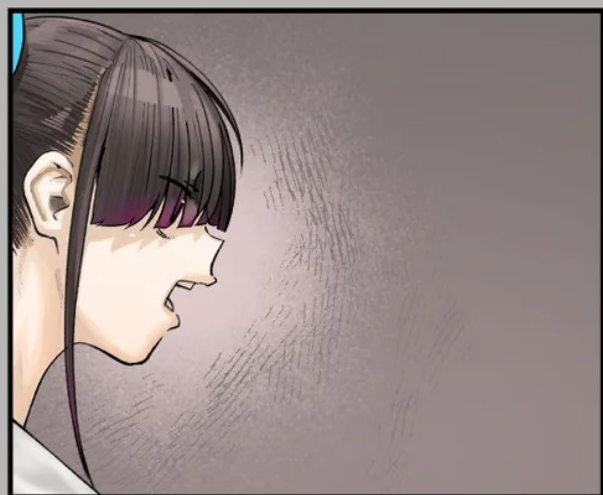
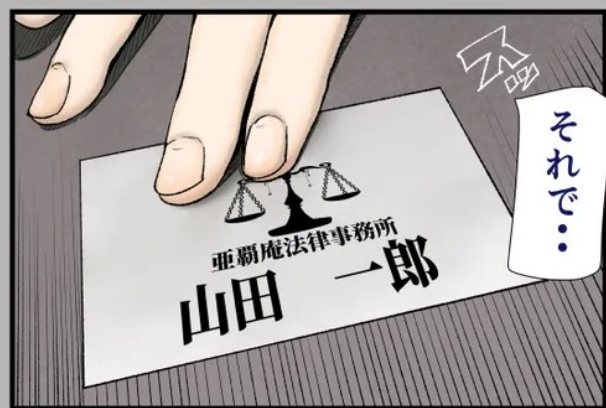








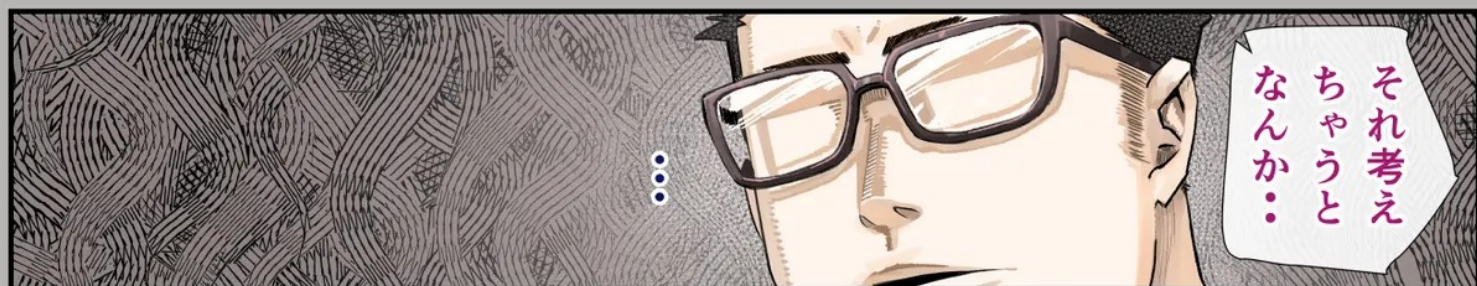






馬鹿だよな：私
借金返すことに
意地になってさ：

でもさ：：
お金を返さないと
貸してくれた人も
困っちゃうと
思うんだよね：



それ考え
ちゃうと
なんか：



それに貸金のヤツ
堅気に見えないし、
関わらない
ほうがいいと思う



ありがとう：：
心配してくれて
でもー：



凜はさ：：
昔から人が
良すぎるよな：

現実問題
金利分すら
返せてない
だろ？

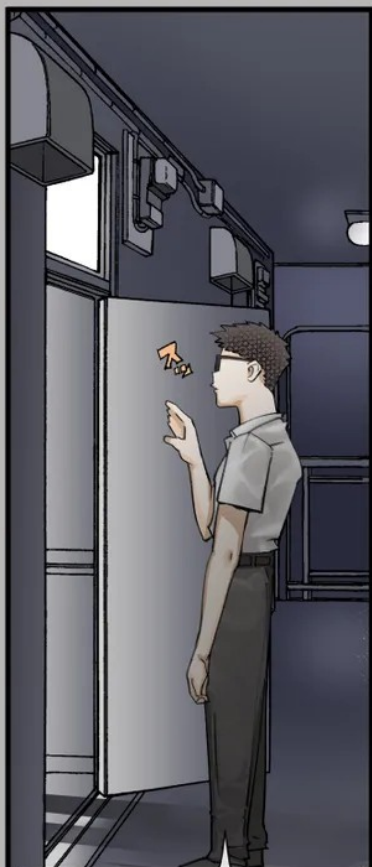
もう少しだけ：：
頑張らせて：

「返すあて」
ないことも
ないから

本当に
帰るの？



ああ：明日
早朝勤務
なんだ：
すまん：



そっか……

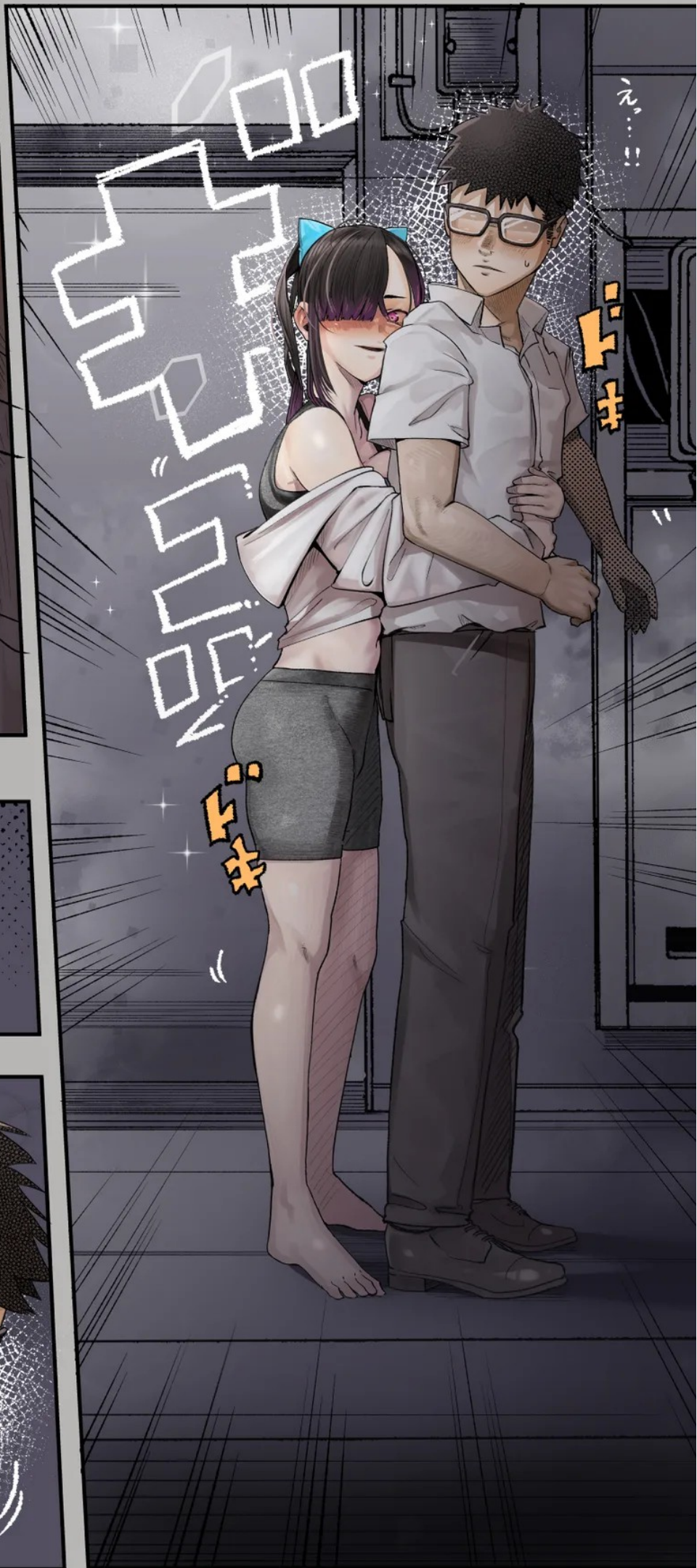
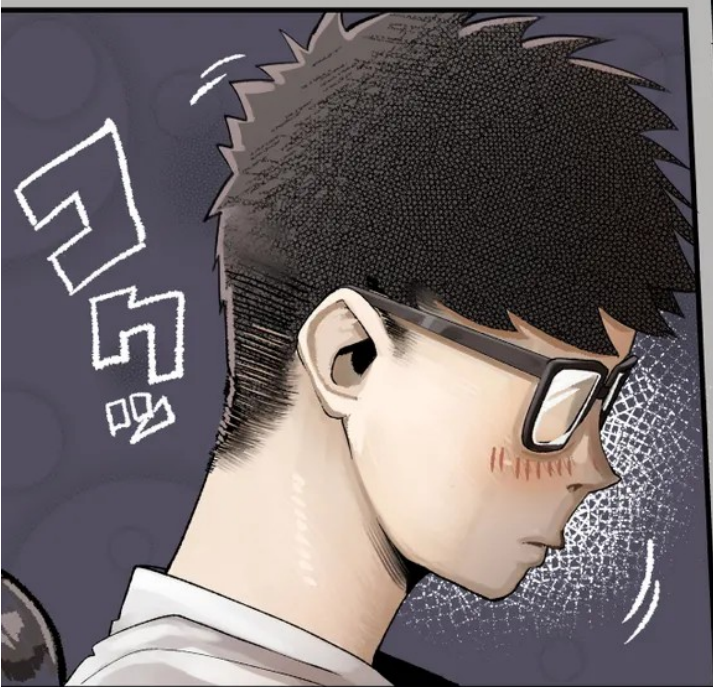


それじゃあ
凛太郎に
よろしくな

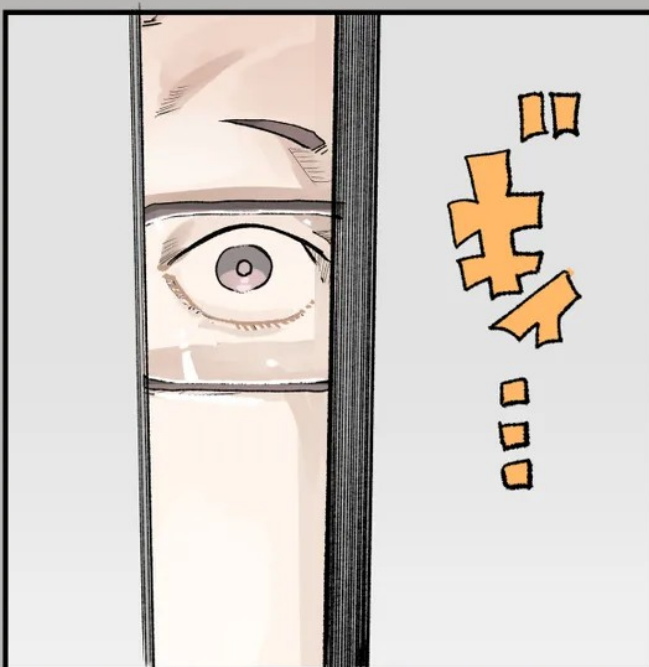


おやすみ









はいっ
ポーズして

いいよ
次は膝立ち
してみて

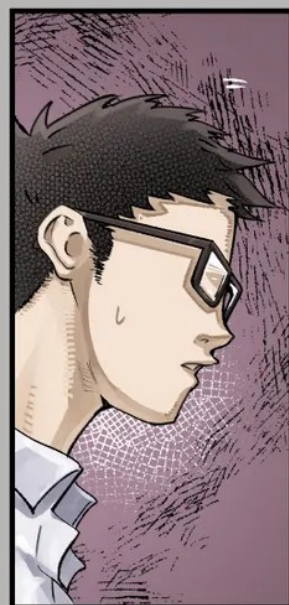
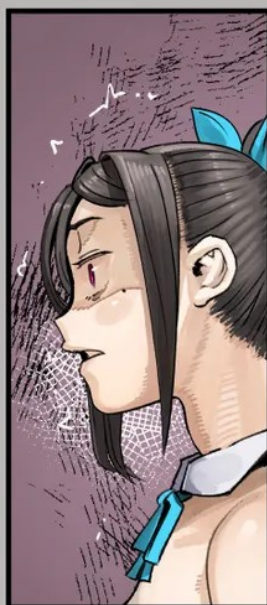
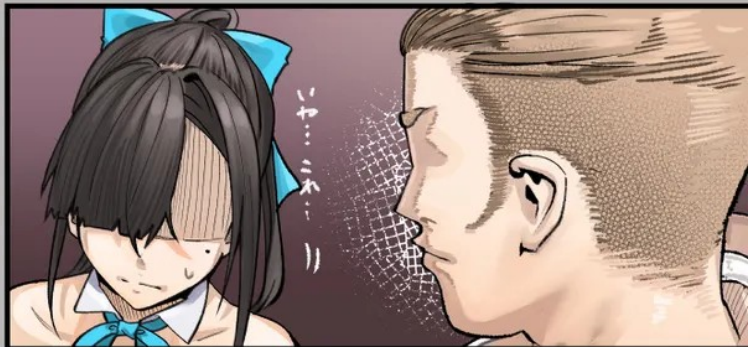
こ...
こうですか？

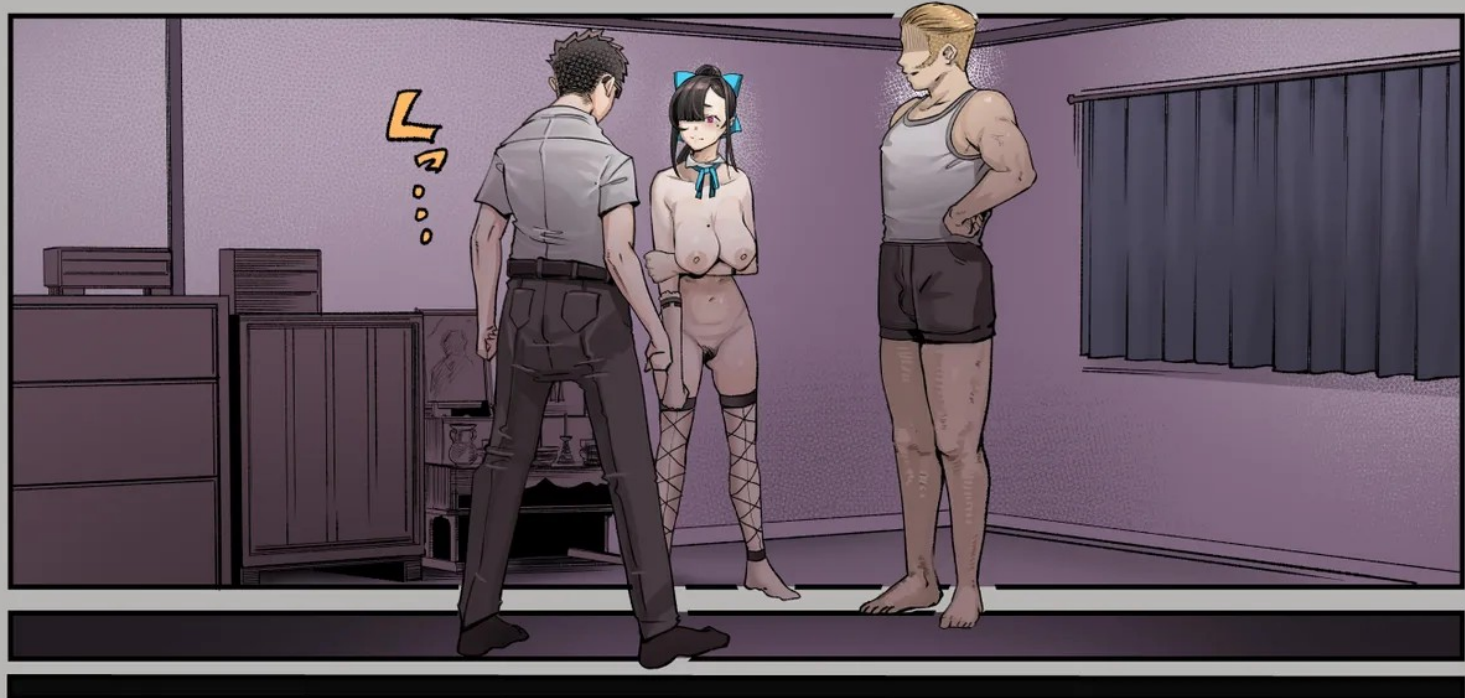
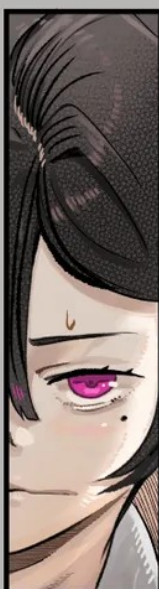
凜ッ

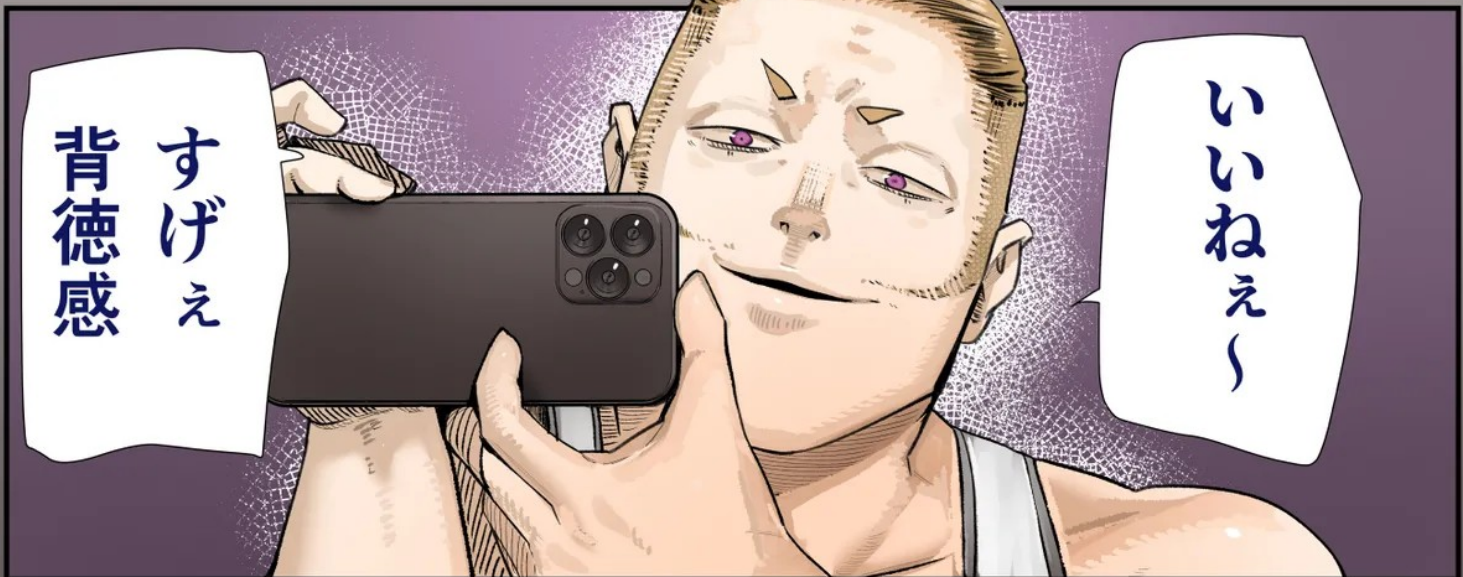
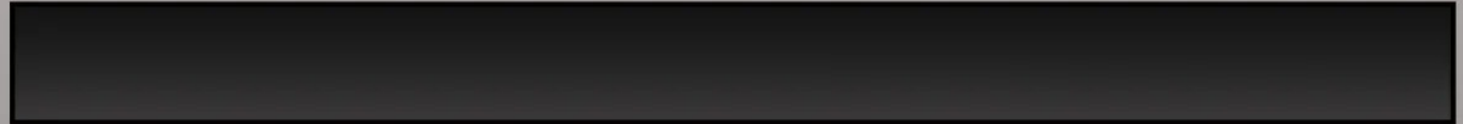
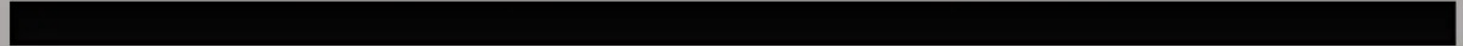
おま...

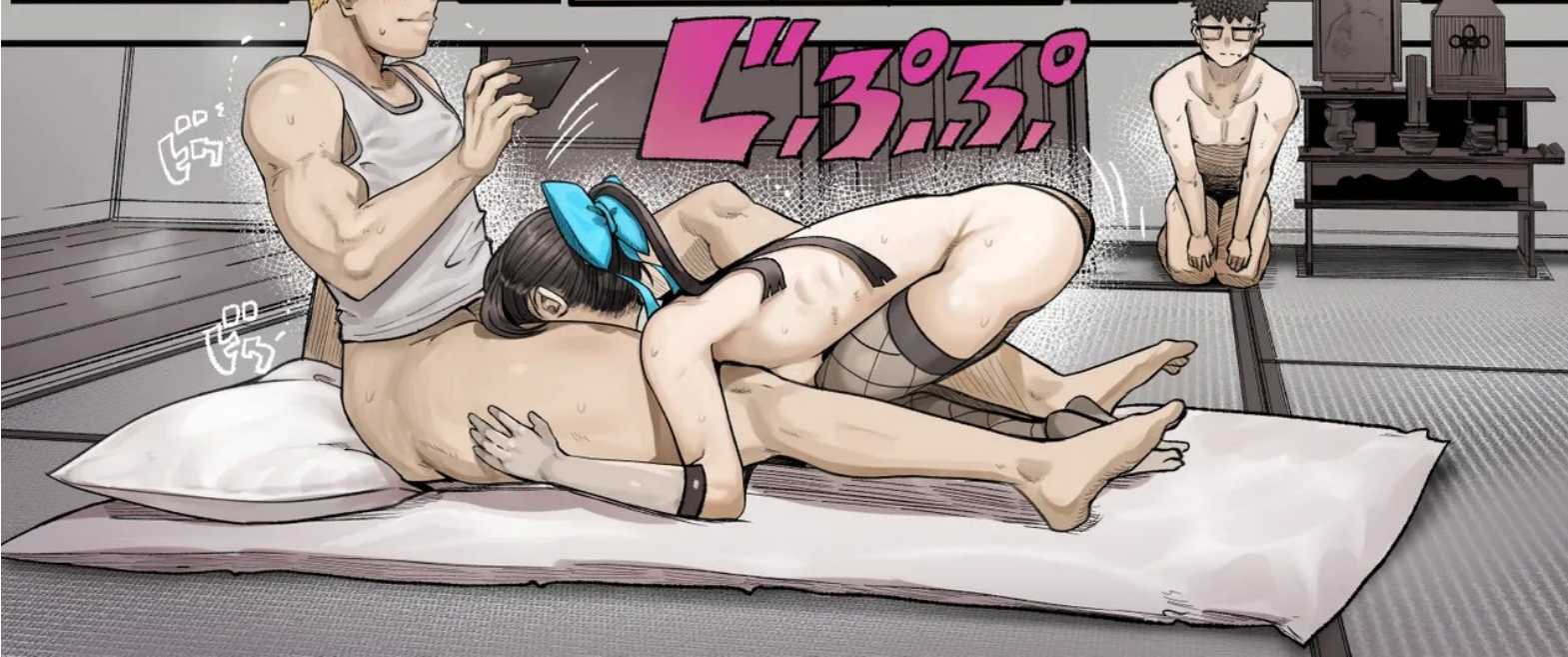
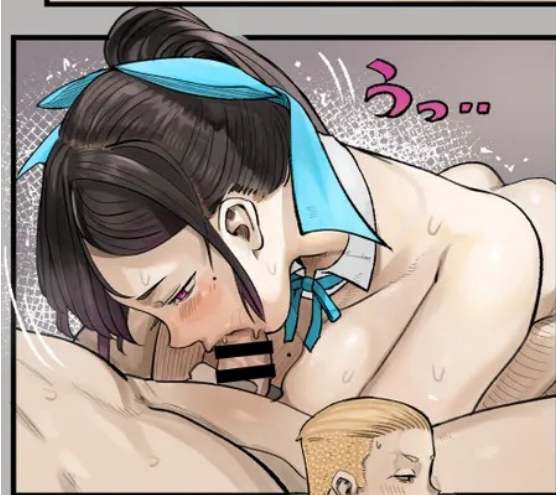
な：
何してんの？

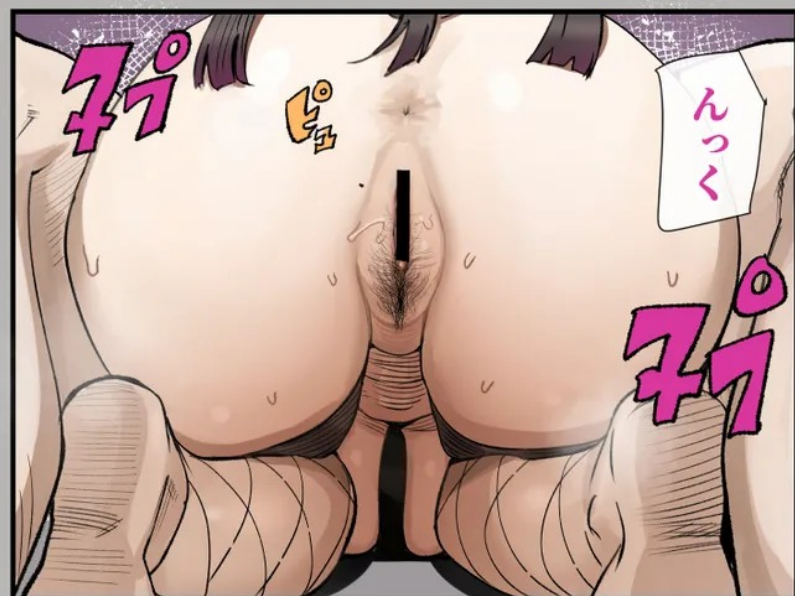
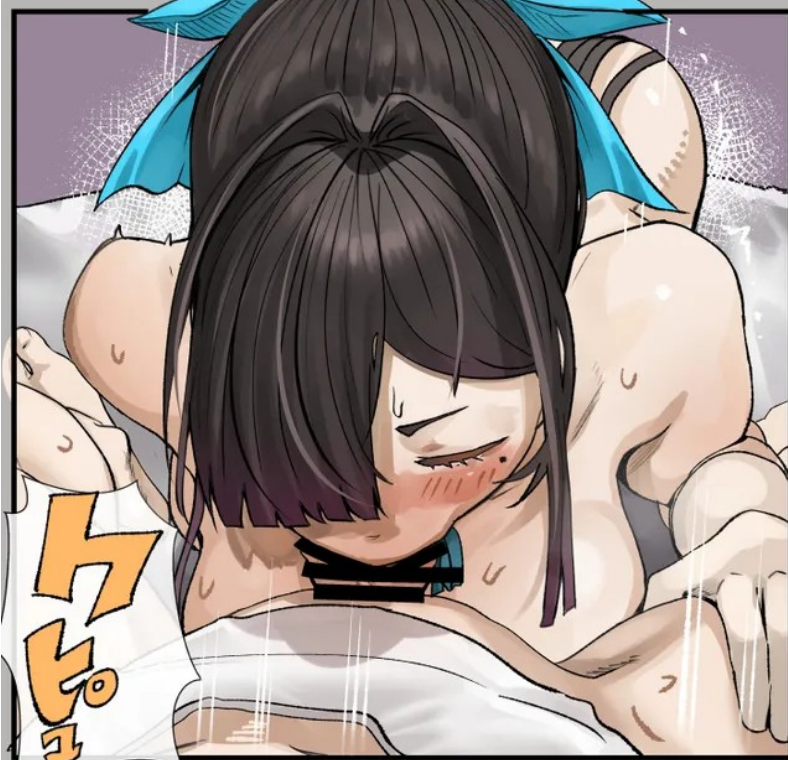
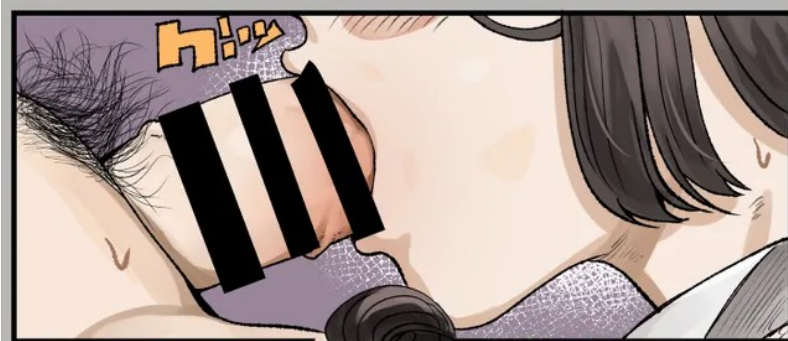


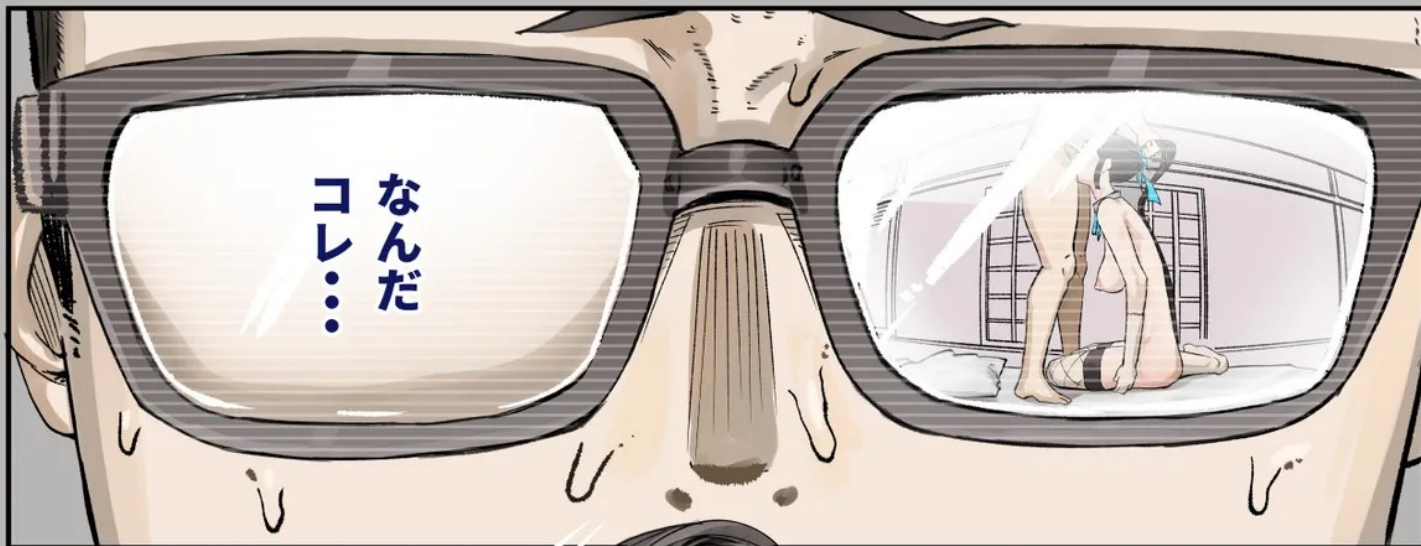












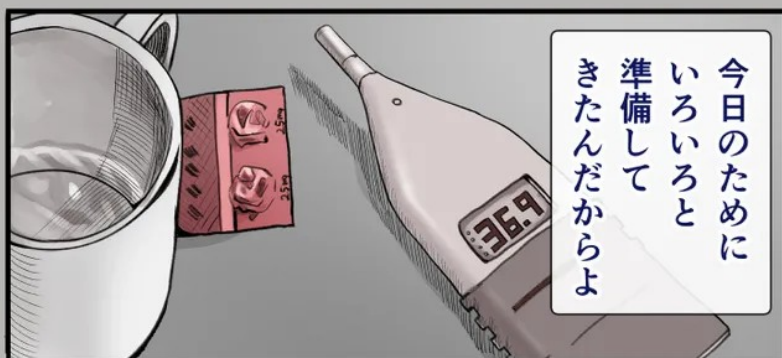
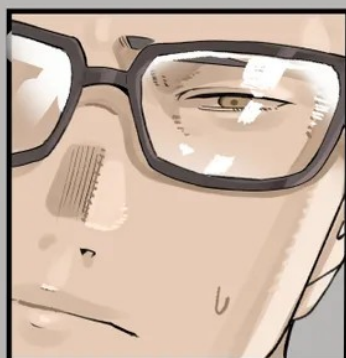


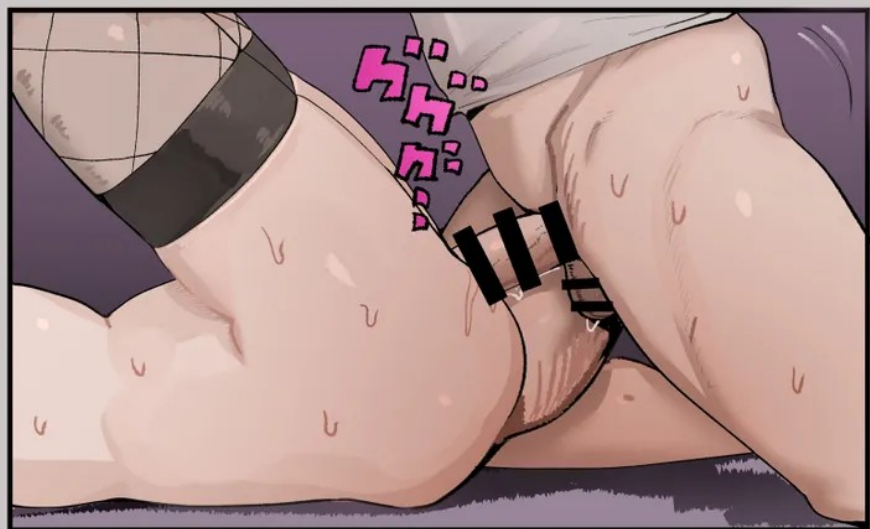
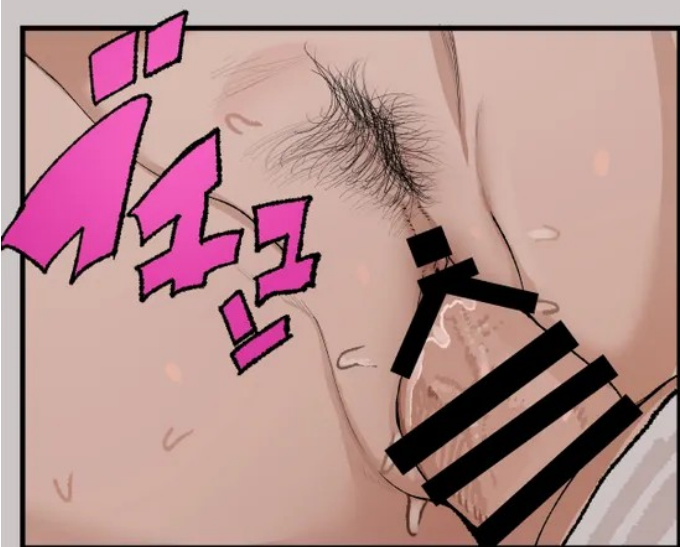
んっ

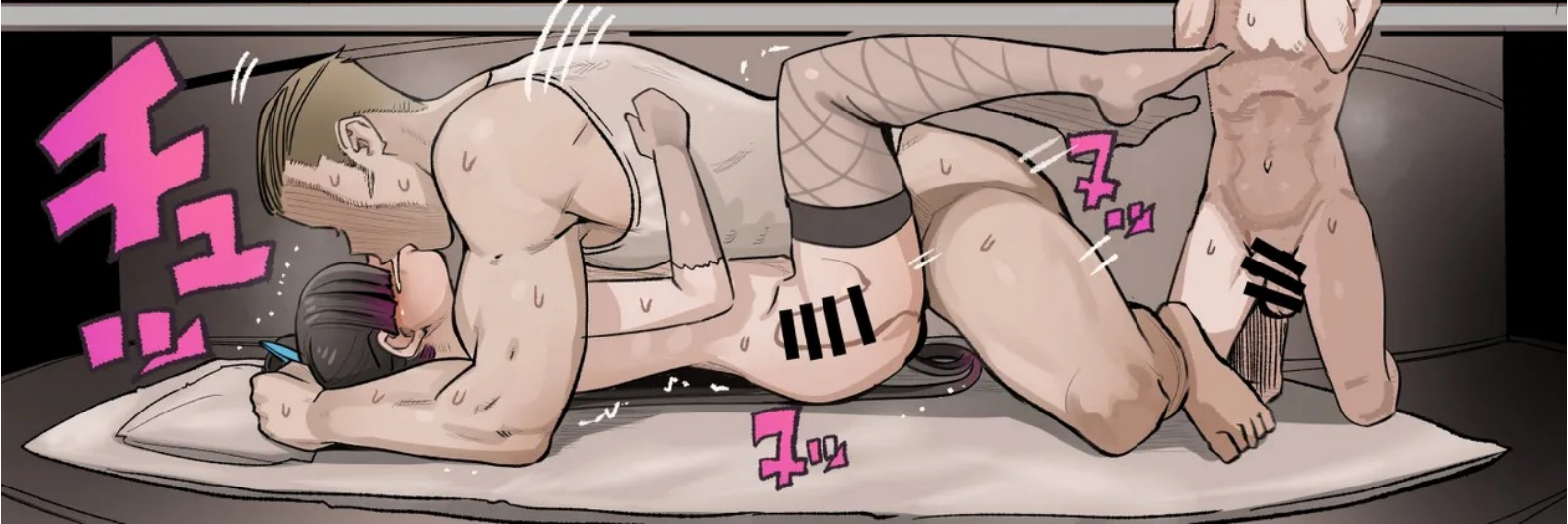
んっ

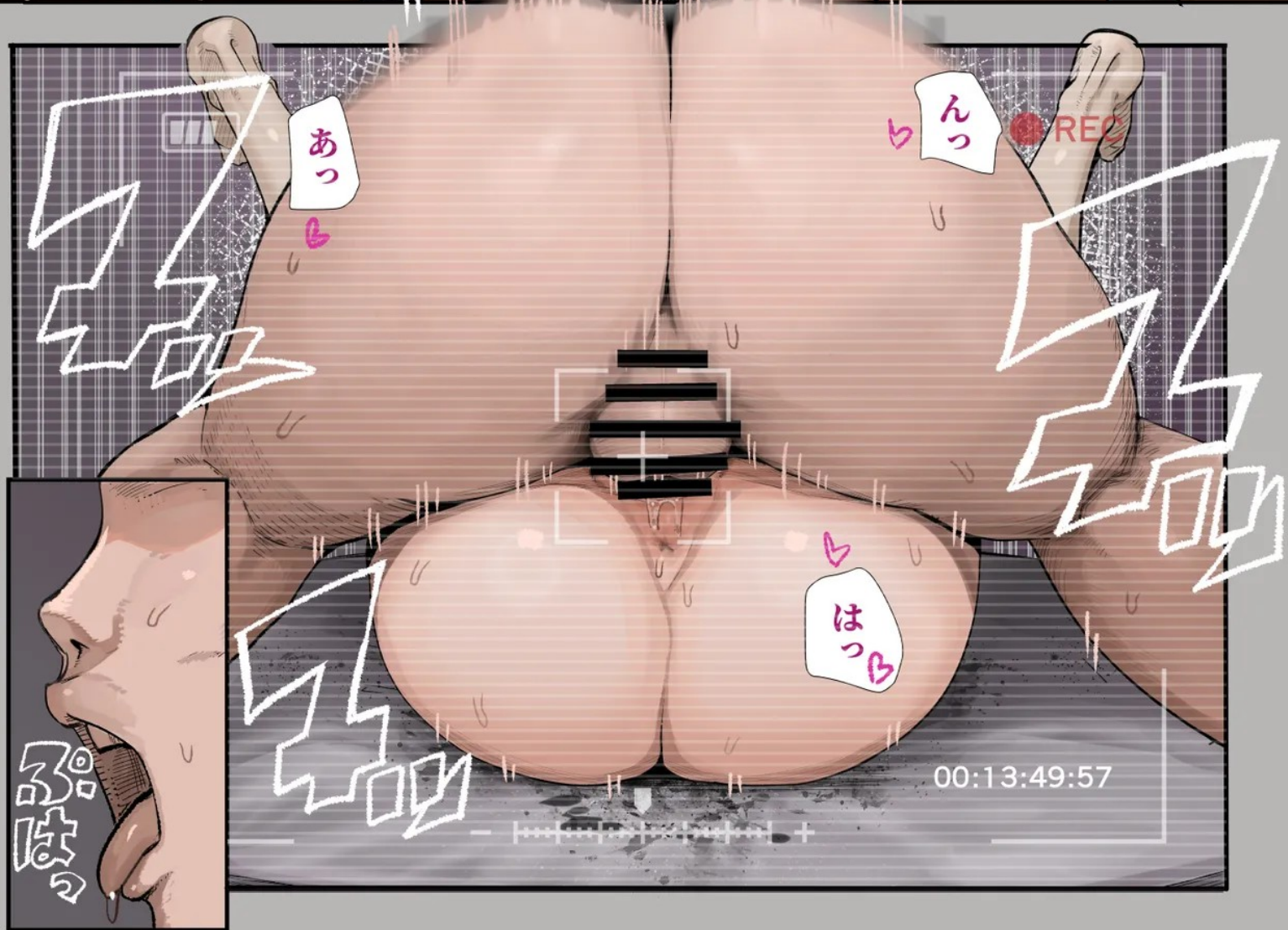
んっ

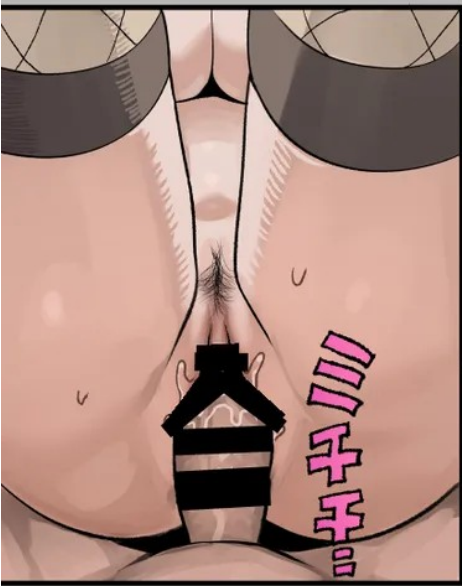
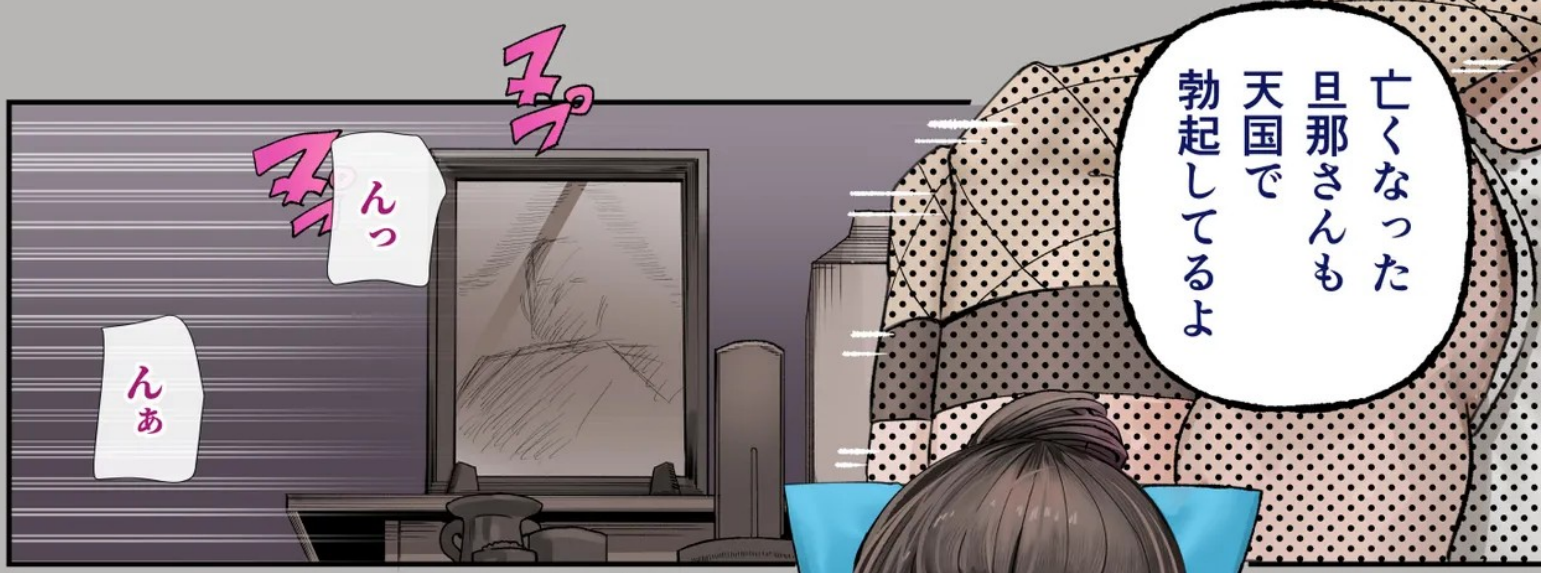
んっ

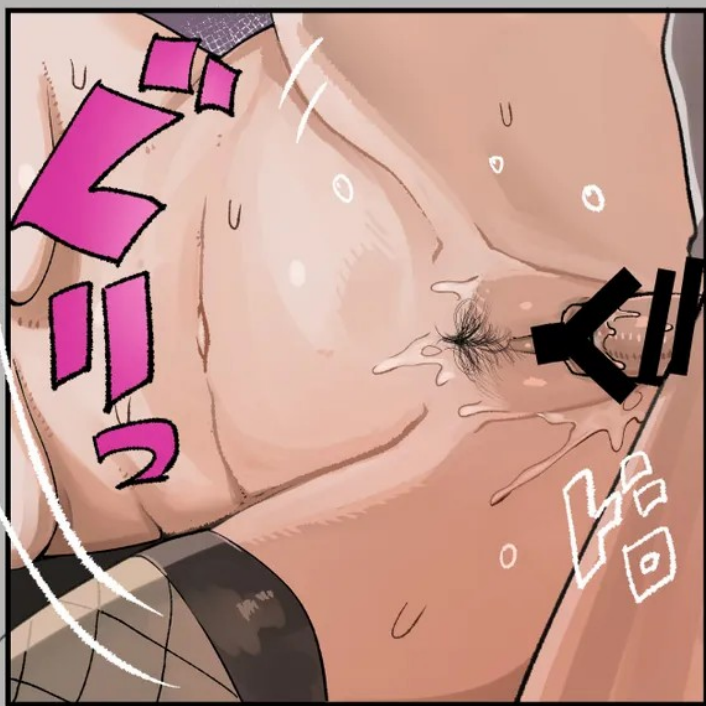


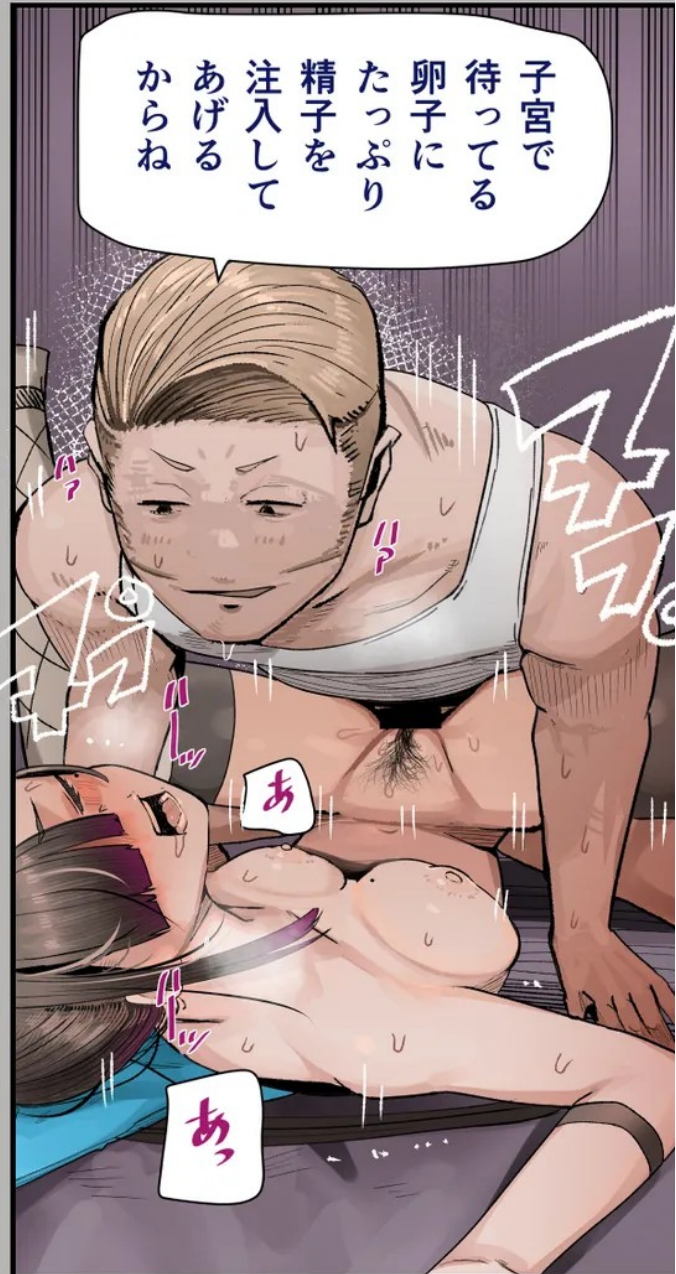
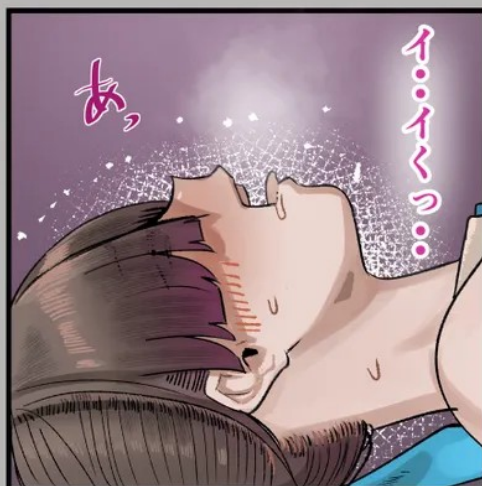
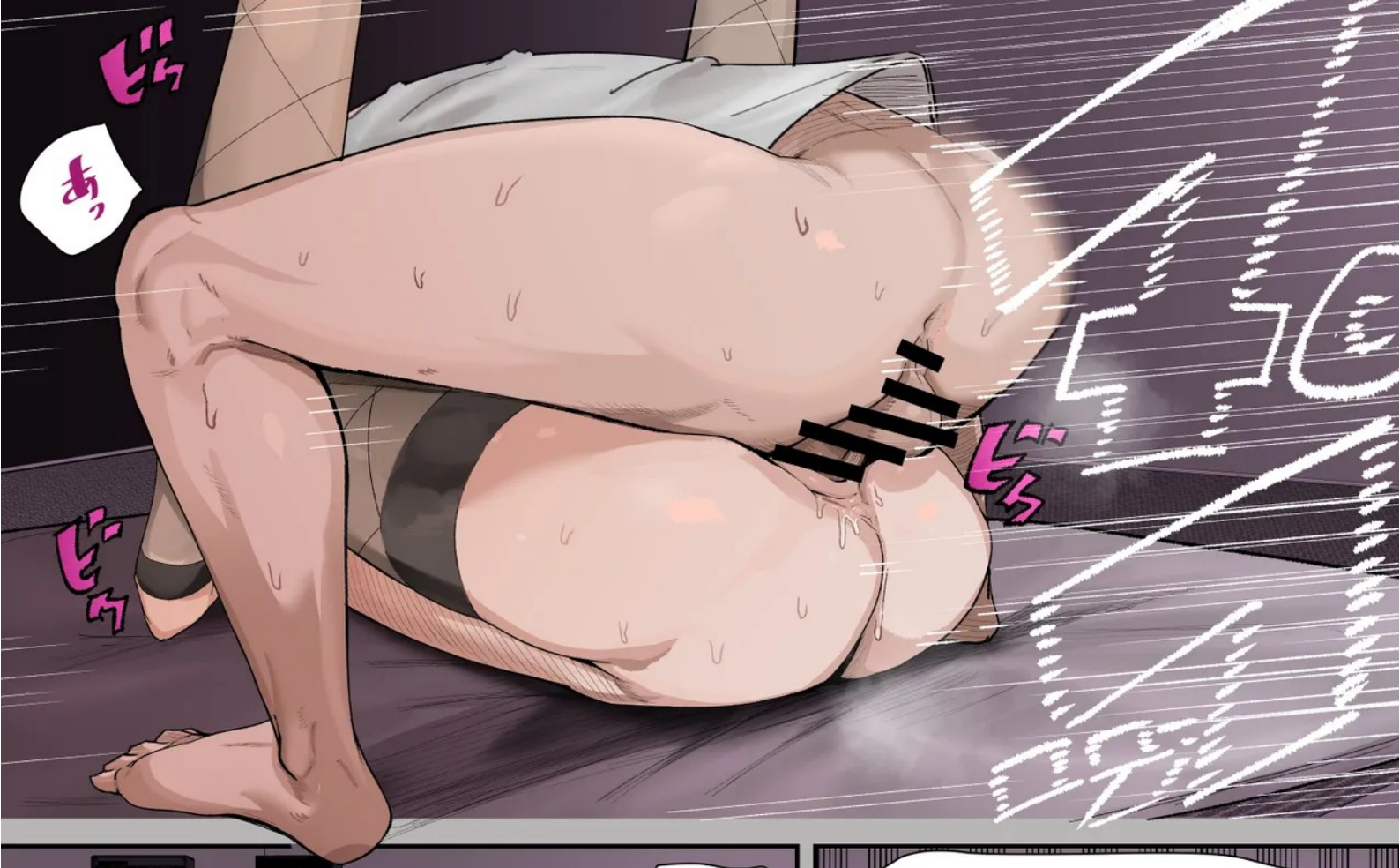




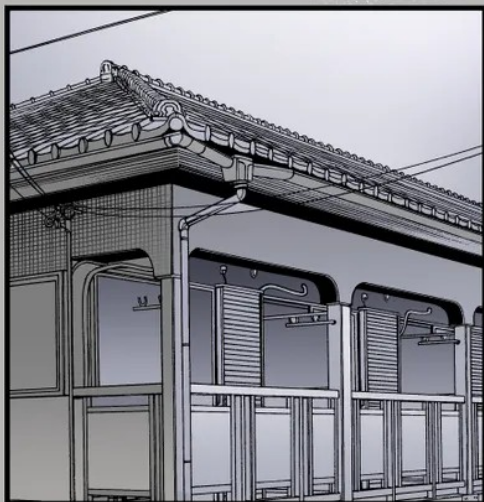
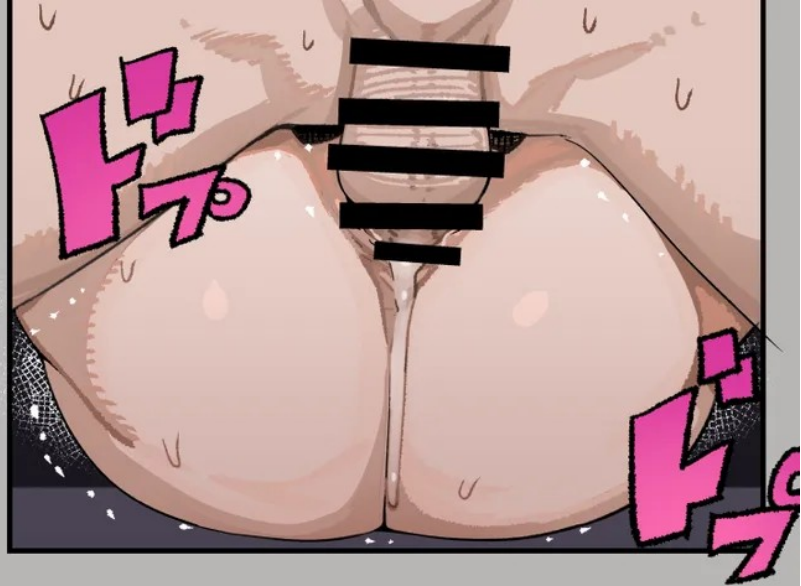


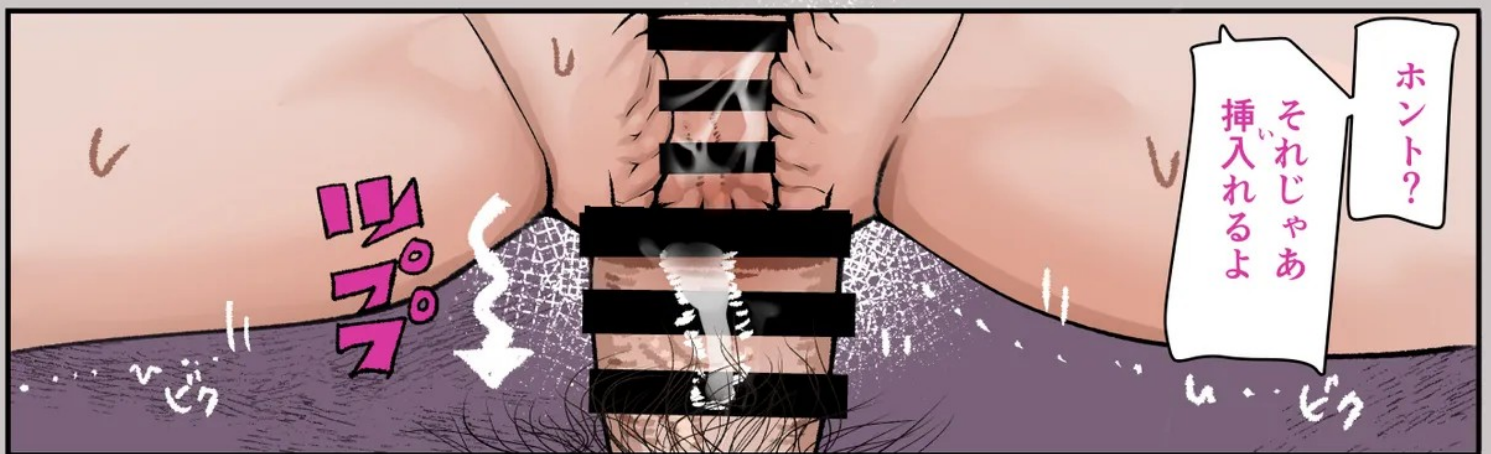
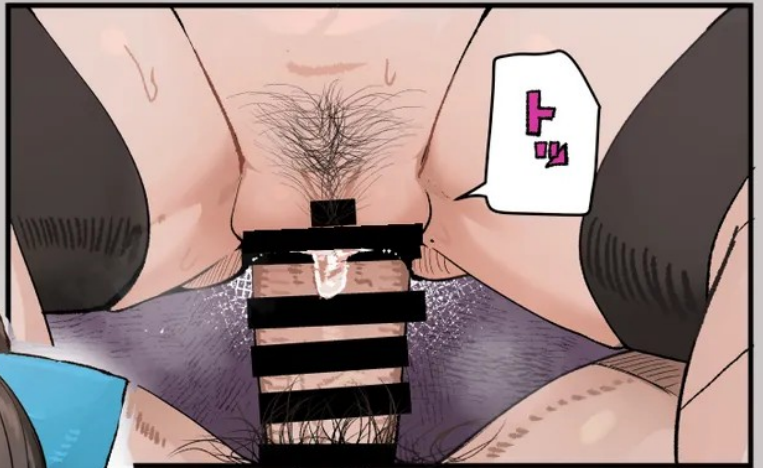


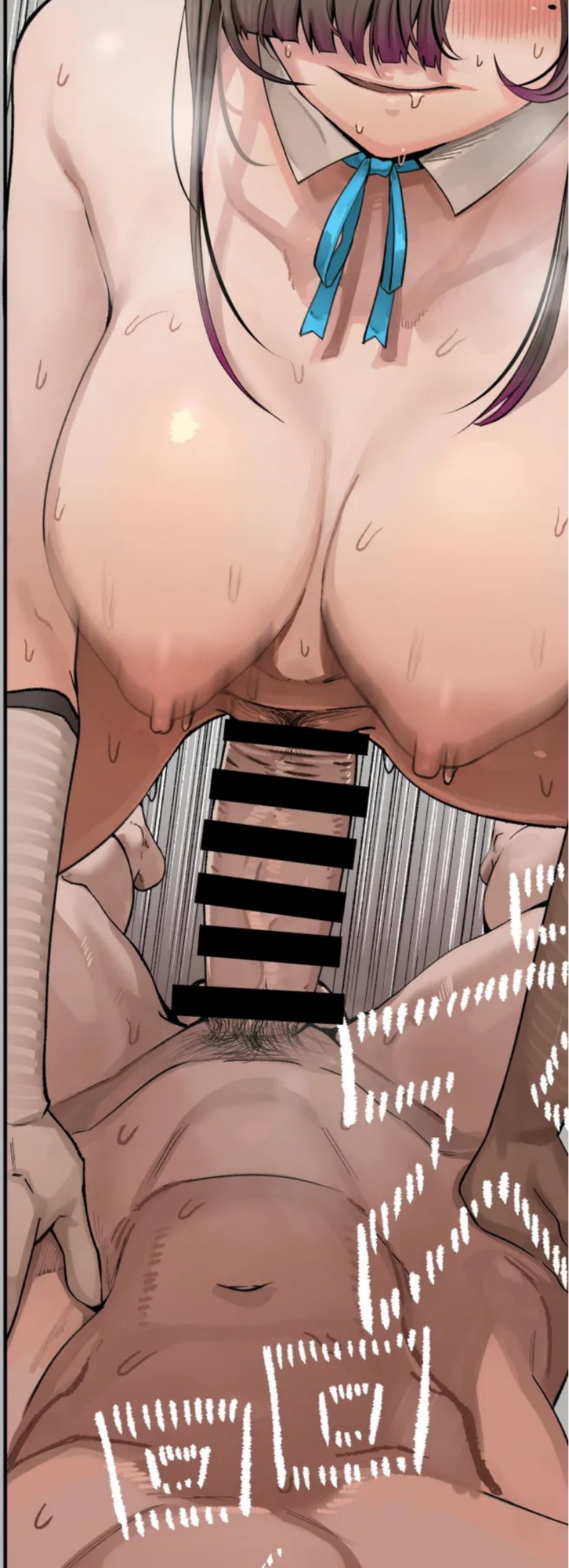
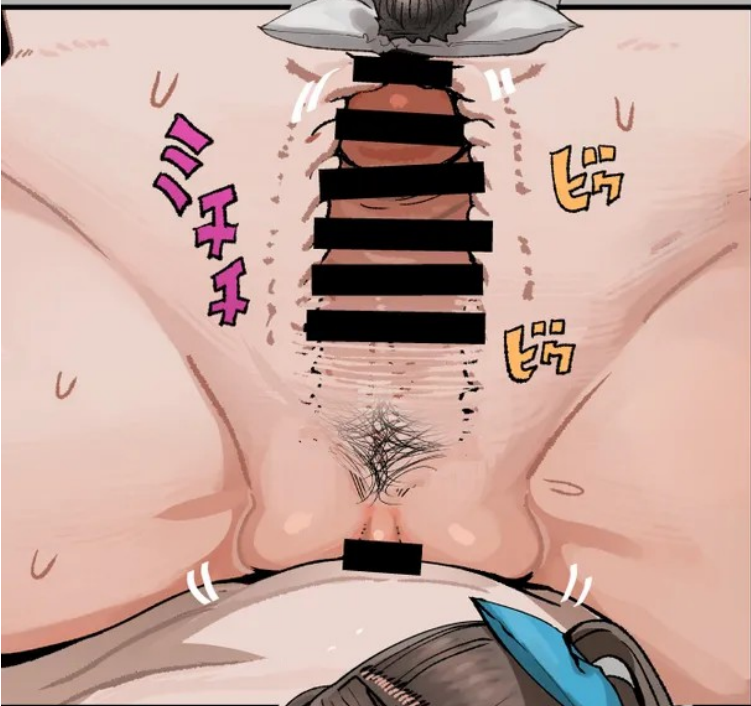


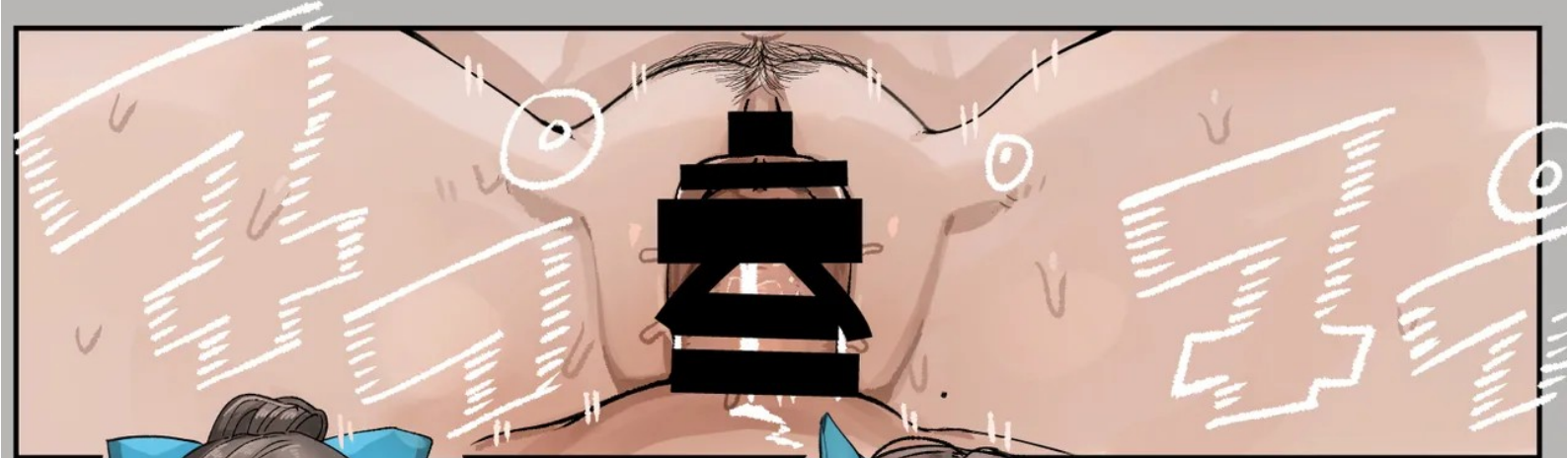
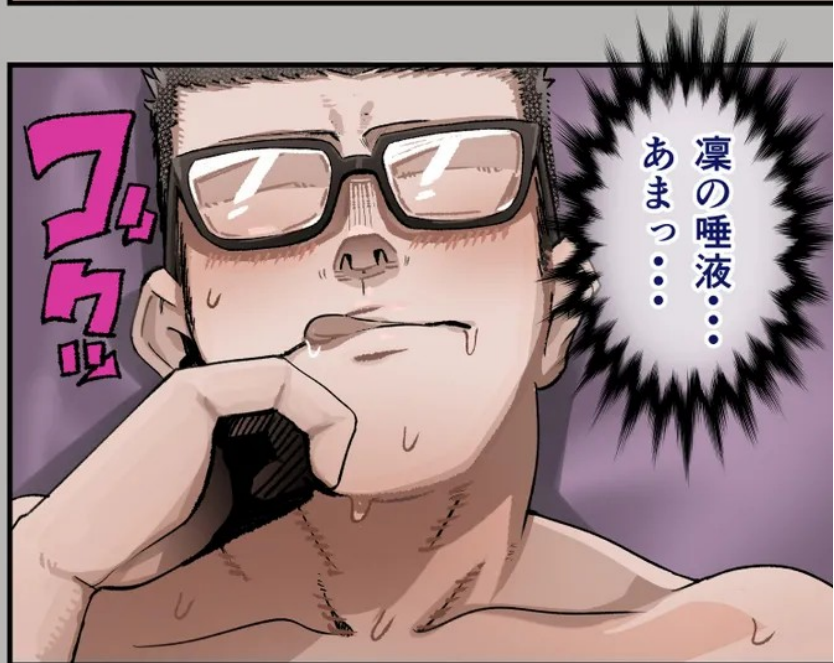


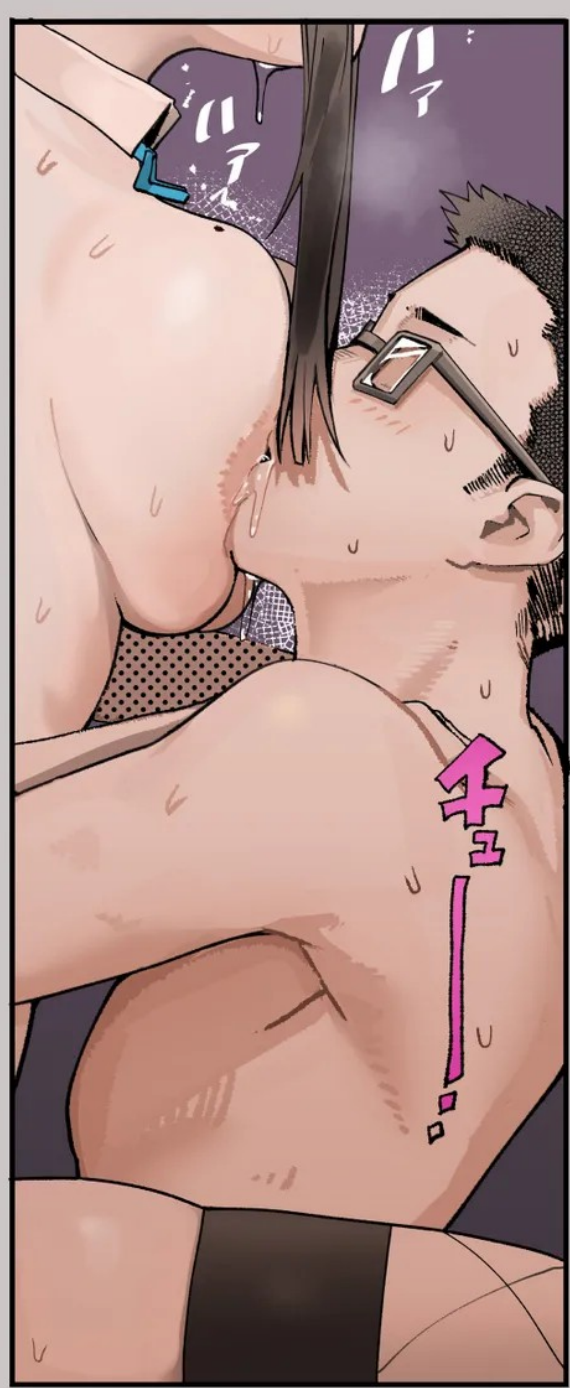


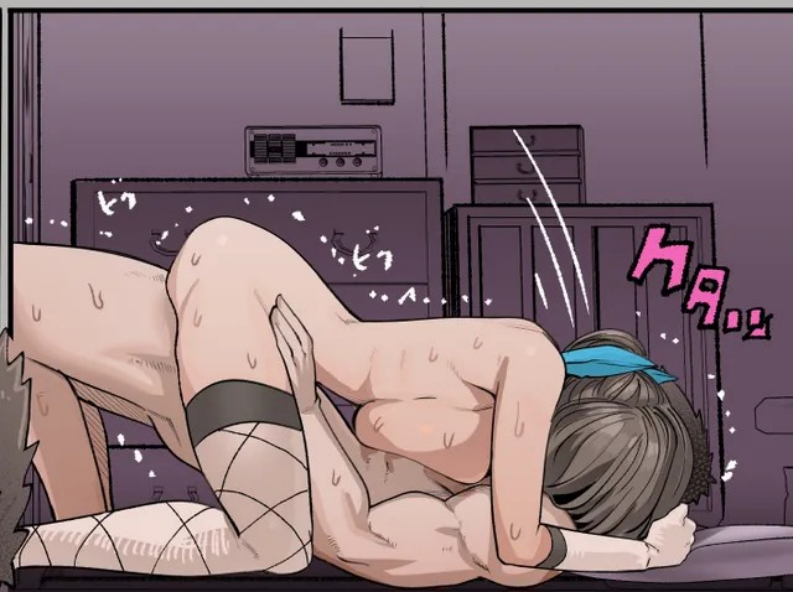


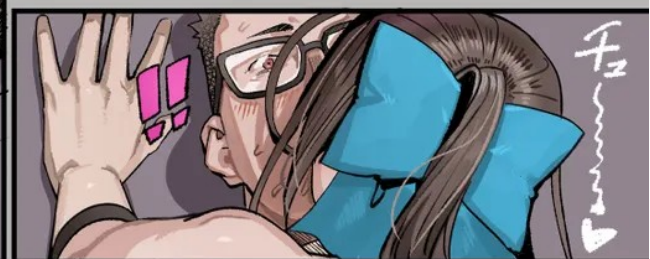






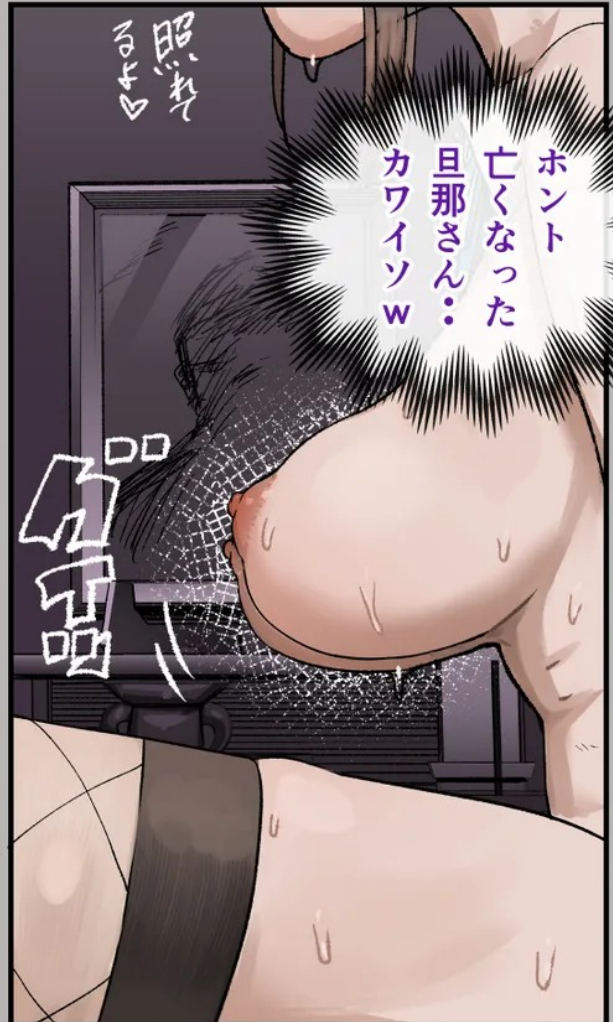
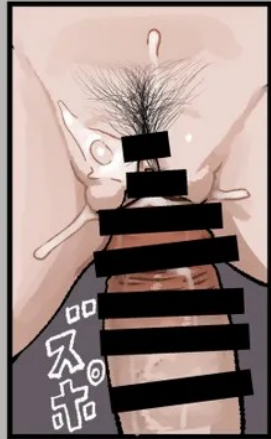
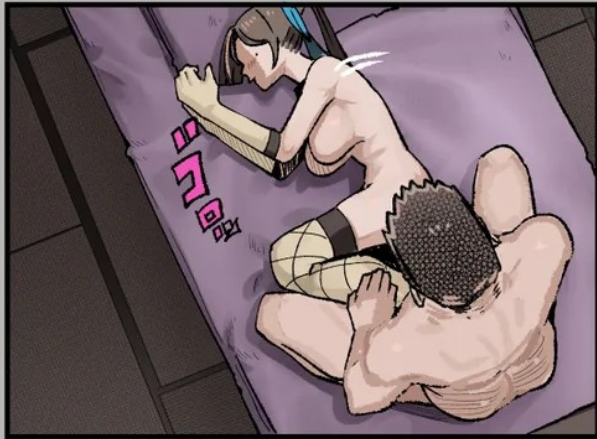
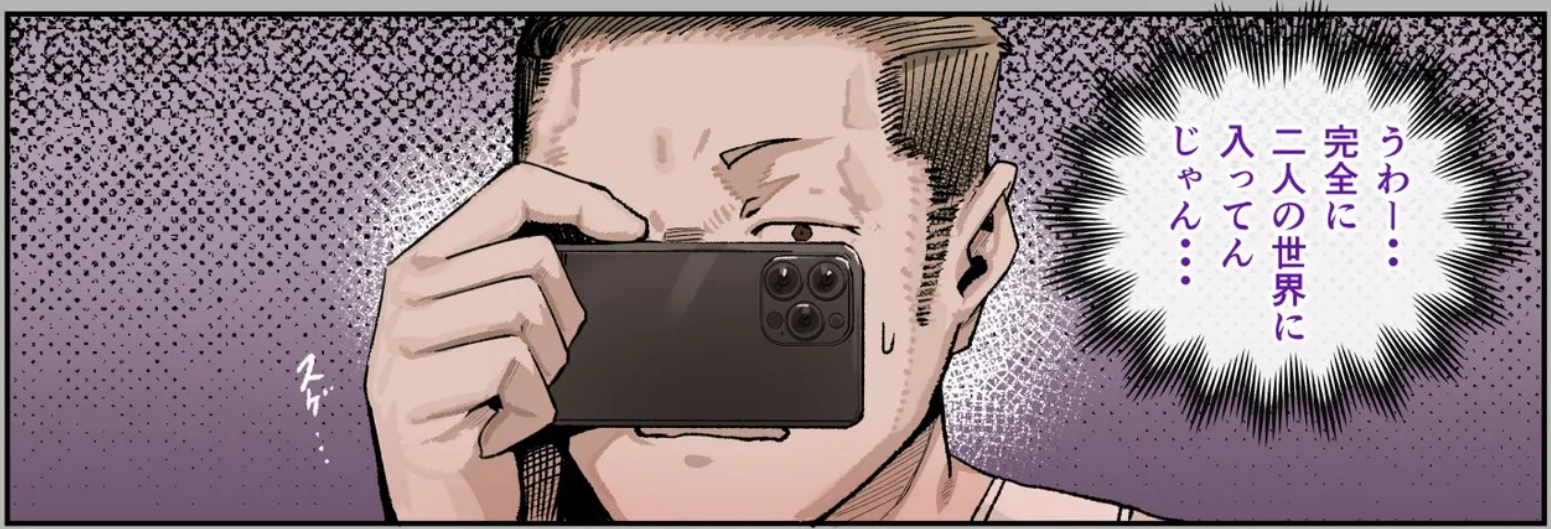


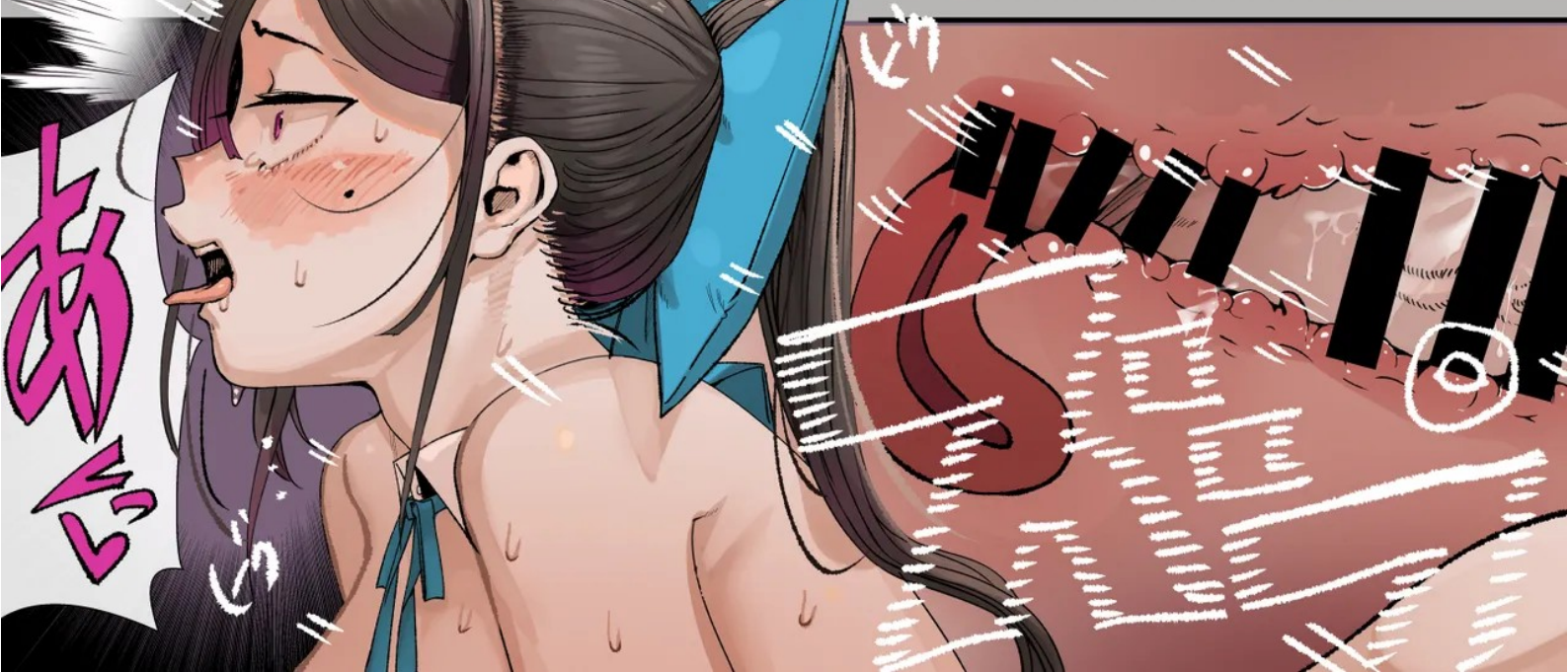
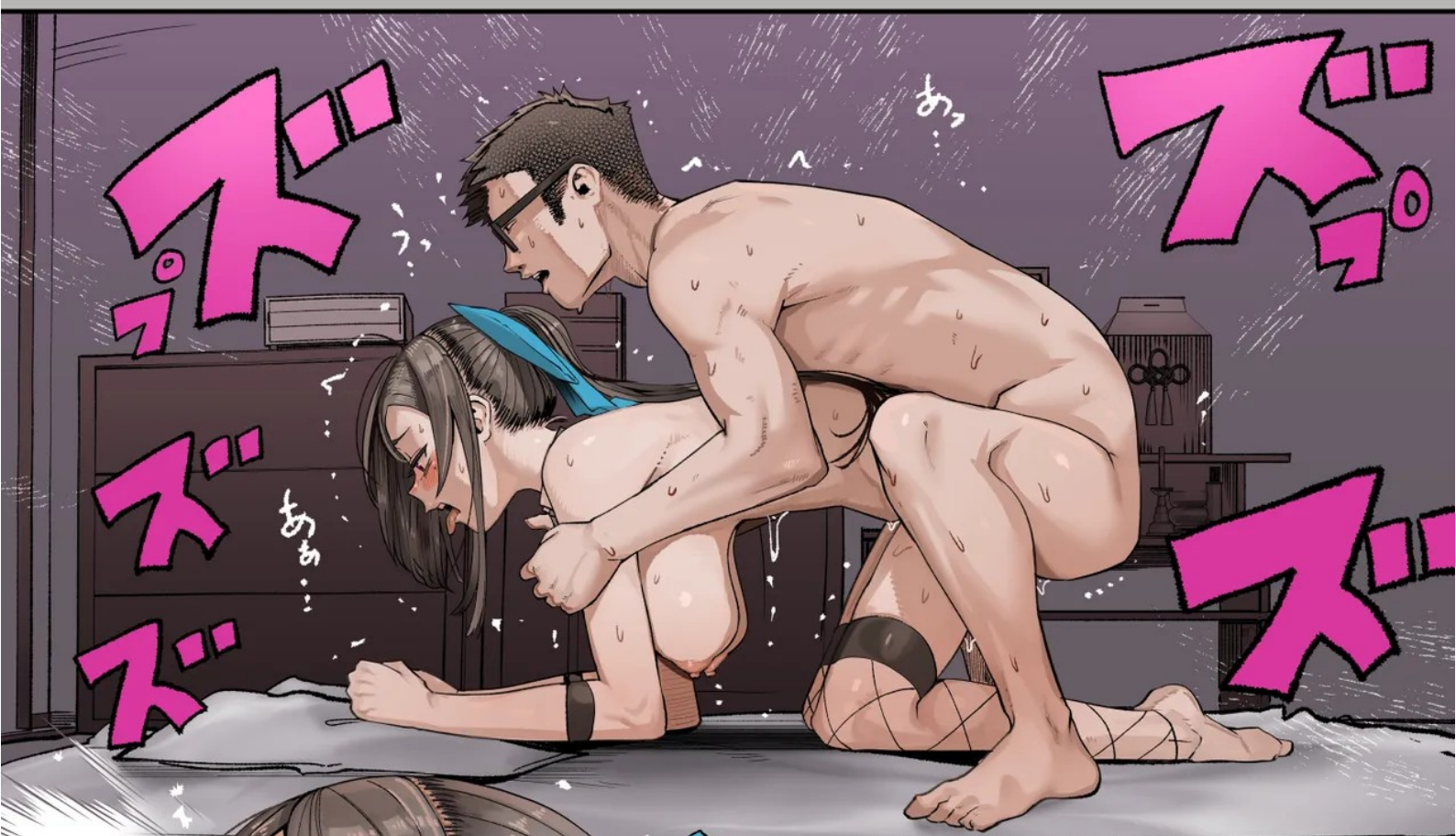
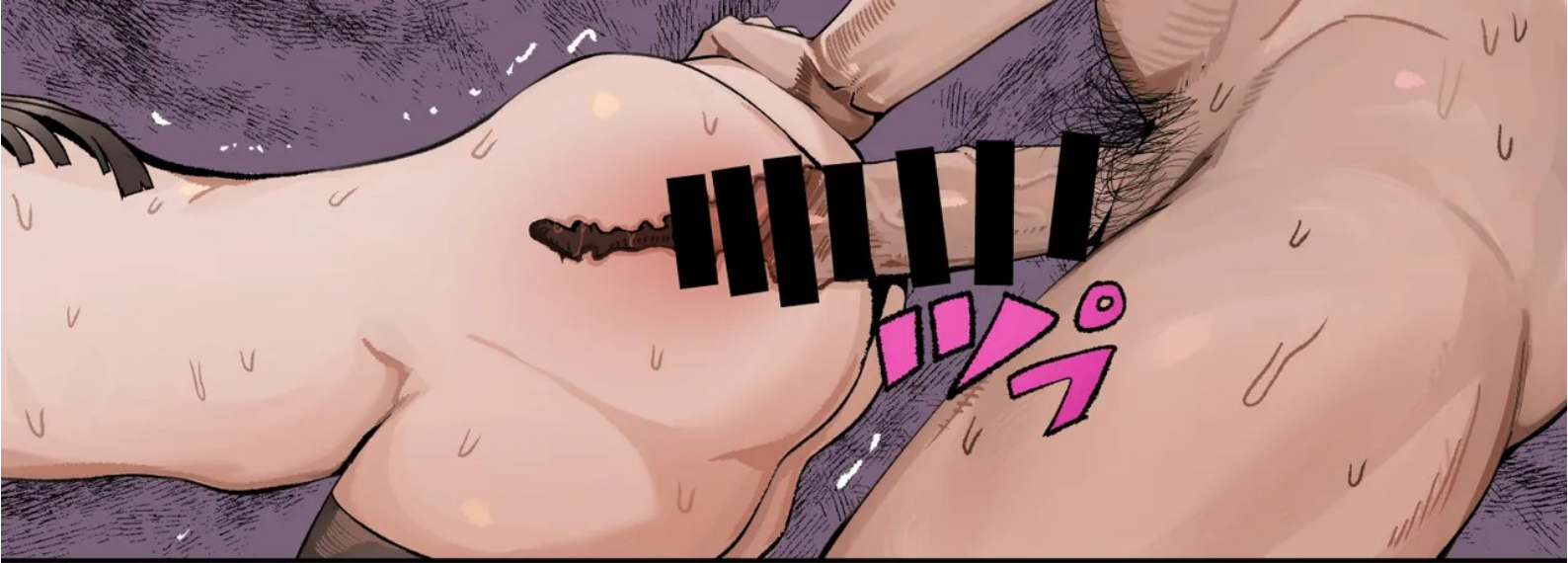




00:14:01:17









あいつじゃなく
俺の精子で:

孕んでくれっ



凜:
あいつより
濃厚な精子:

中に出すから:



絶対に
俺が凜のこと
孕ませるから

あいつの
精子に
負けないから



おお
言うねえ

あ

ハア

あ

ハア



